

議員ノ資格ヲ以テ參列シ千九百八年(明治四十一年)獨國伯林ニ開會ノ通牒ニ接スルヤ有志議員會同シテ議員全體ヲ有志團體トシ團體ノ代表者ハ正副議長ヲ以テ之ニ充ツルコト等ヲ議決シ長島鶯太郎君渡歐ノ序ヲ以テ團體ノ承認ヲ經テ參列シ千九百十年(明治四十三年)白耳義「ブラッセル」ニ開會ノ際ハ尾崎行雄君外十名ト書記官一名參列シ千九百十一年(明治四十四年)伊太利羅馬ニ開會ノ際ハ宮古啓三郎君外六名參列ノ筈ナリシモ羅馬ニ流行病發生ノ爲會議延期トナリ參列ヲ中止セリ但シ同會ノ評議員會ニハ宮古啓三郎君渡邊千冬君ノ兩名出席セリ此ノ年日本議員團規約ヲ設ケ第十一回總選舉選出議員ハ有志者ノミ團員ニ加入ノコトトシ、千九百十二年(大正元年)瑞西「デュネーブ」ニ開會ノ場合ハ御大喪ノ爲參列ヲ遠慮シ千九百十三年(大正二年)和蘭海牙ニ開會ノ際ハ清水市太郎君外四名參列シ又千九百十四年(大正三年)瑞典「ストックホルム」ニ開會ノ際ハ石橋爲之助君外六名參列ノ爲出發シタルモ歐洲動亂勃發シ該議會ハ延期トナレルヲ以テ中途ヨリ引返シ歸朝シタリ而シテ歐洲大戰中ハ一時中止セラレシカ千九百二十年(大正九年)三月列國議會同盟幹事長ヨリ四月若ハ八月ニ召集セラルヘキニ依リ日本議員團議員參列ノ勸誘ヲ受ケタリシモ解散ノ爲參列スル能ハス千九百二十一年(大正十年)八月十七日瑞典「ストックホルム」ニ開會ノ際ハ歐米視察旅行中ノ中西六三郎君外三名及書記官一名參列シ千九百二十二年(大正十一年)奧國維納ニ開會ノ際ハ今泉嘉一郎君外四名及書記官一名參列シ千九百二十三年(大正十二年)丁抹「コペンハーゲ

ン」ニ開會ノ際ハ高橋光威君外四名及書記官一名參列セリ

又千九百二十五年(大正十四年)米國華盛頓ニ開會ノ際ハ森田茂君外八名及書記官一名參列シ千九百二十七年(昭和二年)佛國巴里ニ開會ノ際ハ三木武吉君外七名及書記官一名參列セリ

六八二 議員有志團體ヲ組織シ萬國議院商事會議ニ加盟ス

從來本院ハ列國議會同盟會議ニ、貴族院ハ萬國議院商事會議ニ加盟シ殆ト毎會各議院ハ各其ノ會議ニ參列議員ヲ派遣シ居タルモ兩會議ヨリ兩院共ニ加盟方絶エス勸誘ヲ受ケ居リシヲ以テ貴衆兩院共双方ノ會議ニ加盟スルコトトナリ昭和二年十二月十九日ノ各派協議會ニ於テ本院有志ハ萬國商事會議ニモ加盟スルコトニ決シタリ

六八三 政府ニ於テ豫算内示會ヲ開催ス

第二十五回議會開會前即チ明治四十一年十二月十八日政府(第二次桂内閣)ハ豫算内示會ヲ催シ豫算提出ニ先ツテ各派ニ屬スル議員代表者(五十名)外ニ正、副議長、書記官長ヲ招致シ豫算ノ内容ヲ

説明シテ豫メ了解ヲ求ムル所アリ出席者ニハ孰レモ豫算綱要ノ一書ヲ交付ス、第二十六回議會開會前亦同一ノ催アリ然ルニ明治四十三年二月一日ニ於ケル各派交渉會ニ於テ豫算内示會ハ必要ナキモノト認ムト決定シタルヲ以テ其ノ後ニ於テハ之カ開催ヲ見サリシモ第三十五回議會前即チ大正三年十二月一日政府(第二次大隈内閣)ハ再ヒ豫算内示會ヲ開催シテ議員代表者四十名ヲ招致セリ爾來今日ニ至ルマテ每通常議會開會前必ス開催スルノ例トナレリ而シテ第三十五回議會ニ於テハ三十名、第三十八回議會ニハ三十一名、第四十回議會ヨリハ五十名トシ其員數ハ各派ニ按分セリ又第五十一回議會ヨリハ豫算綱要ハ出席者ノミナラス議員一般ニ配布スルコトトナレリ尙貴族院ニ對シテモ同一ノ催シアリ期日ハ同一ニシテ貴族院ハ正午衆議院ハ午後開催セラルルヲ例トス但シ第五十二回議會開會前ハ 陛下御不例ニ涉ラセラレタル爲開催セラレサリキ

第六節 雜件

六八四 定例茶話會ヲ開催ス

大正十三年十二月二十日各派協議會ニ於テ「爾今議會開會中及八月ヲ除キ毎月一回議員ノ茶話會

ヲ開催スルコト」ヲ協議決定シ第五十回議會閉會後大正十四年五月十二日午後ヨリ議長官舎ニテ定例茶話會第一回ヲ開キ東郷外務書記官ノ講演アリ同年六月其ノ第二回ヲ開キ爾來數回之ヲ開催セリ

六八五 土耳其帝國議會ノ開設ニ對シ祝電ヲ發ス

第二十五回議會 明治四十一年十二月二十六日會議ノ始ニ於テ議長(長谷場純孝君)ハ「諸君ニ御諮リヲ致シタイコトガゴザリマス、御承知ノ如ク土耳其帝國ハ曩ニ憲法ヲ發布サレテサウシテ議會ヲ開カレマシタガ此君斯丁堡ノ議會ニ向ッテ祝電ヲ發シテハ如何……」ト諮ヒタルニ拍手起リ異議ナキニ依リ「ソレデハ滿場一致ヲ以テ祝電ヲ發スルコトニ確定サレマシタ而シテ其電文及發送等ノ手續ハドウゾ議長ニ一任ヲ請ヒタイモノデゴザイマス」ト告ケ即日議長ヨリ土耳其帝國議會議長ニ宛テ祝電ヲ發シタリ

參看 附錄四ノ(一)

六八六 聯合軍ノ戰捷ニ對シ各國ヨリノ祝電及之ニ對スル答電

大正七年十一月十九日聯合軍ノ戰捷ニ對シ「ブラジル」國下院議長及南米「ボリビヤ」代議院ヨリ議長宛祝電ヲ寄セラレタルニ對シ同月二十二日議長ヨリ謝電ヲ發送セリ

又同年十一月二十二日聯合軍ノ戰捷ニ對シ中華民國參議院議長竝衆議院議長及廣東支那議會ヨリ貴衆兩院議長宛祝電ヲ寄セラレタルニ對シ同月二十五日兩院議長ノ名ニ於テ謝電ヲ發送セリ

六八七 講和成立ニ際シ西班牙國上下兩院ヨリノ祝意表明及之ニ對スル答電

大正八年七月九日西班牙國公使ヨリ外務大臣ヲ經テ貴衆兩院議長宛西班牙國元老院及代議院ニ於テ講和條約ノ成立ニ關シ聯合諸國ニ對シ祝意ヲ表スル旨ノ議決ヲ爲セシ趣通牒ニ接シタルヲ以テ同月十日貴衆兩院議長ヨリ西班牙國兩院議長宛謝電ヲ發送セリ

六八八 國交ニ關シ本院ノ意思ヲ表明ス

第四十九回議會 大正十三年七月一日下岡忠治君外四十九名ハ決議案（米國新移民法ニ關スル

件）ヲ提出シ提出者望月小太郎君ハ米國新移民法中ニ於テ我國民ニ對シ差別的條項ヲ設定セルハ彼我兩國七十年間ノ親交ヲ阻碍スルモノナルニ依リ院議ヲ以テ國民的意思ヲ表示致シ度キ旨ヲ述ヘ各派代表者ノ贊成演說アリ全會一致ヲ以テ本案ヲ可決シタリ

第五十回議會 大正十四年三月三日安達謙藏君外九名ハ日露國交恢復ニ關スル決議案ヲ提出シ提出者望月小太郎君ハ日露條約ノ締結成リ茲ニ兩國國交ノ恢復セラレタルハ獨リ兩國國民ノ幸福ノミナラス延テハ世界文明及平和ニ對スル一大貢獻ナリト信ス宜シク滿場一致ノ贊成ヲ得テ本案ノ可決ヲ希望スル旨ヲ述ヘ全會一致ヲ以テ本案ヲ可決シタリ

參看 附錄四ノ七、八

六八九 明治節制定ニ關スル建議ヲ爲ス

第五十二回議會ノ開會セラルルヤ貴衆兩院議員ノ間ニ於テ明治節制定ニ關スル建議ヲ爲サムトノ議アリタルカ本院ニ於テハ昭和二年一月二十五日ノ本會議ニ於テ明治節制定ニ關スル建議案各派一致ヲ以テ提出セラレ議院全會一致之ヲ可決シ即日政府ニ呈出セリ貴族院亦同一ノ建議ヲ爲セリ然ルニ三月三日官報號外ヲ以テ左ノ詔書ヲ公布セラレタリ

朕カ皇祖考明治天皇盛徳大業夙ニ曠古ノ隆運ヲ啓カセタマヘリ茲ニ十月三日ヲ明治節ト定メ臣民ト共ニ永ク天皇ノ遺徳ヲ仰キ明治ノ昭代ヲ追憶スル所アラムトス

御名 御璽

昭和二年三月三日

内閣總理大臣 若槻禮次郎

六九〇 大喪費協贊ノ議會ニ於ケル議員ハ喪装シ文書ハ黒罫紙黒印ヲ用ウ

明治四十五年七月三十日 明治天皇 崩御遊ハサレ大喪費豫算ヲ付議セラルル爲大正元年八月二十一日ヲ以テ臨時議會(第二十九回)ヲ召集セラル本院ニ於テハ各派協議ノ末議員ノ服裝ハ「シルクハット」「フロックコート」「チョッキ」「ズボン」手袋、襟飾總テ黒色(但シ手袋ニ限り鼠色ヲ用キルコトヲ得)ヲ着用スルコトニ定メ成規ノ喪章ヲ附シ各議員ハ同會期中之ヲ着用セリ議場ニ出入スル事務局員ノ服裝亦之ニ準ス

大正三年四月十一日 昭憲皇太后 崩御遊サレ大喪費豫算ヲ付議セラルル爲大正三年五月四日ヲ

以テ臨時議會(第三十二回)ヲ召集セラレシトキニ於テモ前例ニ據レリ

大正十五年十二月二十五日 大正天皇 崩御遊ハサレタル爲同日ノ各派協議會ニ於テ第一期喪中議員ノ服裝ハ洋服ハ成ルヘク「フロックコート」又ハ「モーニングコート」(縞ズボンニテ差支ナキコト)、和服ハ黒紋附羽織袴ヲ着用シ成規ノ喪章ヲ附スルコトニ定メ第五十二回議會ノ第一期喪中之ヲ着用シタリ議場ニ出入スル事務局員ノ服裝亦之ニ準ス

又本院ヨリ政府及貴族院等ヘノ通牒文書ニハ 昭憲皇太后 崩御ノ際ハ諒闇中(一箇年) 大正天皇 崩御ノ際ハ第二期喪期間(百日)中總テ黒罫紙ヲ用キ黒印ヲ押捺セリ

六九一 議員ヲ海外ニ派遣ス

列國議會同盟ニ參列ノ爲或ハ出征軍隊ノ慰問ノ爲議員ヲ海外ニ派遣スルノ外視察ノ爲海外ニ派遣シタルコトアリ

第二十七回議會閉會後明治四十四年十一月朝鮮支那視察ノ爲松本君平君外五名ヲ派遣ス

第二十九回議會閉會後大正元年十月朝鮮哈爾濱支那視察ノ爲齋藤珪次君外十四名ヲ派遣シ書記

官屬各一名同行ス

第三十六回議會閉會後大正四年九月朝鮮哈爾濱支那視察ノ爲村松龜一郎君外九名ヲ派遣シ書記官屬各一名同行ス

第三十九回議會閉會後大正六年九月北米合衆國視察ノ爲政尾藤吉君外四名ヲ派遣ス

第四十回議會閉會後大正七年五月臺灣支那香港視察ノ爲澤來太郎君外九名ヲ派遣シ書記官屬各一名同行ス

同月朝鮮滿洲支那視察ノ爲副議長濱田國松君外十名ヲ派遣シ書記官屬各一名同行ス

第四十一回議會閉會後大正八年六月臺灣香港廣東東印度諸島及暹羅視察ノ爲政尾藤吉君外五名ヲ派遣シ書記官一名同行ス

第四十四回議會閉會後大正十年五月北米合衆國視察ノ爲中西六三郎君外八名ヲ派遣シ書記官一名及本院囑託一名同行ス

同年十月朝鮮滿洲支那視察ノ爲小田切磐太郎君外十三名ヲ派遣シ書記官屬各一名同行ス

第四十五回議會閉會後大正十一年十月朝鮮滿洲支那視察ノ爲廣岡宇一郎君外九名ヲ派遣シ書記官屬各一名同行ス

第四十九回議會閉會後大正十三年八月樺太視察ノ爲森田茂君外八名ヲ派遣シ書記官屬各一名同行ス

同年九月臺灣南支南洋視察ノ爲飯塚春太郎君外六名ヲ派遣シ書記官屬各一名同行ス

同年十月朝鮮支那視察ノ爲竹内作平君外十三名ヲ派遣シ書記官一名屬二名同行ス

第五十一回議會閉會後大正十五年六月滿洲及蒙古視察ノ爲栗山博君外八名ヲ派遣シ書記官屬各一名同行ス

同年七月南洋濠洲視察ノ爲樋口秀雄君外五名ヲ派遣シ書記官一名同行ス

第五十三回議會閉會後昭和二年十月中華民國視察ノ爲柵瀬軍之佐君外八名ヲ派遣シ書記官屬各一名同行ス

六九二 兩院議員合會シテ憲法發布二十年記念祝賀會ヲ催ス

第二十四回議會 明治四十一年三月二十二日貴衆兩院議員有志者相謀リ憲法發布二十年記念祝賀會ヲ開催シ公爵伊藤博文君始各國務大臣及樞密顧問官ヲ招待セリ式場(貴族院談話室)ニ於テ貴族院議長公爵徳川家達君ハ左ノ式辭ヲ述ヘ 陛下ノ萬歳ヲ奉唱ス

維時明治四十一年三月二十二日兩院議員會同シテ憲法發布記念ノ祝典ヲ舉ク恭シク惟ミルニ 聖文武天皇陛下中興ノ偉業ヲ開キ經國宏圖ヲ立テタマヒ大憲宣布以來茲ニ二十年屢々

外事ノ艱難ヲ經ト雖モ内政ノ基礎益固ク列國競進ノ日ニ當リ武威寰宇ニ輝キ國運隆昌ニシテ臣民慶福ヲ蒙ル家達等員ニ議政ノ職ニ備ハリ恩榮ヲ叨リニシ郵隆ノ治化ヲ贊翼ス豈ニ盛世ノ餘澤ニアラスヤ今日此ノ祝典ニ當リ立制ノ深意ヲ思ヒ聖謨ノ宏遠ナルヲ仰キ欣幸感奮ノ至ニ任ヘス願フニ方今文明日ニ進ミ施政多端ニシテ皇猷贊襄ノ任亦將ニ益々重キヲ加ヘントス豈ニ罷勉努力以テ憲政有終ノ美ヲ成シ聖化ノ萬一ニ裨補センコトヲ期セサル可ケンヤ謹テ祝意ヲ表ス

衆議院議長杉田定一君ハ左ノ式辭ヲ述ヘ大日本帝國憲法ノ萬歲ヲ唱ヘリ

憲法發布第二十周年ニ當リ本員等幸ニ議會ニ位列シ茲ニ兩院相會シテ其記念祝典ヲ舉クルヲ得タルハ最モ光榮トスル所ナリ

惟フニ始メテ憲政ヲ布クヤ我帝國ノ如ク和氣霽々國民ノ歡呼ノ裡ニ行ハレタルモノ宇内會テ其比ヲ見ス是レ洵ニ聖德ノ致ス所ニシテ臣民ノ慶福焉ヨリ大ナルハ莫シ爾來帝國議會ハ回ヲ重ヌル二十四大憲ノ運用亦見ルヘキモノナシトセス特ニ彼二大戰役ニ於テ舉國一致ノ實ヲ舉ケタルカ如キ其ノ顯著ナルモノトス然レトモ我憲政ノ前途尙遼遠ナリ本員等滿堂ノ諸公ト共ニ宏謨ニ遵ヒ輿論ニ覈ヘ切瑳勵精能ク其有終ノ美果ヲ收メムコトヲ期ス之ヲ式辭ニ代フ

式畢テ開宴(貴族院大食堂)貴族院議長ハ伊藤公爵及來賓ノ萬歲ヲ唱ヘ伊藤公爵西園寺内閣總理大臣ハ挨拶ノ辭ヲ述ヘ兩院ノ爲祝杯ヲ舉ケ當日參列シタル貴族院議員ハ二百五十六名ニシテ貴衆兩院書記官長、書記官參列ス又兩院事務局ニ於テハ記念繪葉書ヲ調製シ來賓及參列者一同ニ之ヲ配付セリ

六九三 兩院議員合會シテ憲法發布三十年記念祝賀會ヲ催ス

第四十一回議會 大正八年二月十一日貴衆兩院議員合會ノ上青山權田原ナル憲法記念館ニ於テ憲法發布三十年記念祝賀會ヲ舉行スルニ決シ同月十日ノ會議ニ於テ議長(大岡育造君)ノ發議ニ依リ當日賀表ヲ捧呈スルニ決シ起草委員ヲ設ケ賀表ヲ起草シ全院一致之ヲ可決シ十一日祝賀會場ニ於テ議長朗讀捧呈シタリ其ノ賀表左ノ如シ

衆議院議長 臣大岡育造誠恐誠懼謹テ言ス

伏シテ惟ニ

皇朝萬世一系聖承續德化洋溢百姓其澤ニ浹治シテ新附欣戴セサルナシ而シテ維新ノ始首トシテ宏謨ヲ萬機公論ニ決スルニ定メ漸次立憲爲治ノ基ヲ立テ竟ニ帝國憲法ヲ發布シタマ

ヘリ是ニ於テ臣民大政ニ獻替スルコトヲ得テ 皇國ノ丕基更ニ隆固ヲ加フ洵ニ是レ萬代ノ
徽範タリ爾來茲ニ三十年 皇威四表ニ廣被シ國運八紘ニ遐暢ス而シテ今ヤ歐洲戰亂ノ慘禍
方ニ殄熄シテ世界平和ノ休祥將ニ光熙セムトシ帝國ノ光榮益宣揚ス 臣等幸ニ此昭代ニ遭逢
シ欣歡已ムナシ茲ニ嘉辰ヲトシ憲法發布三十年記念祝賀ノ典ヲ舉ケ上ハ以テ

聖德ノ日ニ躋ルヲ頌シ下ハ以テ奉祝ノ微悦ヲ據フ誠ニ歡抃欣躍ノ至ニ任ルナシ乃チ虔ミテ
表ヲ捧ケ恭ク 寶祚ノ無疆ヲ祝シ 皇威ノ益寰表ニ耀カムコトヲ禱リ奉ル 臣等造誠恐誠懼
謹テ言ス

同日ハ 天皇陛下ノ臨御ヲ奉請シ允裁ヲ賜ハリタリシモ御風氣ノ爲俄ニ御沙汰止トナリ御名代
トシテ閑院宮載仁親王殿下ヲ差遣セ給ヒタリ又祝賀會ニ招待シタルハ各宮殿下ヲ始メ奉リ大勳
位、國務大臣、宮内大臣、大臣禮遇、前官禮遇、樞密院議長、同副議長、同顧問官、憲法署名者(大
臣)、憲法發布當時ノ樞密顧問官、貴衆兩院前正副議長ニシテ式後右ノ諸員竝兩院議員、書記官
長、書記官ニ銀杯ノ御下賜アリタリ又當日ノ經費ハ大正七年度追加豫算ニ計上セラレタリ尙貴
族院議長ノ捧呈セル貴族院ノ上表文左ノ如シ

貴族院議長 臣德川家達誠恐誠惶謹テ

叡聖文武天皇陛下ニ奏ス伏シテ惟ルニ

先帝仁聖ノ德テ以テ世局ノ進運ニ鑑ミタマヒ我カ臣民ノ康福ヲ増進シ其ノ懿德良能ヲ發達
セシメ又其ノ翼贊ニ依リ帝國ノ丕基ヲ永久ニ鞏固ニスルノ 叡旨ヲ以テ帝國憲法ヲ制定シ
朝野和氣藹藹ノ中ニ之ヲ發布シタマヘリ
謹テ案スルニ我カ

皇祖

皇宗國ヲ肇メ基ヲ建テタマヒシ以降

列聖其ノ緒ヲ續キ國家統治ノ天職ヲ盡サセラレ王道ヲ本トシ霸術ヲ斥ケ君民ノ關係常ニ親
密ニシテ義ハ則チ君臣情ハ則チ父子ノ如ク以テ萬國無比ノ國體ヲ成ス其ノ由來スル所誠ニ
久遠ナリ憲法ノ條章ハ歐洲諸國ノ成例ニ參酌セラルル所アリト雖其ノ理義ニ於テハ前烈ヲ
追ヒ懿訓ヲ弘メ臣民遵由ノ道ヲ示シタマヒシモノナリ古來ノ美風良俗ハ是ニ由リテ益々宣
明セラレ大ニ其ノ光華ヲ發スルニ至レリ

陛下

先帝ノ遺範ヲ紹述シタマヒ前後三十年其ノ間屢々國家内外ノ多艱ニ遭遇セシモ憲法ノ運用
順調ニ進ミ其ノ效果煥然トシテ觀ルヘキモノアリ綱紀益々張り庶績維レ熙マル 臣等益々奮
勵努力各其ノ本分ヲ盡シテ以テ隆治ノ萬一ニ裨補セムコトヲ期ス茲ニ恭ク

皇恩ノ優渥ヲ謝シ

寶祚ノ無窮

聖壽ノ萬歲ヲ祈リ奉ル

六九四 兩院議員合會シテ尼港殉難者追悼會ヲ催ス

大正九年六月二十四日貴衆兩院議員合會ノ上兩院ノ中央玄關ニ祭場ヲ設ケ尼港殉難者追悼會ヲ催シタリ午前十時式ヲ始メ遺族五十三名來賓三十二名(四皇族殿下台臨)兩院議員三百七十三名參列シ其ノ他一般有志ノ參拜アリテ午後二時式ヲ終レリ

六九五 兩院議員ヨリ明治神宮聖德記念繪畫館壁畫ヲ奉納ス

大正十四年三月三十一日各派協議會ニ於テ議員一同ヨリ貴族院議員ト合同シテ明治神宮聖德記念繪畫館壁畫(開院式ノ圖小杉未醒畫)ヲ奉納スルコトナレリ

六九六 英國皇太子殿下ノ御來朝ヲ歡迎ス

大正十一年四月十二日英國皇太子殿下御來朝ニ付翌十三日議長(奧繁三郎君)副議長(粕谷義三君)及歡迎委員十六名ハ第四十五回議會大正十一年三月二十五日ノ英國皇太子殿下歡迎ニ關スル決議ニ基キ赤坂離宮ニ伺候シ歡迎文ヲ捧呈セリ

六九七 米國議員團ノ來朝ヲ歡迎ス

大正九年八月米國議員團一行(上院議員ウイリアム、ゼ、ハリス氏外一名下院議員ジョン、エッチ、スモール氏以下十八名外ニ同行者及家族計五十二名)來朝ニ付貴衆兩院主催トナリ之カ接伴ノ衝ニ當リ朝野協力シテ是等外賓ニ對シ國民的歡迎ヲ爲スコトナリ同年七月二十一日及八月九日貴衆兩院聯合小委員會ヲ開キ歡迎ニ關スル案件ヲ議決シ之ニ基キ八月二十三日一行ノ奉天ニ著シテヨリ九月十三日横濱出帆歸國ノ途ニ就ケル迄始終熱誠ナル歡待ヲ爲シ一行ヲシテ善ク視察ノ目的ヲ遂ケシメ且國民トノ接觸ヲ圖リタリ

大正十四年七月二十九日米國議員團一行(下院議員チャールス、アール、クリスプ氏以下十一名外ニ家族二十三名)觀光ノ爲來朝ニ付同月三十一日貴衆兩院議長主催ニテ歡迎午餐會ヲ開キタリ(本

院側ヨリハ粕谷議長以下議員百餘名列席セリ)

七百二十六

六九八 議院ニ對スル犯罪

第一回議會 明治二十四年三月三日傍聽席ヨリ議場ニ馬糞ヲ投入シタル者アリ議長ハ直ニ守衛ニ命シテ犯罪者ヲ引致セシメ明治二十二年法律第二十八號第一條(法律ヲ以テ組織シタル議會ニ對シ公然誹毀侮辱シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス但議會ノ告訴ヲ待チ其罪ヲ論ス)ニ依リ院議ニ諮ヒ之ヲ當該官署ニ告訴シタリ(被告松本九一ハ明治二十四年四月十四日重禁錮二月罰金十圓ニ處セラル)

第四回議會 明治二十五年十二月十六日黒田綱彦君ハ「明治二十五年十二月十日發兌東京日日新聞第六千三百五十二號帝國議會紀要ト題スル欄頭ニ二號活字ヲ以テ記載シタル記事ハ我衆議院ヲ侮辱シタルモノトス依テ議長ヨリ告訴ノ手續ヲ爲スモノトス」ノ緊急動議ヲ提出シ多數ヲ以テ可決シタルニ依リ議長ハ其ノ翌十七日東京地方裁判所檢事局ヘ告訴シタリ(被告山崎與助ハ明治二十五年十二月二十三日重禁錮一年罪金五十圓ニ處セラル)

第四十三回(特別)議會 大正九年六月二十九日(召集日)午後十時本院正門北側ノ小門轟然タル爆發ト共ニ炸裂シ破片四周ニ散亂シ門柱ノ電球門番所ノ硝子戸正玄關硝子戸及正門向側ノ

洋館二棟ノ硝子戸ヲ粉碎シタリ此ノ椿事ニ付其ノ筋ヨリ臨檢アリタルモ犯人未タ檢舉スルニ至ラス

第四十五回議會 大正十一年二月二十三日安達謙藏君外十名提出衆議院議員選舉法中改正法律案ノ會議中傍聽席ヨリ議場ニ三尺許ノ生蛇ヲ投入シタル者アリ議長ハ直ニ守衛ニ命シテ犯罪者ノ一人ヲ取押ヘ日比谷警察署ニ引渡シタリ(後日審理ノ結果椿利夫、中村良英及掘川久七共謀シ久七カ蛇投ヲ實行シタルモノニシテ公務執行妨害罪トシテ各懲役二月ニ處セラル)

第四十八回議會 大正十三年一月三十一日ノ本會議ニ於テ濱田國松君ノ思想惡化ニ關スル緊急質問ニ對シ小松鐵道大臣及清浦内閣總理大臣答辯ヲ爲サムトシ議場騷然タル際三名ノ暴漢相前後シテ議場ニ闖入シタルニ依リ議長ハ直ニ守衛ニ命シテ犯人ヲ取押ヘ一應取調ノ上警視廳ニ引渡シタリ(後日審理ノ結果公務執行妨害罪トシテ木島福松、土倉宗明ハ各懲役六月、杉原文藏、島岡伊三郎ハ各懲役三月ニ處セラレタルモ野口光五郎ハ控訴中死亡シタリ)

衆議院先例彙纂附錄

總目次

一	開院式勅語及奉答竝之ニ對スル勅語	一
二	上奏及之ニ關スル勅語、勅問、奉答、御沙汰(附、建議ニ對スル勅語)	四九
三	皇室ニ對スル賀表、賀牋及言上	七一
四	外國ニ對スル祝電、表謝及意思表明其ノ他ノ往復	七九
五	帝國軍隊ニ對スル決議、慰問、答辭及挨拶	八三
六	慰問、挨拶及歡迎(帝國軍隊ニ對スル分ヲ除ク)	一〇三
七	弔詞及通牒	一〇九
八	議長、副議長、假議長ノ挨拶及議員ノ祝辭、謝辭	一二三
九	辭職願、死亡屆	一六〇
一〇	議員資格ニ關スル報告書竝照會往復	一六五

附錄

- 一 懲罰事犯ニ關スル件
- 二 政府ノ覆牒又ハ特殊事件ニ關スル政府ノ報告
- 三 開院式閉院式式場圖、議員席次並徽章ノ形狀
- 四 期日期間其ノ他ノ比較表

二

一七九
一八七
一九五
二〇五

附錄小目次

一 開院式勅語及奉答並之ニ對スル勅語

第一回議會開院式勅語及奉答並之ニ對スル勅語
第二回以降議會開院式勅語及奉答

二 上奏及之ニ關スル勅語、勅問、奉答、御沙汰(附、建議ニ對スル勅語)

- (一) 議會會期延長ノ上奏
- (二) 國事犯特赦ノ上奏
- (三) 內閣不信任ノ上奏及之ニ對スル詔勅並奉答
- (四) 條約改正ノ上奏
- (五) 選舉干涉ニ關スル上奏
- (六) 議長星亨不信任ノ上奏並勅問、奉答
- (七) 官紀振肅ノ上奏
- (八) 現內閣ノ行爲ニ對シ本院ノ意思ヲ表明スル上奏並御沙汰

附錄

四九
四九
四九
五〇
五五
五七
五九
六〇
六一

- 二
- (九) 征清事件ニ關スル上奏 六三
 - (一〇) 製艦費ニ關スル上奏並勅語 六五
 - (一一) 償金ノ一部ヲ帝室御料ニ編入ノ建議ニ對スル勅語 六六
 - (一二) 上奏(日露戰役ニ關スル件) 六七
 - (一三) 上奏(日露戰爭平和克復祝賀ニ關スル件) 六七
 - (一四) 憲法發布三十年記念祝賀上奏 六八
 - (一五) 上奏(世界戰爭平和克復祝賀ニ關スル件) 六九
 - (一六) 奉悼上奏(大正天皇崩御ニ付) 七〇

三 皇室ニ對スル賀表、賀牋及言上

- (一) 皇太子殿下御結婚御成約ニ付賀表及賀牋 七一
- (二) 皇太子殿下御結婚ニ付賀表及賀牋 七二
- (三) 天皇皇后兩陛下御結婚滿二十五年ニ付賀表 七三
- (四) 即位ノ大禮ニ付賀表捧呈ノ決議 七四
- (五) 皇太子殿下(裕仁親王)立太子式ニ付賀表 七五

- (六) 皇太子殿下(裕仁親王)御成年式ニ付賀表 七六
- (七) 皇太子殿下(裕仁親王)攝政御就任ニ付言上ノ辭 七七
- (八) 皇孫殿下(照宮成子内親王)御誕生ニ付賀表及賀牋 七八

四 外國ニ對スル祝電、表謝及意思表明其ノ他ノ往復

- (一) 土耳其帝國議會ノ開設ニ對スル祝電 七九
- (二) 天皇崩御ノ際列國議會ノ表明セル弔意ニ對シ謝意ヲ表スルノ決議 七九
- (三) 聯合軍ノ戰捷ニ對シ各國議院ヨリ祝電ヲ受領ス 八〇
- (四) 大震災ニ付各國議院ヨリ見舞電報ヲ受領ス 八〇
- (五) 震災ニ際シ列國ノ同情ニ對シ感謝ノ決議 八〇
- (六) 講和條約成立ニ關スル通牒及答詞 八一
- (七) 米國新移民法ニ關スル決議 八二
- (八) 日露國交ノ恢復ヲ祝スル決議 八二

五 帝國軍隊ニ對スル決議、慰問、答辭及挨拶

附錄

三

八三

- 四
- (一) 戰功表彰ニ關スル決議、謝辭、謝電 八三
 - (二) 軍隊慰問ニ對スル謝電及答電竝御下賜品 九七
 - (三) 凱旋ニ關スル決議 一〇一
 - (四) 軍隊後援ニ關スル決議 一〇二

六

慰問、挨拶及歡迎(帝國軍隊ニ對スル分ヲ除ク)

- (一) 伏見宮博恭王殿下御負傷ノ際御見舞書竝挨拶 一〇三
- (二) 北白川宮成久王殿下同妃殿下竝朝香宮鳩彦王殿下ノ御奇禍ニ罹ラセラレタル際御見舞電報及御謝電 一〇三
- (三) 李王殿下御重患ニ付御見舞電報 一〇四
- (四) 伊藤内閣總理大臣負傷セラレタル際ノ慰問ニ對スル挨拶 一〇四
- (五) 伊國大震災ノ際慰問竝挨拶 一〇五
- (六) 聯合軍ニ對スル慰問ノ決議 一〇六
- (七) 佛國首相遭難ノ際慰問竝謝電 一〇七
- (八) 「ジョッフ」元帥歡迎ノ決議 一〇八

七

弔詞及通牒

- (九) 震災遭難者ニ對スル決議 一〇八
- (一) 皇族及王族ノ薨去 一〇九
- (二) 外國皇帝ノ崩御及大統領ノ逝去 一一一
- (三) 元勳其ノ他ノ薨去 一一三
- (四) 議員ノ逝去 一一八

八

議長、副議長、假議長ノ挨拶及議員ノ祝辭、謝辭

- (一) 議長、副議長、假議長就職ノ辭及年長議員ノ祝辭 一二三
- (二) 議長副議長辭任ノ挨拶竝年長議員ノ謝辭 一五一
- (三) 任期限ノ議長副議長ノ挨拶竝年長議員ノ謝辭 一五八

九

辭職願、死亡届

- (一) 議長及副議長ノ辭職願竝奏上 一六一

附錄

- (二) 議員ノ辭職願
- (三) 死亡届

一〇 議員資格ニ關スル報告書並照會往復

- (一) 議員資格審査ノ報告書
- (二) 議員資格ニ關スル裁判確定ノ通報方ニ關スル回答
- (三) 補闕選舉ノ請求ニ關スル照會及回答

一一 懲罰事犯ニ關スル件

- (一) 議長宣告ニ依ルモノ
- (二) 院議ニ依ルモノ

一二 政府ノ覆牒又ハ特殊事件ニ關スル政府ノ報告

- (一) 憲法第六十七條ニ依レル修正議決ニ對スル政府ノ覆牒
- (二) 國務大臣出席ノ要求ニ對スル政府ノ覆牒

- (三) 政府委員交換ノ要求ニ對スル政府ノ覆牒
- (四) 勾留中ノ議員ニ關スル決議及司法大臣ノ覆牒並通知
- (五) 特殊ノ事件ニ關スル報告又ハ演說一覽表

一三 開院式閉院式式場圖、議員席次並徽章ノ形狀

- (一) 開院式及閉院式式場圖(議長、副議長、議員、書記官長及書記官ノ席次)
- (二) 議員ノ議席
- (三) 議員及事務局員其ノ他ノ徽章

一四 期日期間其ノ他ノ比較表

- (一) 各會期ニ於ケル召集詔書ト召集期日及期間比較表
- (二) 解散ヨリ次ノ議會召集日迄ノ期日表
- (三) 本會議開會日數比較表
- (四) 特別議會一覽表
- (五) 臨時議會一覽表

(六) 停會一覽表 三二七

(七) 會期延長一覽表 三二九

(八) 解散一覽表 三二九

(九) 兩院協議會ノ成績一覽表 三二九

一 開院式勅語及奉答竝之ニ對スル勅語

第一回議會開院式勅語 (明治二十三年十一月二十九日)

朕貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

朕即位以來二十年間ノ經始スル所内治諸般ノ制度粗、其ノ綱領ヲ舉ケタリ庶幾クハ皇祖皇宗ノ遺德ニ倚リ卿等ト俱ニ前ヲ繼キ後ヲ啓キ憲法ノ美果ヲ收メ以テ將來ニ益、我カ帝國ノ光烈ト我カ臣民ノ忠良ニシテ勇進ナル氣性トヲシテ中外ニ表明ナラシムルコトヲ得ム

朕又夙ニ各國ト盟好ヲ修メ通商ヲ廣メ國勢ヲ振張セムコトヲ期ス幸ニ締約諸國ノ交際ハ益、親厚ヲ加ヘタリ

陸海ノ軍備ハ内外ノ平和ヲ保全スル爲ニ歲ヲ積ミテ完實ヲ期セサルヘカラス

明治二十四年度ノ豫算及各般法律案ハ朕之ヲ國務大臣ニ命シテ議會ノ議ニ付セシム朕ハ卿等カ公平慎重以テ審議協賛スル所アルコトヲ期シ併セテ將來ニ繼クヘキノ模範ヲ貽サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (明治二十三年十一月二十九日議決)

恭シク惟ニ我

天皇陛下帝國議會開院ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル聖詔ヲ賜ヘリ臣等感喜ノ至リニ堪ヘス臣等此ヨリ心力ヲ盡シテ協贊ノ責ヲ全シ以テ陛下ノ信任ニ對ヘ以テ國民ノ委託ニ酬ントス茲ニ謹テ奉答ス

右奉答ニ對スル勅語 (明治二十三年十二月一日)

朕衆議院ノ深厚ナル敬禮ヲ嘉ス

(備考)

每會期之ヲ賜フヲ例トス故ニ以下之ヲ略ス

第二回議會開院式勅語 (明治二十四年十一月二十六日)

朕貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

朕茲ニ親臨シテ帝國議會第二期開會ノ式ヲ舉ク

明治二十五年年度ノ豫算及各般ノ法律案ハ國務大臣ニ命シテ之ヲ議會ノ議ニ付セシム朕既ニ我カ帝國ノ光輝アル憲法上ノ進行ヲ誤ラサルコトヲ嘉シ更ニ卿等カ帝國ノ隆昌ト人民ノ幸福トヲ以テ目的トシ和衷協同シテ益々其ノ公務ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (明治二十四年十一月二十六日議決)

臣衆議院議員等恭ク

天皇陛下ニ上奏ス

車駕親臨シテ帝國議會第二期開會ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル聖詔ヲ賜ヘリ臣等恐懼ノ至リニ堪ヘス臣等聖旨ヲ奉體シ益々心力ヲ盡シテ以テ協贊ノ責ヲ全シ以テ國民ノ委託ニ酬ントス謹テ奉答ス

第二回(特別)議會開院式勅語 (明治二十五年五月六日)

朕貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

朕茲ニ親臨シテ開院ノ式ヲ行フ

明治二十五年年度ノ歲出歲入ハ既ニ前年度ノ豫算ニ依ラシメタリ仍國務大臣ニ命シテ緊急ナル追加豫算ヲ以テ議會ノ議ニ付セシメ茲ニ必要ナル法律案ヲ提出セシム

四
惟フニ各般進張ノ事業ハ實ニ國家ノ隆運ト關係ヲ相爲ス朕ハ卿等カ慎重討議シ以テ協贊ノ任ヲ完クセムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (明治二十五年五月六日議決)

天皇陛下ニ上奏ス

臣衆議院議員等恭ク

車駕親臨シテ帝國議會開會ノ成典ヲ舉ケ臣等ニ賜フニ

天顏ニ咫尺シ優渥ナル 聖詔ヲ拜スルノ榮ヲ以テセラル臣等恐懼ノ至ニ堪ヘス臣等 聖旨ヲ奉體シ慎重討議協贊ノ任ヲ完シ以テ

陛下ノ隆恩ニ對ヘ以テ國民ノ委託ニ酬ントス謹テ奏ス

第四回議會開院式勅語 (明治二十五年十一月二十九日)

朕貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

朕茲ニ親臨シテ開院ノ式ヲ行フ

朕ハ國務大臣ニ命シテ明治二十六年年度ノ豫算及必要ナル法律案ヲ議會ニ提出セシム

朕ハ卿等カ國家ノ要務ニ對シテ和衷協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (明治二十五年十一月二十九日議決)

臣衆議院議員等恭ク

天皇陛下ニ上奏ス

車駕親臨シテ帝國議會開會ノ盛典ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜ヘリ臣等恐懼ノ至ニ勝ヘス臣等

聖旨ヲ奉體シ國家ノ要務ヲ慎重討議シ協贊ノ責ヲ完シ以テ

陛下ノ隆恩ニ對ヘ以テ國民ノ委託ニ酬ントス謹テ奏ス

第五回議會開院式勅語 (明治二十六年十一月二十八日)

朕貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

朕茲ニ親臨シテ帝國議會開院ノ式ヲ行フ

朕ハ國務大臣ニ命シテ行政諸般ノ整理ヲ經テ調製シタル明治二十七年度ノ豫算及必要ナル法律案ヲ提出セシム

朕ハ卿等カ國家ノ要務ニ對シテ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (明治二十六年十一月二十八日議決)

恭ク惟ニ

第五回帝國議會開會ノ日ニ當リ

車駕親臨開院ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜ヘリ臣等恐懼ノ至ニ堪ヘス臣等謹テ 聖旨ヲ奉體シ益々心力ヲ盡シテ國家ノ要務ヲ填重審議シ協贊ノ責ヲ完シ以テ 陛下ノ隆恩ニ對ヘ國民ノ委託ニ酬ントス衆議院議長 臣星亨 誠恐誠惶謹テ奏ス

第六回(特別)議會開院式勅語 (明治二十七年五月十五日)

朕貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

朕茲ニ親臨シテ開會ノ式ヲ行フ

朕ハ國務大臣ニ命シテ急要ナル追加豫算及法律案ヲ提出セシム

朕ハ卿等カ國家ノ要務ニ對シ審議ヲ盡シ協贊ノ任ヲ致サンコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (明治二十七年五月十五日議決)

恭ク惟ニ

車駕親臨第六回帝國議會開會ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜ヘリ臣等恐懼ノ至ニ堪ヘス臣等謹テ 聖旨ヲ奉體シ益々心力ヲ盡シテ國家ノ要務ヲ慎重審議シ協贊ノ責ヲ完シ以テ 陛下ノ隆恩ニ對ヘ國民ノ委託ニ酬ントス衆議院議長 臣楠本正隆 誠恐誠惶謹テ奏ス

第七回(臨時)議會開院式勅語 (明治二十七年十月十八日)

朕貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

朕茲ニ臨時帝國議會ヲ召集シ特ニ國務大臣ニ命シテ刻下ノ急要ナル陸海軍費ニ關スル議案ヲ提出セシム

朕ハ清國カ帝國ト共ニ東洋ノ和平ヲ保持スルノ任ヲ忘レ遂ニ今日ノ事局ヲ見ルニ至リタルヲ憾トス然レトモ覺端既ニ開ク交戦ノ目的ヲ達セスムハ以テ止ムヘカラス朕ハ帝國ノ臣民カ一致和協朕カ事ヲ獎順シ全局ノ大捷ヲ以テ早く東洋ノ和平ヲ回復シ以テ國光ヲ宣揚セムコトヲ望ム各員其レ游ヲ勗メヨ

右勅語ニ對スル奉答 (明治二十七年十月十八日議決)

衆議院議長 臣楠本正隆 誠惶誠恐

本院ノ決議ヲ具シ謹テ奏ス恭ク惟ニ

天皇陛下聖明神武 列聖ノ遺烈ヲ承ケ中興ノ偉業ヲ啓セ給フ比年清國兇暴ニシテ鄰邦ノ交誼ヲ破リ東洋ノ平和ヲ紊ル

陛下赫怒爰ニ六師ヲ出シ親ラ大纛ヲ進メ帝國議會ヲ大本營ノ下ニ召集シ車駕親臨シ開會ノ式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ 臣等感激恐懼ノ至ニ堪ヘス
今ヤ軍備ノ整理擴張ハ實ニ我帝國ノ最大急務タリ 聖詔ニ示シ給フ陸海軍備ハ 臣等審議シテ協贊ノ責ヲ完ウセム 臣等奮テ全局ノ大捷ヲ以テ早ク東洋ノ平和ヲ回復シ國光ヲ宣揚シ交戦ノ目的ヲ達セスムハ止マサルヲ期シ以テ 聖旨ヲ奉體セムコトヲ誓フ 臣楠本正隆誠惶誠恐謹テ奏ス

第八回議會開院式勅語 (明治二十七年十二月二十四日)

朕茲ニ帝國議會ノ開院式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

朕ハ國務大臣ヲシテ明治二十八年度ノ豫算及其ノ他ノ必要ナル議案ヲ提出セシム

朕カ外征ノ師ハ每戰捷ヲ奏シ漸次敵地ニ進入ス今ヤ嚴冬ニ際ス五寒ヲ冒シ艱苦ヲ嘗メ益々其ノ勇武ヲ著ハセリ

中立列國ノ交際ハ益々親睦ヲ敦クシ朕カ宿望タル條約改正ノ業既ニ成績ヲ告クルモノノ外仍ホ協商ニ在ルモノ亦均シク其ノ歩ヲ進ム

朕ハ此ノ光輝アル進運ニ膺リ國度ノ文明ヲ躋シ祖宗ノ遺烈ニ賴リ有終ノ美ヲ濟サムコトヲ欲ス卿等其レ能ク中外ノ大勢ヲ察シ上下和協ノ實ヲ舉ケ以テ朕カ望ム所ニ副ヘヨ

右勅語ニ對スル奉答 (明治二十七年十二月二十五日議決)

恭ク惟ニ

陛下爰ニ第八回帝國議會開會ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ 臣等感激ノ至ニ堪ヘス今ヤ皇師百艱ヲ排シテ遠ク敵地ニ入り連戰捷ヲ奏ス而シテ列國ノ交際益親睦ヲ致シ將ニ大ニ其ノ面目ヲ改メムトス 陛下ノ聖武ニ賴ルニ非サレハ安ソ能ク帝國ノ威信ヲ宣揚スル此ノ如クナルヲ得ムヤ 臣等幸ニ此ノ隆運ニ際ス謹テ協贊ノ責ヲ完ウシ以テ

陛下ノ聖旨ニ奉對セム衆議院議長 臣楠本正隆誠惶誠恐謹テ奏ス

第九回議會開院式勅語 (明治二十八年十二月二十八日)

朕茲ニ帝國議會開會ノ式ヲ行ナヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

朕ハ文武臣僚及各員ノ協翼ト民庶ノ戮力トニ依リ光榮ヲ以テ干戈ヲ戢ムルコトヲ得タルヲ喜フ
今ヤ内ハ臺灣平定ニ歸シ外ハ列國ト交誼ノ厚キヲ加フ向後ノ急務ハ專ラ平和ヲ保持シテ國運ノ
伸張ヲ求ムルニ在リ朕乃チ國務大臣ニ命シテ殖産交通及教育等ニ關シテ國家ノ發達ニ必要トス
ル諸般ノ計畫ヲ盡サシメ明治二十九年年度豫算及諸法律案トシテ之ヲ提出セシム
國防ハ曾テ漸ヲ以テ完實ヲ期セリ今交戰ノ爲メ缺損セルモノヲ補充シ竝ニ自衛ニ必要ナル設備
ヲナサムトシ朕カ臣僚ヲシテ贊畫ノ任ニ當ラシメ必要ノ支出ニ付テ議會ノ協贊ヲ待タシム而シ
テ其ノ止ムヲ得サル國費ノ増加ハ朕カ忠良ナル臣民ノ進テ之ヲ負擔スルニ躊躇セサルヲ信ス
帝國ハ列聖ノ遺烈ト臣民ノ忠勇トニ依リ既ニ長足ノ進歩ヲ見タルモ仍ホ大成ヲ前途ニ期スルモ
ノアリ各員能ク和衷協贊ノ任務ヲ罄シ朕カ望ニ副ハムコトヲカメヨ

右勅語ニ對スル奉答 (明治二十八年十二月二十八日議決)

恭ク惟ニ

陛下爰ニ親臨シテ第九回帝國議會開會ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ 臣等感激ノ至ニ堪ハ
ス今ヤ對清ノ戰役全局ノ大捷ヲ奏シ以テ國光ヲ中外ニ發揚ス
陛下ノ威稜ニ頼ルニ非サレハ焉ソ能ク此ノ如クナルヲ得ムヤ願フニ國運ノ伸張ニ伴ヒ諸般ノ政

務更ニ大ニ規畫スヘキモノアルヲ信ス

陛下聖明天縱國家ノ要務ヲ舉ケテ 臣等ニ諭シタマフ 臣等慎重討議以テ協贊ノ任ヲ盡シ上
陛下ノ聖旨ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムトス衆議院議長 臣楠本正隆誠惶誠恐謹テ奏ス

第十回議會開院式勅語 (明治二十九年十二月二十五日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

帝國ト締盟列國トノ交際ハ和親益々厚キヲ加ヘ條約改正ノ業亦將ニ其ノ效ヲ告ケムトス國防ハ
平和ノ保障ナリ國家經濟ノ整理ト相待テ漸次完實セシムコトヲ期ス
臺灣ニ於ケル人民ノ撫育ハ朕カ深ク軫念スル所ナリ將來益々秩序ヲ整頓シ福祉ヲ増進セムコト
ヲ要ス

朕ハ國務大臣ニ命シテ明治三十年年度豫算及必要ナル各般ノ法律案ヲ提出セシム卿等國家ノ要務
ニ對シテ和衷協贊ノ任ヲ盡シ朕カ望ニ副ハムコトヲカメヨ

右勅語ニ對スル奉答 (明治二十九年十二月二十五日議決)

恭ク惟ニ

車駕親臨シテ第十回帝國議會開院ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ臣等感激ノ至ニ堪ヘス 陛下天縱文武既ニ威徳ヲ八紘ニ震耀シ仁恩ヲ四表ニ光被ス茲ニ方今中外ノ要務ヲ舉ケテ臣等ニ諭シタマフ臣等謹テ 神衷聖謨ヲ奉體シ慎重以テ職ニ從ヒ審議協贊ノ任ヲ完ウシ上 陛下ノ聖明ニ對ヘ奉リ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長臣鳩山和夫誠恐誠惶謹テ奏ス

第十一回議會開院式勅語 (明治三十年十二月二十四日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク 締盟諸國ノ交際ハ益親密ニシテ條約ノ改正完結ヲ告ケムトスルハ朕ノ喜フ所ナリ 明治三十一年度豫算ニ於テ財政ノ基礎ヲ鞏固ニスル爲ニ國務大臣ニ命シ租稅增加ノ經畫ヲ定メシメ法典ノ修正案及國運ノ振張行政ノ發達ニ必要ナル諸法律案ト共ニ之ヲ議會ニ提出セシム 朕ハ卿等カ和衷審議シ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (明治三十年十二月二十四日議決)

恭ク惟ニ

車駕親臨シテ第十一回帝國議會開院ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ臣等感激ノ至ニ堪ヘス

臣等 慎重審議以テ上

陛下ノ聖旨ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長臣鳩山和夫誠恐誠惶謹テ奏ス

第十二回(特別)議會開院式勅語 (明治三十一年五月十九日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク 維新開國ノ國是ニ基ケル條約改正ノ業ハ今ヤ其ノ實施ヲ見ル將サニ近キニアラムトス朕ハ忠良ナル臣民ノ上一致之ヲ遂行スルニ昂メ以テ益國光ヲ發揚セムコトヲ望ム 法典ハ曩ニ其ノ施行ヲ延期シ逐次修正ヲ加ヘシメ其ノ一部ハ既ニ公布セシメタリ茲ニ爾後ノ修正ニ屬スルモノヲ以テ議會ノ議ニ付セシム 朕ハ時運ノ進歩ニ伴ヒ憲政ノ益鞏固ナラムコトヲ望ミ衆議院議員選舉法修正案ヲ議會ニ提出セシム

明治三十一年度ノ歲出歲入ハ既ニ前年度ノ豫算ニ依ラシメタリ仍財政ノ基礎ヲ鞏固ニスル爲ニ國務大臣ニ命シ租稅增加ノ經畫ヲ定メシメ其ノ他ノ緊急ナル追加豫算及諸法律案ト共ニ議會ノ議ニ付セシム

朕ハ卿等カ國家ノ要務ニ對シテ慎重審議以テ協贊ノ任ヲ竭クサムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (明治三十一年五月十九日議決)

恭ク惟ルニ

車駕親臨シテ第十二回帝國議會開院ノ盛典ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ 臣等感激ノ至ニ堪ヘス

臣等慎重審議協贊ノ任ヲ盡シ以テ上

陛下ノ睿慮ニ對ヘ奉リ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長 臣片岡健吉誠恐誠惶謹テ奏ス

第十二回(特別)議會開院式勅語 (明治三十一年十二月三日)

朕茲ニ帝國議會ノ開院式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

締約諸國ノ交際ハ益、親厚ヲ加ヘ改正條約ノ實施ハ其ノ期近キニ在リ朕ハ上下相勗メテ之カ效

果ヲ收メムコトヲ望ム

朕ハ財政ノ基礎ヲ鞏固ナラシムル爲國務大臣ニ命シテ之カ經畫ヲ盡サシメ之ニ關スル法律案ハ

明治三十二年度ノ豫算及各般ノ法律案ト共ニ議會ノ議ニ付セシム朕ハ卿等カ國家ノ要務ニ對シ

テ公平慎重以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (明治三十一年十二月三日議決)

恭ク惟ニ

陛下茲ニ第十三回帝國議會開會ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ 臣等感激ノ至ニ堪ヘス 臣等

謹テ 聖旨ヲ奉體シ憲章ヲ恪遵シ慎重審議以テ上

陛下ノ隆恩ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院副議長 臣元田肇 誠恐誠惶謹テ奏ス

第十四回議會開院式勅語 (明治三十二年十一月二十二日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

條約改正ノ業茲ニ其ノ完成ヲ告ケ締盟各國ノ交際益、其ノ親睦ヲ加フルハ朕ノ喜フ所ナリ朕ハ

忠良ナル臣民ノ一致和協我國運進暢ノ好果ヲ收メムコトヲ望ム

朕ハ國務大臣ニ命シテ明治三十三年度ノ豫算及必要ナル各般ノ法律案ヲ提出セシム

卿等國家ノ要務ニ對シ慎重審議以テ協贊ノ任ヲ竭シ朕カ望ニ副ハムコトヲ努メヨ

右勅語ニ對スル奉答 (明治三十二年十一月二十二日議決)

恭ク惟ニ

車駕親臨シテ茲ニ第十四回帝國議會開會ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ 臣等感激ノ至ニ堪

へス今ヤ條約改正ノ業其ノ完成ヲ告ク 臣等幸ニ此ノ隆運ニ際シ謹テ協贊ノ任ヲ完フシ上
陛下ノ聖旨ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長 臣片岡健吉誠恐誠惶謹テ奏ス

第十五回議會開院式勅語 (明治三十三年十二月二十五日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク
朕ハ締盟各國ノ交誼益々深厚ナルヲ喜フ

北清ニ於ケル痛惜スヘキ事件ノ起ルヤ朕ハ朕ノ代表者其ノ他ノ臣民及他ノ外國人ヲ救濟セシム
ル爲必要ナル陸海軍隊ノ派遣ヲ命シタリ

朕ノ軍隊カ諸外國ノ軍隊ト協力シテ其ノ任務ヲ盡スニ際シ發揮シタル忠勇ハ朕ノ深ク嘉ミスル
所ナリ朕ノ政府ハ列國ト協同シテ清國ノ秩序ヲ恢復シ將來ニ於ケル平和ノ保證ヲ得ムコトヲ努
ム

朕ハ國家必要ノ軍費ヲ支辨シ竝ニ財政ノ基礎ヲ鞏固ニスル爲國務大臣ニ命シテ租稅增加ノ經畫
ヲ定メシメ明治三十四年度豫算案及諸法律案ト共ニ議會ノ議ニ付セシム
朕ハ卿等カ國家ノ要務ニ對シ和衷審議シ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (明治三十三年十二月二十五日議決)

恭ク惟ニ

車駕親臨シテ茲ニ第十五回帝國議會開會ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ 臣等感激ノ至ニ堪

ヘス刻下東洋多事ニ際ス 臣等慎重審議以テ協贊ノ任ヲ盡シ上

陛下ノ聖慮ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長 臣片岡健吉誠恐誠惶謹テ奏ス

第十六回議會開院式勅語 (明治三十四年十二月十日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

朕ハ帝國ト締盟列國トノ交際益々親厚ヲ加フルヲ喜フ

北清ノ事變ニ就キテハ列國ト協同シテ當初ノ冀望ヲ達シ善後ノ計亦將サニ成ヲ告ムトス朕ハ文

武臣僚ノ勵精及各員ノ協贊ニ依リ帝國ノ光輝ヲ宣揚シタルヲ嘉ミス

朕ハ國務大臣ニ命シテ明治三十五年度ノ豫算及各般ノ法律案ヲ提出セシム卿等國家ノ要務ニ對
シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭シ朕カ望ム所ニ副ヘヨ

右勅語ニ對スル奉答 (明治三十四年十二月十日議決)

恭ク惟ニ

車駕親臨シテ爰ニ第十六回帝國議會開會ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ 臣等感激ノ至ニ堪ヘス今ヤ北清ノ事變漸ク鎮定ニ歸ス

陛下ノ稜威ニ頼ルニアラスムハ焉ソ能ク此ノ如クナルヲ得ムヤ願フニ東洋尙多事タルヲ免レス

臣等 國家ノ要務ニ對シ慎重審議以テ協贊ノ任ヲ竭シ上

陛下ノ聖慮ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長 臣片岡健吉誠恐誠惶謹テ奏ス

第十七回議會開院式勅語 (明治三十五年十二月九日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

帝國ト締盟列國トノ交際益々親厚ヲ加ヘ且北清事變ニ對スル善後ノ措置其ノ機宜ヲ誤ラス克ク東洋ノ平和ヲ復セルハ朕深ク之ヲ欣フ

朕ハ國務大臣ニ命シ時局ノ狀勢ニ鑑ミ國防ノ充實ト國運ノ振張ニ必要ナル經畫ヲ定メシメ之ニ基キタル明治三十六年度豫算案ハ各般ノ法律案ト共ニ議會ノ議ニ付セシム卿等慎重審議以テ和衷協贊ノ任ヲ完フセムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (明治三十五年十二月九日議決)ハ略第十二回議會ニ同シ

第十八回(特別)議會開院式勅語 (明治三十六年五月十二日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

明治三十六年度ノ歳出歳入ハ既ニ前年度ノ豫算ニ依ラシメタリ仍國務大臣ニ命シテ國防ノ充實ト國運ノ振張ニ關シ緊急ナル追加豫算案及法律案ヲ提出セシム卿等國家ノ要務ニ對シテ慎重審議以テ和衷協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (明治三十六年五月十二日議決)ハ略第十一回議會ニ同シ

第十九回議會開院式勅語 (明治三十六年十二月十日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

帝國ト締盟列國トノ交際益々親厚ヲ加フルハ朕深ク之ヲ欣フ而シテ東洋ノ平和ト帝國ノ利權ヲ保持スル爲緊要ナル國際ノ交渉ニ關シテハ國務大臣ヲシテ慎重其ノ事ニ當ラシム

朕ハ國務大臣ニ命シテ財政ニ關スル經畫ヲ定メシメ明治三十七年度ノ豫算ハ各般ノ法律案ト共

ニ議會ノ議ニ付セシム卿等和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭シ朕カ望ム所ニ副ヘヨ

二十

右勅語ニ對スル奉答

(明治三十六年十二月十日議決翌十一日奉呈スヘキ答ノ禮御都合)

恭ク惟ニ

車駕親臨シテ茲ニ第十九回帝國議會開院ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ臣等感激ノ至ニ堪ヘス今ヤ國運ノ興隆洵ニ千載ノ一遇ナルニ方テ閣臣ノ施設之ニ伴ハス内政ハ彌縫ヲ事トシ外交ハ機宜ヲ失シ臣等ヲシテ憂虞措ク能ハサラシム仰キ願クハ 聖鑑ヲ垂レ給ハムコトヲ臣等協贊ノ任ニ在リ慎重審議以テ上

陛下ノ聖旨ニ答ヘ奉リ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長 臣河野廣中誠恐誠惶謹テ奏ス

第二十回(臨時)議會開院式勅語 (明治三十七年三月二十日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク帝國ト締盟各國トノ交際益々親厚ヲ加フルハ朕深ク之ヲ欣フ朕ハ東洋ノ平和ヲ永遠ニ保持スルノ目的ヲ以テ朕カ政府ヲシテ露國ト交渉セシメタリ而モ露國ハ平和ヲ尊重スルノ誠意ヲ缺キ遂ニ干戈相見ルニ至レルハ朕カ憾トスル所ナリ然レトモ事既ニ

此ニ至ル交戦ノ目的ヲ達セスムハ止ムヘカラス今ヤ朕カ軍人ハ艱苦ヲ排シテ其ノ忠勇ヲ致セリ朕ハ帝國臣民カ協同一致以テ國光ヲ宣揚セムコトヲ望ム朕ハ國務大臣ニ命シテ特ニ時局ニ關シ緊急ナル豫算案及法律案ヲ提出セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷協贊ノ任ヲ竭シ以テ朕カ望ム所ニ副ヘヨ

右勅語ニ對スル奉答 (明治三十七年三月二十日議決)

恭ク惟ニ

叡聖文武天皇陛下茲ニ臨時帝國議會ヲ召集シ車駕親臨開院ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ臣等恐懼ノ至ニ堪ヘス願フニ帝國カ東洋ノ平和ヲ保持スルニ切ナルハ一日ニアラス然ルニ露國ハ平和ヲ尊重スルノ誠意ナク清國トノ盟約及列國ニ對スル累次ノ宣言ヲ破レリ陛下ノ戰ヲ宣シ給ヒタルハ臣等ノ感激ニ堪ヘサル所ナリ今ヤ外征ノ師ハ連戰連勝益々忠勇ヲ致ス是レ

陛下ノ稜威ニ賴ラスムハアラス臣等謹テ 聖旨ヲ奉體シ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ期ス衆議院議長 臣松田正久誠恐誠惶謹テ奏ス

第二十一回議會開院式勅語 (明治三十七年十一月三十日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク
帝國ト締盟各國トノ交際益、親厚ヲ加フルハ朕深ク之ヲ欣フ
朕ハ國務大臣ニ命シ刻下ノ急要ナル臨時軍事費支辨ニ關スル經畫ヲ定メシメ明治三十八年度豫
算案及法律案ト共ニ之ヲ提出セシム
朕カ外征ノ師ハ每戰捷ヲ奏シ今ヤ益、其ノ勇武ヲ發揮シテ戰局漸次其ノ歩ヲ進ム
朕ハ臣民ノ忠誠ニ倚信シ終局ノ目的ヲ達セムコトヲ期ス卿等克ク朕カ旨ヲ體シ和衷協贊ノ任ヲ
竭サムコトヲ努メヨ

右勅語ニ對スル奉答 (明治三十七年十一月三十日議決)

恭ク惟ニ

陛下茲ニ第二十一回帝國議會ヲ召集シ
車駕親臨開院ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ臣等感激恐懼ノ至ニ堪ヘス今ヤ皇師連捷戰局
歩ヲ進メ兵氣外ニ張り民心内ニ振フ是レ

陛下ノ稜威ニ賴ルニアラスムハ焉ソ能ク此ニ至ルヲ得ムヤ然レトモ前途尙遼遠ニシテ軍費ヲ要
スル愈、多ク内外ノ施設又多端ニ際ス方ニ舉國一致堅忍持久以テ報効ヲ圖ルヘキノ秋ナリ臣等
益、心力ヲ竭シテ協贊ノ任ヲ完フシ上

陛下ノ信任ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長 臣松田正久誠恐誠惶謹テ奏ス

第二十二回議會開院式勅語 (明治三十八年十二月二十八日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク
朕ハ文武臣僚及各員ノ翼贊ト民庶ノ忠誠ニ依リ光榮ヲ以テ干戈ヲ戢メ已ニ露國ト善鄰ノ誼ヲ復
シタリ而テ英國トノ協約囊ニ改締ヲ經締盟各國トノ交際益、親厚ヲ加フルハ朕深ク之ヲ欣フ
帝國ト韓國ノ關係ハ數次ノ協約ニ依リ愈、接密ヲ加フ今後益、友好ノ誼ヲ厚フシ以テ指導啓發ノ
道ヲ完フセムコトヲ勗メサルヘカラス
朕ハ國務大臣ニ命シ明治三十九年度豫算案及法律案ヲ議會ノ議ニ付セシム卿等克ク國家ノ進運
ニ鑑ミ大成ヲ前途ニ期シテ和衷協贊ノ任ヲ竭シ以テ朕カ望ム所ニ副ヘヨ

右勅語ニ對スル奉答 (明治三十八年十二月二十八日議決)

恭ク惟ニ

車駕親臨シテ第二十二回帝國議會開院ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ 臣等感激ノ至ニ堪ヘ
ス今ヤ戰勝ノ後ニ際シ帝國ノ責任益々重ヲ加フ 臣等慎重審議協贊ノ任ヲ盡シ上 聖旨ニ對ヘ
下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長 臣松田正久誠恐誠惶謹テ奏ス

二十四

第二十二回議會開院式勅語 (明治三十九年十二月二十八日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク
帝國ト締盟列國トノ交際益々親厚ヲ加フルハ朕深ク之ヲ欣フ
朕ハ國務大臣ニ命シテ國力ノ發展ト國防ノ充實ニ必要ナル經畫ヲ定メ之ニ基キタル明治四十年
度豫算案ハ各般ノ法律案ト共ニ議會ノ議ニ付セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷協贊ノ任ヲ竭シ
以テ朕カ望ム所ニ副ヘヨ

右勅語ニ對スル奉答 (明治三十九年十二月二十八日議決)ハ略第十二回議會ニ同シ

第二十四回議會開院式勅語 (明治四十年十二月二十八日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク
帝國ト締盟列國トノ交際愈々深厚ニ英國トノ同盟益々鞏固ナルハ朕深ク之ヲ欣フ
朕ハ東洋ノ平和ヲ永遠ニ保持スルノ目的ヲ以テ佛國及露國ト協約ヲ締結シ又韓國ニ付テハ更ニ
協約ヲ重ネ以テ兩國ノ關係ヲ益々密接ナラシメタリ
朕ハ財政ノ基礎ヲ鞏固ナラシメムカ爲國務大臣ニ命シテ其ノ經畫ヲ定メシメ明治四十一年度豫
算案ハ各般ノ法律案ト共ニ議會ノ議ニ付セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷協贊ノ任ヲ竭サムコ
トヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (明治四十年十二月二十八日議決)ハ略第十二回議會ニ同シ

第二十五回議會開院式勅語 (明治四十一年十二月二十五日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク
帝國ト締盟各國トノ交際ハ年ヲ逐テ益々親厚ニ東洋ノ平和更ニ鞏固ヲ加フルハ朕深ク之ヲ欣フ
朕ハ國務大臣ニ命シテ財政ニ關スル整理ヲ行ハシメ明治四十二年度ノ豫算案ハ各般ノ法律案ト共
ニ議會ノ議ニ付セシム卿等和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭シ朕カ望ム所ニ副ヘヨ

右勅語ニ對スル奉答 (明治四十一年十二月二十五日議決)

恭ク惟ニ

車駕親臨シテ茲ニ第二十五回帝國議會開院ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ 臣等感激ノ至ニ堪ヘス 臣等 國家ノ要務ニ對シ慎重審議協贊ノ任ヲ竭シ上 陛下ノ睿慮ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長 臣長谷場純孝誠恐誠惶謹テ奏ス

第二十六回議會開院式勅語 (明治四十二年十二月二十四日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク 帝國ト締盟各國トノ交際ハ益、親厚ヲ加ヘ東洋ノ平和愈、鞏固ナルハ朕ノ欣フ所ナリ 朕ハ財政ノ基礎ヲ鞏固ナラシメムカ爲國務大臣ニ命シ財政整理ノ經畫ヲ定メシメ明治四十三年度ノ豫算案及各般ノ法律案ト共ニ議會ノ議ニ付セシム 卿等和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (明治四十二年十二月二十四日議決)ハ略第二十五回議會ニ同シ

第二十七回議會開院式勅語 (明治四十三年十二月二十三日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク 帝國ト締盟列國ノ交際益、親厚ニ英國トノ同盟愈、鞏固ナルハ朕深ク之ヲ欣フ 朕ハ東洋ノ平和ヲ保持セム爲曩ニ露國ト協約ヲ重ネ又韓國ヲ帝國ニ併合セリ朕ハ衆庶ト共ニ永ク其ノ效果ヲ收メムコトヲ期ス 朕ハ國務大臣ニ命シテ國運ノ伸張ニ必要ナル諸般ノ計畫ヲ定メシメ明治四十四年度豫算案及法律其ノ他ノ諸案ヲ議會ニ提出セシム 卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (明治四十三年十二月二十二日議決)ハ略第十二回議會ニ同シ

第二十八回議會開院式勅語 (明治四十四年十二月二十七日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク 帝國ト締盟各國トノ交際ハ益親厚ヲ加ヘ條約ノ改正多ク其ノ成ヲ告ケ英國トノ協約ハ更ニ改締ヲ經タリ朕深ク之ヲ欣フ

清國ノ擾亂ハ朕太タ之ヲ憂フ速ニ秩序ヲ復シ和平ヲ見ルニ至ラムコトヲ望ム
朕ハ國務大臣ニ命シテ明治四十五年度ノ豫算案及各般ノ法律案ヲ提出セシム卿等和衷審議以テ
協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (明治四十四年十二月二十七日議決)ハ略第十二回議會ニ同シ

第二十九回(臨時)議會開院式勅語 (大正元年八月二十三日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク
朕新ニ大統ヲ繼キ祖宗ノ宏謨ニ遵ヒ先帝ノ遺緒ヲ紹述セムコトヲ期ス
朕今皇考大喪ノ儀ヲ行ハムトスルニ方リ國務大臣ニ命シテ之ニ關スル豫算案ヲ提出セシム卿等
審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (大正元年八月二十三日議決)

衆議院議長 臣大岡育造誠惶誠恐謹ミテ奏ス恭ク惟ルニ

先帝天縱睿明登極ノ初首トシテ大誓ヲ天地神明ニ立テ宏謨ヲ開國進取ニ定メタマヒ内ニハ政刑

ヲ整ヘ文教ヲ施シ軍制ヲ振ヒ庶績ヲ勸メ大憲ヲ宣布シテ憲政ヲ創定シタマヒ外ニハ列國ト輯
睦シ夙ニ東洋平和ノ大局ヲ軫念シタマヒ事アレハ則國力ヲ舉テ之ヲ保持スルコトヲ惜ミタマ
ハス是ヲ以テ大義感孚シテ列國親交シ盛德大業臣庶ノ懷服スル所萬邦ノ具瞻スル所タリ何ソ
圖ラム一朝奄ニ晏駕シタマヒ率薄驚悼豈翹ニ考妣ヲ喪スルカ如クナルノミナラムヤ臣等痛傷
悲慟涕泣已ムナシ今

陛下聖德乾覆克文克武即チ大統ヲ承ケサセタマヒ茲ニ帝國議會ヲ開キ忝ク 聖勅ヲ賜ヒ大喪ノ
費用ヲ議定セシメタマフ臣等恐懼ノ至ニ勝ヘス臣等肅ミテ 聖旨ヲ奉體シ慎重ニ審議シ以テ
國民ノ至誠ヲ表シ奉ラムコトヲ期ス衆議院議長 臣大岡育造誠惶誠恐謹ミテ奏ス

第二十回議會開院式勅語 (大正元年十二月二十七日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク
帝國ト締盟各國トノ交際益々親厚ニ英國トノ同盟愈々鞏固ナルハ朕深ク之ヲ欣フ
朕ハ國務大臣ニ命シテ大正二年度ノ豫算案及各般ノ法律案ヲ議會ノ議ニ付セシム卿等克ク朕カ
意ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (大正元年十二月二十七日議決)

恭ク惟ニ

車駕親臨シテ茲ニ第二十回帝國議會開院ノ盛典ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ 臣等感激ノ至ニ堪ヘス 臣等憲法ノ條章ニ遵ヒ慎重審議協贊ノ任ヲ竭シ上 陛下ノ聖旨ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長 臣大岡育造誠恐誠惶謹テ奏ス

第三十一回議會開院式勅語 (大正二年十二月二十六日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク 帝國ト締盟各國トノ交際益々親厚ヲ加ヘ英國トノ同盟愈々鞏固ナリ又曩ニ鄰邦ノ政府ヲ承認シ其ノ交誼ヲ敦フセリ朕深ク之ヲ欣フ即位ノ禮及大嘗祭ハ大正三年ニ於テ之ヲ行ヒ忠良ナル臣民ト其ノ慶福ヲ共ニセムコトヲ庶幾フ 朕ハ國務大臣ニ命シテ行政及財政ノ整理ヲ爲シ國運ノ進暢ニ必要ナル經畫ヲ定メシメ大正三年度ノ豫算案及各般ノ法律案ヲ議會ノ議ニ付セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (大正二年十二月二十六日議決)ハ略第三十回議會ニ同シ

第三十二回(臨時)議會開院式勅語 (大正三年五月五日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク 朕今皇妣大喪ノ儀ヲ行ハムトスルニ方リ國務大臣ニ命シテ之ニ關スル豫算案ヲ提出セシム卿等審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (大正三年五月五日議決)

衆議院議長 臣奧繁三郎誠惶誠恐謹ミテ奏ス恭ク惟ニ 皇太后陛下坤德克ク乾猷ヲ補ヒ惠澤克ク蒼生ヲ霑ス中外瞻仰億兆欽慕セサルナシ何ソ圖ラム今 奄ニ登遐シタマフ 臣等哀悼悲痛措ク所ヲ知ラス 陛下睿明至孝茲ニ臨時議會ノ開會ヲ命シ 聖詔ヲ賜ヒテ大喪ノ費用ヲ議定セシメタマフ 臣等恐懼ノ至ニ勝ヘス 臣等肅ミテ 聖旨ヲ奉體シ慎重審議以テ國民ノ至誠ヲ表シ奉ラムコトヲ期ス 衆議院議長 臣奧繁三郎誠惶誠恐謹ミテ奏ス

第三十三回(臨時)議會開院式勅語 (大正三年六月二十二日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク
朕ハ國務大臣ニ命シ海軍軍備補充ニ必要ナル大正三年度追加豫算案ヲ提出セシム卿等慎重審議
以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (大正三年六月二十二日議決)

恭ク惟ニ

車駕親臨シテ茲ニ臨時帝國議會開院ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ 臣等感激ノ至ニ堪ヘス
臣等慎重審議協贊ノ任ヲ竭シ上

陛下ノ聖旨ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長 臣奥繁三郎誠恐誠惶謹テ奏ス

第三十四回(臨時)議會開院式勅語 (大正三年九月四日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク
歐洲戰亂ノ殃禍今ヤ東洋ニ波及シ朕ハ東洋永遠ノ平和ヲ保持セムカ爲終ニ獨逸國ニ對シ戰ヲ宣

スルノ已ムヲ得サルニ至レリ

朕ハ帝國臣民カ義勇克ク公ニ奉シ一致和協速ニ交戰ノ目的ヲ達シ以テ國光ヲ宣揚セムコトヲ期ス
朕ハ國務大臣ニ命シテ時局ニ關シ特ニ緊急ナル豫算案及法律案ヲ提出セシム卿等克ク朕カ意ヲ
體シ和衷協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (大正三年九月四日議決)

恭ク惟ニ

天皇陛下茲ニ臨時帝國議會ヲ召集シ

車駕親臨開院ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ 臣等感激ノ至ニ勝ヘス 臣等肅ミテ 歡慮ヲ奉
體シ慎重審議以テ協贊ノ任ヲ竭シ上

陛下ノ聖旨ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長 臣奥繁三郎誠恐誠惶謹テ奏ス

第三十五回議會開院式勅語 (大正三年十二月七日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク
帝國ト締盟列國トノ交際ハ益々親厚ヲ加ヘ英國トノ同盟及佛露兩國トノ協商ハ今次ノ危局ニ際

シ愈、其ノ鞏固ナルコトヲ昭ニシタリ朕深ク之ヲ欣フ
朕カ外征ノ師ハ聯合國軍ト共ニ敵ノ勢力ヲ摧キ東洋爲ニ漸ク其ノ安ヲ保タムトス然レトモ戰局
猶未タ收マラス朕ハ臣民ノ忠誠ニ倚信シ速ニ終局ノ目的ヲ達セムコトヲ期ス
朕ハ國務大臣ニ命シテ更ニ行政及財政ノ整理ヲ爲シ時勢ノ必要ニ應スル諸般ノ經畫ヲ定メシメ
大正四年度及臨時事件費ノ豫算案ハ各般ノ法律案ト共ニ帝國議會ノ議ニ付セシム卿等克ク朕カ
意ヲ體シ和衷協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (大正三年十二月七日議決)ハ第三十三回議會ニ同シ

第三十六回(特別)議會開院式勅語 (大正四年五月二十日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク
朕ハ國務大臣ニ命シ緊要ナル追加豫算案及法律案ヲ議會ノ議ニ付セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ
和衷協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (大正四年五月二十日議決)ハ第三十三回議會ニ同シ

第三十七回議會開院式勅語 (大正四年十二月一日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク
帝國ト締盟各國トノ交際ハ益々親厚ニシテ英國トノ同盟及佛露兩國トノ協商ハ其ノ基礎愈々鞏固
ナリ朕深ク之ヲ欣フ
朕ハ國務大臣ニ命シテ大正五年度ノ豫算案及各般ノ法律案ヲ議會ノ議ニ付セシム卿等克ク朕カ
意ヲ體シ和衷協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (大正四年十二月一日議決)ハ第三十三回議會ニ同シ

第三十八回議會開院式勅語 (大正五年十二月二十七日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク
帝國ト締盟各國トノ交際ハ益々親厚ニシテ英國トノ同盟並佛國トノ協約ハ愈々鞏固ヲ加ヘ今次新
ニ露國ト協約ヲ重ネタリ朕深ク之ヲ欣フ
朕ハ國務大臣ニ命シテ國運ノ伸張ニ必要ナル諸般ノ計畫ヲ定メ大正六年度豫算案及法律案ヲ帝

國議會ニ提出セシム卿等克ク時局ニ鑑ミ和衷審議以テ朕カ望ム所ニ副ヘヨ

三十六

右勅語ニ對スル奉答 (大正五年十二月二十七日議決)ハ第三十三回議會ニ同シ

第三十九回(特別)議會開院式勅語 (大正六年六月二十三日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

朕ハ國務大臣ニ命シテ緊要ナル追加豫算案及法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク時局ニ鑑ミ和衷審議以テ朕カ望ム所ニ副ヘヨ

右勅語ニ對スル奉答 (大正六年六月二十二日議決)ハ第三十三回議會ニ同シ

第四十回議會開院式勅語 (大正六年十二月二十七日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

帝國ト締盟各國トノ交際ハ益、親厚ヲ加フ朕深ク之ヲ欣フ

朕ハ歐洲戰況ノ益、重大ナルニ鑑ミ努メテ聯合列強トノ協調ヲ鞏ウシ同盟履信ノ實ヲ舉ケ以テ

東洋ノ和平ヲ保全シ終局ノ目的ヲ達セムコトヲ期ス

朕ハ此ノ時ニ當リ國務大臣ニ命シテ國防ノ充實其ノ他國運ノ伸張ニ必要ナル諸般ノ計畫ヲ定メシメ大正七年度豫算案及法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭シ朕カ望ム所ニ副ヘヨ

右勅語ニ對スル奉答 (大正六年十二月二十七日議決)ハ第三十三回議會ニ同シ

第四十一回議會開院式勅語 (大正七年十二月二十七日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

帝國ト締盟各國トノ交際ハ益、親厚ヲ加ヘ今次ノ戰局ハ聯盟國ノ大捷ヲ以テ終結ヲ告ケムトス朕深ク之ヲ欣フ

朕ハ國務大臣ニ命シテ大正八年度豫算案及各般ノ法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (大正七年十二月二十七日議決)

恭ク惟ニ

陛下玆ニ第四十一回帝國議會開院ノ盛典ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ臣等感激ノ至ニ勝ヘス今
ヤ世界平和ノ曙光ヲ認メ帝國ノ利益、重ヲ加フ臣等謹テ 聖旨ヲ奉體シ慎重審議上
陛下ノ隆恩ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長 臣大岡育造誠恐誠惶謹テ奏ス

第四十二回議會開院式勅語 (大正八年十二月二十六日)

朕玆ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク
帝國ト締盟各國トノ交際ハ益、親厚ヲ加ヘ平和ノ協定其ノ成ヲ見ムトス朕深ク之ヲ欣フ
朕ハ國務大臣ニ命シテ大正九年度豫算案及各般ノ法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ
意ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (大正八年十二月二十六日議決)

陛下玆ニ第四十二回帝國議會開院ノ盛典ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ臣等感激ノ至ニ勝ヘス今
ヤ世界ノ平和將ニ成ラムトス帝國ノ利益、重ヲ加フ臣等謹テ 聖旨ヲ奉體シ慎重審議上
陛下ノ隆恩ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長 臣大岡育造誠恐誠惶謹テ奏ス

第四十二回(特別)議會開院式勅語 (大正九年七月一日)

朕玆ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク
朕ハ國務大臣ニ命シテ緊要ナル追加豫算案及法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意ヲ
體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (大正九年七月一日議決)

恭ク惟ニ

陛下玆ニ第四十三回帝國議會開院ノ盛典ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ臣等感激ノ至ニ勝ヘス臣等
慎重審議協贊ノ任ヲ竭シ上
陛下ノ聖旨ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長 臣奧繁三郎誠恐誠惶謹テ奏ス

第四十四回議會開院式勅語 (大正九年十二月二十七日)

朕玆ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク
帝國ト締盟各國トノ交際ハ益、親厚ヲ加フ朕深ク之ヲ欣フ

朕ハ國務大臣ニ命シテ大正十年度豫算案及各般ノ法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (大正九年十二月二十七日議決)ハ第四十三回議會ニ同シ

第四十五回議會開院式勅語 (大正十年十二月二十六日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

帝國ト締盟各國トノ交際ハ益々親厚ヲ加ヘ華盛頓會議モ亦將ニ其ノ成果ヲ見ムトス朕深ク之ヲ欣フ今ヤ帝國ハ外列強ニ伍シテ負荷重キヲ加ヘ内文運ノ伸暢ニ伴ヒ時務愈々滋カラムトス朕ハ忠良ナル臣民ノ協力ニ倚藉シ以テ國勢隆昌ノ實ヲ舉ケ世界平和ノ確立ト文化ノ進展トニ資セムコトヲ期ス

朕ハ國務大臣ニ命シテ大正十一年度豫算案及各般ノ法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (大正十年十二月二十六日議決)

恭ク惟ニ

陛下茲ニ第四十五回帝國議會開院ノ盛式ヲ舉ケ 攝政殿下台臨優渥ナル 聖詔ヲ賜フ臣等感激ノ至ニ勝ヘス臣等 慎重審議協贊ノ任ヲ竭シ上

陛下ノ聖旨ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長臣奧繁三郎 誠恐誠惶謹テ奏ス

第四十六回議會開院式勅語 (大正十一年十二月二十七日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

帝國ト締盟各國トノ交際ハ益々親厚ヲ加フ朕深ク之ヲ欣フ 朕ハ國務大臣ニ命シテ大正十二年度豫算案及各般ノ法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (大正十一年十二月二十七日議決)ハ第四十五回議會ニ同シ

第四十七回(臨時)議會開院式勅語 (大正十二年十二月十一日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

今次ノ變災ニ當リ官民一致賑恤救護ニ勉メ同胞共存ノ精神ヲ發揮シタルハ朕深ク之ヲ欣ブ此時ニ際シ宇内ノ友邦亦咸我國民ニ救援ノ至情ヲ寄セタルハ朕ノ特ニ銘記スル所ナリ
朕ハ國務大臣ニ命シテ緊急ナル追加豫算案及法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (大正十二年十二月十一日議決)

恭ク惟ニ

陛下茲ニ第四十七回帝國議會開院ノ盛式ヲ舉ケサセラレ 攝政殿下台臨優渥ナル 聖詔ヲ賜フ

臣等 感激ノ至ニ勝ヘス今次ノ變災ハ眞ニ曠古ノ殃禍ニシテ罔極ノ損失タリ

陛下深ク此ニ軫念アラセラレ惠撫愛恤範ヲ垂レ訓ヲ弘メ民心ヲシテ嚮フ所ヲ知ラシメ給フ臣等

謹テ 聖旨ヲ奉體シ慎重審議協贊シテ災後ニ善處シ上

陛下ノ隆恩ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス

衆議院議長臣粕谷義三 誠恐誠惶謹テ奏ス

第四十八回議會開院式勅語 (大正十二年十二月二十七日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク
帝國ト締盟各國トノ交際ハ益々親厚ヲ加フ朕深ク之ヲ欣ブ
朕ハ國務大臣ニ命シテ大正十三年度豫算案及各般ノ法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (大正十二年十二月二十七日議決)

恭ク惟ニ

陛下茲ニ第四十八回帝國議會開院ノ盛式ヲ舉ケサセラレ 攝政殿下台臨優渥ナル 聖詔ヲ賜フ

臣等 感激ノ至ニ勝ヘス臣等 慎重審議協贊ノ任ヲ竭シ上

陛下ノ聖旨ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長臣粕谷義三 誠恐誠惶謹テ奏ス

第四十九回(特別)議會開院式勅語 (大正十三年六月二十八日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク
朕ハ國務大臣ニ命シテ緊要ナル追加豫算案及法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (大正十三年六月二十八日議決)ハ第四十八回議會ニ同シ

第五十回議會開院式勅語 (大正十三年十二月二十六日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク
帝國ト締盟各國トノ交際ハ益々親厚ヲ加フ朕深ク之ヲ欣フ
朕ハ國務大臣ニ命シテ大正十四年度豫算案及各般ノ法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕
カ意ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (大正十三年十二月二十六日議決)ハ第四十八回議會ニ同シ

第五十一回議會開院式勅語 (大正十四年十二月二十六日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク
帝國ト締盟各國トノ交際ハ益々親厚ヲ加フ朕深ク之ヲ欣フ朕ハ國務大臣ニ命シテ大正十五年度
豫算案及各般ノ法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ
竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (大正十四年十二月二十六日議決)ハ第四十八回議會ニ同シ

第五十二回議會開院式勅語 (昭和二年十二月二十六日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク
朕遽ニ大喪ニ遭ヒ新ニ大統ヲ嗣ク迺チ皇祖考ノ遺業ヲ顯揚シ皇考ノ遺圖ヲ順承シ以テ祖宗ノ宏
謨ヲ繼述センコトヲ期ス
帝國ト締盟各國トノ交際ハ益々親厚ヲ加フ朕深ク之ヲ欣フ朕ハ國務大臣ニ命シテ昭和二年度豫
算案及各般ノ法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭
サンコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (昭和二年十二月二十六日議決)

衆議院議長 臣 粕谷義三 誠恐誠惶謹テ奏ス恭ク惟ニ

大行天皇奄ニ崩御アラセラレ臣等哀悼悲痛措ク所ヲ知ラス

陛下天縱睿明允文允武新ニ大統ヲ承ケサセタマヒ茲ニ第五十二回帝國議會開院ノ盛式ヲ舉ケ優

渥ナル 聖詔ヲ賜フ宏謨深遠寔ニ感激ノ至ニ勝ヘス臣等慎重審議協贊ノ任ヲ竭シ上
陛下ノ聖旨ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長臣粕谷義三誠恐誠惶謹テ奏ス

第五十三回(臨時)議會開院式勅語 (昭和二年五月四日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク朕ハ財界ノ現況ニ鑑ミ國務大臣ニ
命シテ之カ安定ニ關シ特ニ緊急ナル法律案ヲ提出セシム卿等慎重審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコ
トヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (昭和二年五月四日議決)ハ第三十三回議會ニ同シ

第五十四回議會開院式勅語 (昭和二年十二月二十六日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク
帝國ト締盟各國トノ交際ハ益々親厚ヲ加フ朕深ク之ヲ欣フ
即位ノ禮及大嘗祭ハ昭和三年ニ於テ之ヲ行ヒ忠良ナル臣民ト其ノ慶福ヲ共ニセムコトヲ庶幾フ
朕ハ國務大臣ニ命シテ昭和三年度豫算案及各般ノ法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ

意ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (昭和二年十二月二十六日議決)ハ第五十三回議會ニ同シ

二 上奏及之ニ關スル勅語、勅問、奉答、御沙汰

(附、建議ニ對スル勅語)

(一) 議會會期延長ノ上奏

第一回議會 (明治二十四年二月二十四日議決)

帝國議會開會以來既ニ八十有餘日^{臣等}精勵勤勉事ニ茲ニ從フト雖事創始ニ屬シ議事整理等ノ爲メ幾多ノ日子ヲ費ヤシ又議院燒失ノ災ニ罹リ定期ノ日數ニ不足ヲ來タシ殊ニ尙ホ議スヘキ議案積テ堆ヲ爲セリ仰キ願クハ相當ノ日數延長ノ令ヲ下シ賜ハラシコトヲ誠恐誠懼謹テ奏ス

(二) 國事犯特赦ノ上奏

第一回議會 (明治二十四年三月七日議決)

我輩聖文武ナル 天皇陛下ハ夙ニ王政維新ノ大業ヲ舉ケ親ヲ文武百官ヲ統率シ僅々二十年ノ歲月ヲ以テ立憲代議ノ新制ヲ立テラレシハ各國ノ歴史ニ於テ未タ曾テ見サル所ナリ而シテ曩キニ大典ノ發布セララルヤ凡ソ國事犯罪ハ皆大赦ノ恩ニ沾フヲ得天下ノ人士皆聖德ノ洪大ナルヲ讚

附錄 二 上奏及之ニ關スル勅語、勅問、奉答、御沙汰

一、二、三

美シ天恩ノ優渥ナルニ感泣セサル莫シ然リ而シテ現時幾多ノ罪囚中立憲政體ノ設立ヲ願望シ熱心ノ極誤テ刑律ニ觸レ常事犯ノ附帶セルカ爲メ若クハ其行爲ノ全ク尋常犯罪ニ類シタルカ爲メ未タ赦免ノ典ニ與ルコトヲ得サル者少カラス今ヤ代議制度實施ノ盛運ニ際會セリ陛下深仁深慈願クハ有司ニ勅シ其犯罪ヲ審査セシメ其心事ノ最モ憐ムヘキモノハ特ニ赦宥ヲ賜ヒ彼輩ヲシテ青天白日ノ身トナリ順ニ歸シ正ニ就キ感激シテ以テ忠君愛國ノ務ヲ盡スコトヲ得セシメラレシコトヲ誠惶誠懼謹テ奏ス

(三) 內閣不信任ノ上奏及之ニ對スル詔勅並奉答

第四回議會 (明治二十六年二月七日議決)

衆議院議長 臣星亨本院ノ決議ヲ具シ謹テ奏ス伏シテ惟レハ

天皇陛下經文緯武丕ニ中興ノ昌運ヲ啓キ參天貳地始メテ立憲ノ大典ヲ定メ特ニ上下一心和衷協同

懿訓ヲ垂レサセタマヒ

天恩徧ク覆ヒ

皇澤洽ク潤ヒ海内ノ臣民孰レカ感激シテ以テ報効ヲ圖ラサラム臣等竊ニ惟レハ立憲ノ要ハ上下心

ヲ一ニシ以テ大政ヲ翼贊スルニ在リ是故ニ立法行政各部ノ期スル所相與ニ赤誠ヲ披瀝シ以テ和衷協同ノ實ヲ舉ルヨリ重且ツ大ナルハナシ然ルニ議會創開以來立法行政ノ兩部常ニ調和ヲ失ヒ百揆滯礙シ庶績否塞シ終ニ世局ノ進運ニ隨ヒ革新改善ノ効ヲ收ムル能ハス是レ臣等ノ精誠未タ貫徹セサルニ因ルト雖抑々內閣大臣其ノ職ヲ盡ササルノ致ス所ナリ臣等政費ヲ削減シ用度ヲ裁節セムト欲スルハ政府過大ノ弊ヲ矯メ民力休養ノ事ヲ行ハムカ爲メニシテ即チ第一期議會以來終始一貫敢テ渝ルコトナシ本院茲ニ明治二十六年度豫算案ヲ議スルニ當リ反覆審查深ク國力ノ消長ヲ慮リ詳カニ事務ノ緩急ヲ察シ以テ歲出ヲ節省シ憲法第六十七條ノ規定ニ係ル歲出ハ本條ニ遵由シテ再三政府ノ同意ヲ求メタリ然ルニ政府ハ漫ニ不同意ヲ表シ而シテ其ノ理由及費途ヲ條舉說明セサルノミナラス錢厘ノ徹ト雖削減スヘカラスト斷言セリ是ニ於テ本院ハ休會五日以テ政府ノ反省ヲ求ムト雖政府ハ猶ホ前說ヲ固執シ敢テ省ミス夫レ憲法第六十七條範圍内ノ歲出ニ關シ政府ノ不同意ヲ表スルニ當テハ其ノ款項ヲ條舉シ其ノ理由ヲ明示スルハ立憲國大臣ノ德義ニシテ和衷協同ノ道モ亦此ニ在リ然ルニ內閣ノ舉措此ニ出テス是レ臣等ノ甚タ痛歎スル所ナリ又軍艦製造費ニ關シ曰ク議會ハ之ヲ否決セシト雖政府ハ憲法ノ許ス範圍内ニ於テ斷乎トシテ其ノ計畫スル所ヲ徹底スル道ヲ求メサルヘカラスト臣等其ノ言ノ不經ナルヲ異ミ直ニ其ノ説明ヲ求ムト雖答ヘス是レ大臣タル者ノ爲スヘキ所ナラムヤ臣等

附錄

二 上奏及之ニ關スル勅語、勅問、奉答、御沙汰

(三)

昧死敢テ

天威ヲ冒シ

宸廳ヲ煩シ奉ルハ豈ニ臣等ノ素志ナラムヤ誠ニ止ムヲ得サレハナリ蓋シ政府議會比年相睽キ官民相軋ル所以ハ其ノ由テ來ル既ニ久シ今ニ於テ積弊ヲ除キ立憲政治ノ實効ヲ奏セスムハ國家ノ事爲メニ廢弛セムトス夫レ政費國力相伴ヒ上一途ノ方針ニ據リ内ハ以テ國運ヲ隆興シ外ハ以テ國威ヲ宣揚スルハ實ニ方今ノ急務ナリ臣等民心ノアル所ヲ表明スト雖内閣ハ之ヲ峻拒シ臣等ヲシテ協贊ノ任ヲ全フスルヲ得サラシム是レ財政ヲ調理シ國家ヲ經綸スル所以ノ道ニアラス臣等此ノ如キ内閣ト竝立チ上ハ

聖意ヲ奉體シ下ハ民意ヲ暢達スル能ハサラムコトヲ是レ恐ル伏テ願クハ

陛下特ニ

勅諭ヲ垂レタマハムコトヲ臣等誠恐誠惶謹ミ奏ス

右上奏ニ對スル勅語(一) (明治二十六年二月八日)

朕能ク熟覽シ置ク

右上奏ニ對スル詔勅(二) (明治二十六年二月十日)

在廷ノ臣僚及帝國議會ノ各員ニ告ク

古者皇祖國ヲ肇ムルノ初ニ當リ六合ヲ兼テ八紘ヲ掩フノ詔アリ朕既ニ大權ヲ總攬シ藩邦ノ制ヲ廢シ文武ノ政ヲ革メ又宇内ノ大勢ヲ察シ開國ノ國是ヲ定ム爾來二十有餘年百揆ノ施設一ニ皆祖宗ノ遠猷ニ率由シ以テ臣民ノ康福ヲ増シ國家ノ隆昌ヲ圖ラムトスルニ外ナラス朕又議會ヲ開キ公議ヲ盡シ以テ大業ヲ翼贊セシメムコトヲ期シタリ而シテ憲法ノ施行方ニ初步ニ屬ス始ヲ慎ミ終ヲ克クシ端ヲ今日ニ正シ大成ヲ將來ニ期セサルヘカラス願ルニ宇内列國ノ進勢ハ日一日ヨリ急ナリ今ノ時ニ當リ紛爭日ヲ曠クシ遂ニ大計ヲ遺レ以テ國運進張ノ機ヲ誤ルカ如キコトアラハ朕カ祖宗ノ威靈ニ奉對スルノ志ニ非ス又立憲ノ美果ヲ收ムルノ道ニ非サルナリ朕ハ在延ノ臣僚ニ信任シテ其ノ大事ヲ終始セムコトヲ欲シ又人民ノ選良ニ倚藉シテ朕カ日夕憂虞ヲ分ツコトヲ疑ハサルナリ

憲法第六十七條ニ掲ケタル費目ハ既ニ正文ノ保障スル所ニ屬シ今ニ於テ紛議ノ因タルヘカラス但シ朕ハ特ニ閣臣ニ命シ行政各般ノ整理ハ其ノ必要ニ從ヒ徐ロニ審議熟計シテ遺算ナキヲ期シ朕カ裁定ヲ仰カシム

國家軍防ノ事ニ至テハ苟モ一日ヲ緩クスルトキハ或ハ百年ノ悔ヲ遺サム朕茲ニ内廷ノ費ヲ省キ六年ノ間毎歲參拾萬圓ヲ下付シ又文武ノ官僚ニ命シ特別ノ情狀アル者ヲ除ク外同年月間其ノ俸給十分一ヲ納レ以テ製艦費ノ補足ニ充テシム
朕ハ閣臣ト議會トニ倚リ立憲ノ機關トシ其ノ各々權域ヲ慎ミ和衷ノ道ニ由リ以テ朕カ大事ヲ輔翼シ有終ノ美ヲ成サムコトヲ望ム

右詔勅ニ對スル奉答 (明治二十六年二月十三日)

恭シク惟ニ

陛下聖德天覆地載茲ニ優渥ナル 聖詔ヲ賜ヘリ臣等恐懼ノ至ニ堪ヘス臣等謹テ 聖旨ヲ奉體シ和衷協同益心力ヲ盡シ以テ大業補翼ノ任ヲ完クシ以テ陛下ノ隆恩ニ奉對セントス衆議院議長 臣星亨誠恐謹惶謹テ奏ス

右詔勅奉答ニ對スル勅語 (宮内大臣ノ口達) (明治二十六年二月十三日)

本日ノ奉答ハ御満足ニ思召ス

(四) 條約改正ノ上奏

第四回議會 (明治二十六年二月十五日議決)

衆議院議長 臣星亨誠恐謹惶頓首謹テ

叡聖文武天皇陛下ニ上奏ス 臣等

立憲ノ聖世ニ生レ人民ノ推選ニ由リ叨ニ乏ヲ大猷贊畫ノ鴻任ニ承ク豈鞠躬盡瘁

陛下ノ聖明ニ答ヘ人民ノ付託ニ副フコトヲ期セサラムヤ伏シテ惟ルニ

皇祖國ヲ關キ統ヲ垂レタマヒシヨリ茲ニ二千五百有餘年

天子聖明臣民忠勇以テ内ヲ綏撫シ以テ外ヲ懷柔シ國威煌耀未タ曾テ汚瀆セサルナリ降テ嘉永安

政ノ間ニ至リ幕府政ヲ失シ海内鼎沸復國是ノ歸向スル所ナシ而シテ列國此ノ隙ニ乘シ我ニ逼

リテ非理ノ條約ヲ締結セシム

陛下聖明ノ德ヲ以テ此ノ間ニ登祚シ深ク皇道ノ陵夷紀綱ノ壞頽ヲ赫怒シタマヒ錦旗一タヒ動テ

宏規維レ新ニ洪模維レ革ル然レトモ獨リ非理ノ條約ハ未タ更革スル所ナクシテ法權彼ニ及ハ

ス稅權我ニ復ラス國權ノ冒蝕焉ヨリ大ナルハ莫シ臣等思フテ茲ニ至ル毎ニ未タ曾テ慷慨痛哭

セスムハアラス蓋シ治外法權ノ撤去セサル海關稅權ノ回復セサル一ハ則チ彼ノ我ニ在ル者ヲ

シテ我法度ノ外ニ立タシメ我ノ彼ニ在ル者ヲシテ彼カ法度ノ中ニ服セシメ一ハ則チ彼ノ我ニ輸スルモノヲシテ我稅權ヲ制セシメ我ノ彼ニ輸スルモノヲシテ彼ノ稅權ニ屈セシム是ヲ以テ法網痿痺シ外人侵凌シ商工萎靡シ民力凋羸シ終ニ拯フ可カラサラムトス之ヲ要スルニ當時上下恬熙有司旨味宇内ノ情勢ニ通セサルノ尤ニ坐セスムハアラス是レ國民ヲ擧テ寸時モ條約改正ヲ忘ル能ハサラシムル所以ナリ

陛下ノ至聖至明ナル夙ニ茲ニ察スル所アリ明治四年全權大使ヲ歐米各國ニ派シ條約改正ヲ議セシメタマフ爾來二十有餘年在廷ノ有司ニ勅シ銳意勵精事ニ茲ニ從ハシメ會テ之ヲ忽諸ニ付セサルナリ而シテ有司屢々蹉跌シテ未タ

陛下ノ軫念ヲ安セサル所以ノモノハ廣ク之ヲ國論ニ詢ハサルノ致ス所ナリ臣等竊ニ列國ニ觀ルニ國交ノ事ハ國論ニ決シ廷臣ノ專行ヲ許ササルナリ我國何ソ獨リ然ラサラム惟フニ有司ヲシテ曩ニ此ニ慮ル所アラシメハ條約改正ノ事或ハ肅斧ヲ揮テ朝菌ヲ斬ルノ快アラム何ソ復今日ノ議アルヲ要セムヤ夫レ條約ノ締結ハ

陛下大權ノ存スル所臣等敢テ濫ニ議ス可キニアラス然レトモ

陛下已ニ萬機公論ニ決シ盛ニ經綸ヲ行フヲ以テ天神地祇ニ誓フ則チ國民ノ心ヲ以テ心ト爲シタマヘリ臣等誠惶頓首謹テ衆議院ノ公議國民ノ輿論ヲ

聖聽ニ達セム曰治外法權ノ撤去海關稅權ノ回復沿岸貿易ノ禁止國家ノ法律ニ屬スヘキ事件ノ拒絶等ニシテ對等條約ノ締結是ナリ

陛下聖德宏大覆載容レサセタマハサル所ナシ伏シテ冀クハ輿論ノ在ル所ヲ採納セラレムコトヲ臣星亨誠恐誠惶頓首頓首謹テ上奏ス

(五) 選舉干涉ニ關スル上奏

第四回議會 (明治二十六年二月二十八日議決)

衆議院議長 臣星亨茲ニ衆議院ノ決議

ヲ具シ謹ミ奏ス伏シテ惟ルニ

叡聖文武天皇陛下龍飛ノ德ヲ以テ大ニ乾綱ヲ張り憲法ヲ布キ議會ヲ設ケ代議政體ノ基ヲ開キタマヘリ其ノ盛徳大業ハ臣民ノ仰瞻スル所ナリ臣等第三期帝國議會ニ於テ内閣ニ對シ選舉干涉ノ非ヲ論シ官吏其ノ職權ヲ濫用シ選舉權ヲ侵犯シタル事實ヲ認メ國務大臣ハ宜ク反省シテ其ノ責ニ任シ自ラ處決スル所アルヘキコトヲ決議セリ然ルニ内閣ハ改悛ニ銳意セス治務猶舊ニ仍リ民政ノ紊亂未タ理セス府縣會ノ紛擾荐リニ起リ官民反目ノ蹟ヲ存シ地方自治ノ制ヲ淆リ其ノ餘毒流レテ今ニ至リ物論沸騰人心恟々タリ抑々立憲ノ昭代ニ在リ輔弼ノ任ニ

附錄 二 上奏及之ニ關スル勅語、勅問、奉答、御沙汰 (五)

當ル國務大臣ハ決シテ其ノ責ヲ免ル、コト能ハサルヘシ既ニ内閣ハ本期議會ノ初ニ於テ施政ノ方針ヲ公示シ乃憲法ノ條章ニ遵由シ行政百般ノ機關ヲシテ憲法的動作ヲ爲サシメ以テ益々其ノ改善ヲ圖リ上ハ宏謨ヲ遵奉シテ國家ノ基礎ヲ鞏固ニシ下ハ人民ノ權理ヲ保全シ其ノ慶福ヲ増進セシメムコトヲ誓言セリ

陛下辱クモ 大詔ヲ降シ弊政ヲ釐革シ紀綱ヲ振肅セムコトヲ命セラル臣等謹テ按スルニ選舉干渉ノ事タルヤ立憲ノ大綱ヲ紊リ國家ノ慶福ヲ妨クルモノナリ乃政務ノ改善ヲ圖リ詔旨ニ奉由セムト欲セハ最先ツ此等ノ處分ヲ爲サ、ルヘカラス今敢テ内閣ニ向テ夫ノ干涉ヲ事前ニ防遏セサルヲ追咎スルニアラス其ノ善後ノ責任ヲ正言スルナリ然ルニ内閣ハ口ヲ既往ニ藉テ其ノ責ヲ逃レムトス是

陛下ノ鈞命ヲ遵奉シ 皇猷ヲ恢弘スル所以ノ道ニアラサルナリ臣等國民ヲ代表スルノ職ニ居リ義默止スルニ忍ヒス茲ニ民意ヲ條陳シ謹テ

聖裁ヲ仰キ奉ルモノ萬止ムヲ得サレハナリ仰キ願クハ

陛下叡斷ヲ垂レ國務大臣ヲシテ其ノ職ヲ盡サシメ而シテ非行ノ官吏ヲ戒飭シ大ニ民政ヲ更張セラレムコトヲ臣等誠惶誠恐謹ミ奏ス

(六)議長星亨不信任ノ上奏並勅問、奉答

第五回議會 (明治二十六年十二月一日議決)

衆議院副議長 臣楠本正隆誠惶誠恐本院ノ決議ヲ具シ謹ミ

奏ス本院ハ衆議院議長星亨ニ信任ヲ措ク能ハス故ニ其職ニ在ルヲ欲セスト決議ス 臣等曩ニ議

院法第三條ニ據リ星亨ヲ薦

奏シ

勅任ヲ辱フス是レ臣等不明ノ致ス所誤テ

天聽ヲ冒瀆ス惶懼ノ至ニ堪ヘス謹ミ

奏ス

右上奏ニ對スル勅問 (明治二十六年十二月二日)

上奏ノ趣旨ハ

朕ニ議長ヲ更任セヨト請願スルニ在ル乎

議院自ラ不明ナリシトノ過失ヲ朕ニ對シ謝スルト言ニ止乎

附錄 二 上奏及之ニ關スル勅語、奉答、御沙汰、(六)

更ニ院議ヲ盡セ

右勅問ニ對スル奉答 (明治二十六年十二月二日議決)

衆議院副議長 臣楠本正隆謹ミ

奏ス本日

上奏スル所臣等不明ノ過失ヲ謝シ奉ルニ在リ行文鹵莽爲ニ

勅問ヲ賜フ臣等惶懼ノ至ニ堪ヘス謹ミ

奏ス

(七) 官紀振肅ノ上奏

第五回議會 (明治二十六年十二月四日議決)

衆議院副議長 臣楠本正隆謹ミ

奏ス伏惟レハ

陛下忠孝ヲ以テ億兆ヲ率キ廉節ヲ以テ群臣ヲ御シ三綱因テ張リ四維因テ立ツ古聖王ノ治ト雖モ何ヲ以テ之ニ尙ヘムヤ任ニ輔弼ニ當ル者宜シク風紀ヲ嚴ニシ内行ヲ肅ミ以テ

陛下聖明ノ治ニ奉答スヘキ也今ヤ我邦

陛下ノ盛徳ニ頼リ國民以テ安シト雖モ宇内ノ形勢ハ敢テ臣庶ノ懈惰疎慢ヲ許サス閣臣タル者宜

シク日夜惴々トシテ敢テ寢食ヲ安セス或ハ民心ヲ失ヒ以テ

陛下ノ至治ニ負カムコトヲ是レ懼ルヘキノ秋ナリ然ルニ閣臣自ラ誠メス漫ニ臨ムヘカラサルノ

席ニ臨ミ會スヘカラサルノ人ニ會シ饗謙ヲ享ケ其官僚ヲシテ贈遺ヲ容レシメ醜聞道塗ニ盈テ

惡聲街巷ニ喧シ政府ノ威嚴行ハレス宰臣ノ信用地ニ墜チタリ今ニシテ之ヲ正サスムハ臣等現

クハ上

陛下ノ盛徳ヲ累ハシ下衆庶ノ離心ヲ致サムコトヲ臣等願クハ

陛下聖斷以テ閣臣ノ不肅ヲ誠メ給ハムコトヲ臣楠本正隆誠恐誠惶謹ミ

奏ス

(八) 現内閣ノ行爲ニ對シ本院ノ意思ヲ表明スル上奏竝御沙汰

第六回議會 (明治二十七年五月三十一日議決)

衆議院議長 臣楠本正隆誠惶誠恐謹ミ奏ス

叙聖文武天皇陛下 登極ノ首メ五事ノ誓文ヲ下シ明カニ億兆ニ示シタマヒ上下心ヲ一ニシ盛ニ

附錄

二 上奏及之ニ關スル勅語、勅問、奉答、御沙汰 (七、八)

經綸ヲ行ハシム 大詔ノ嚴ナル屹トシテ山嶽ノ如ク

天恩ノ厚キ穆トシテ春風ニ似タリ臣等瞻仰景從日夜孳々トシテ 盛徳ヲ翼贊シ 鴻旨ニ奉答セ

ムト欲スルモノ年已久シ然ルニ比年閣臣其施設ヲ誤リ内治外交共ニ其職責ヲ失シ動モスレ

ハ即チ累ヲ 帝室ニ及ホスニ至ル曩ニ第四期帝國議會ニ方リ閣臣ノ見ト臣等ノ議ト相觸レ臣等

内閣ト並ヒ立ツ能ハス謹テ上奏以テ罪ヲ待ツ

陛下畏クモ誓文ノ意ニ基カセラレ 大詔ヲ下シ在廷ノ臣僚及帝國議會ノ各員ニ告ケ和協ノ道ニ

由リ以テ大事ヲ補翼シ有終ノ美ヲ成サムコトヲ望ミ特ニ閣臣ニ命スルニ行政各般ノ整理ヲ以

テシタマヘリ國務大臣モ亦隆渥ノ

聖旨ヲ奉シ第五期帝國議會ヲ期シ政綱ヲ振厲シ政費ヲ節減シ海軍ヲ釐革セムコトヲ誓ヘリ是ニ

於テカ舉國ノ民

陛下カ輿論ヲ嘉納シタマフヲ聽キ額手シテ第五期帝國議會ヲ俟チ來蘇ノ慶アラムコトヲ翹望セ

リ然ルニ閣臣ノ經營一時ヲ彌縫スルニ止マリ政綱未タ振厲セス海軍未タ釐革セス惟僅ニ費途

ヲ節シ吏員ヲ沙汰シ以テ大事ヲ模稜スルニ過キ斯特ニ外政ニ至テハ偷安姑息唯外人ノ歡心ヲ

失ハレムコトヲ是レ畏レ内外親疎輕重ノ辨別ヲ顛倒スルニ至ル是レ臣等カ偏ヘニ

聖旨ニ背戾セムコトヲ恐レ戰兢自ラ安スル能ハサル所以ナリ臣等區々ノ微衷恭ク 大詔ニ遵ヒ

努メテ經綸ヲ畫シ至誠以テ

天意ニ奉答セムト欲スト雖閣臣常ニ和協ノ道ニ背キ臣等ヲシテ 大政翼贊ノ重責ヲ全フスル能

ハサラシム此ヲ以テ臣等閣臣ニ信ヲ置ク能ハサルナリ今ニシテ之ヲ匡正セスムハ臣等竊ニ恐

ル憲政内ニ紊亂シ國威外ニ失墜セムコトヲ是レ臣等カ默セムト欲シテ默スル能ハス敢テ赤心

ヲ披瀝シ 闕下ニ陳奏スル所以ナリ仰キ願クハ

陛下天地覆載ノ恩ヲ敷キ日月ノ照鑒ヲ垂レタマハムコトヲ衆議院議長 臣楠本正隆誠惶誠恐謹ミ

奏ス

右上奏ニ對スル御沙汰 (宮内大臣ノ口達)(明治二十七年六月二日)

衆議院ノ上奏ハ御採用ニ御成ラス上奏ニ對セラレテハ別段書面ヲ以テ勅答アラセラレス

(九) 征清事件ニ關スル上奏

第七回(臨時)議會 (明治二十七年十月二十一日議決)

衆議院議長 臣楠本正隆本院ノ決議ヲ具シ誠惶誠恐謹テ奏ス伏テ惟ニ

天皇陛下神聖英武清國ノ兇暴ヲ赫怒シテ征討ノ師ヲ興シ

附錄 二 上奏及之ニ關スル勅語、勅問、奉答、御沙汰 (九)

皇祖

皇宗ノ遺烈ヲ紹キ親シク大纛ヲ進メ親シク戎事ヲ裁シ肝食宵衣ノ勞ヲ執ラセ給フ是ニ於テ民心益奮ヒ兵氣倍々張り我カ帝國ノ光輝ヲ宇内ニ發揚ス中外孰レカ皇威ヲ仰カサルモノアラシヤ臣等景仰感激ノ至リニ堪ヘス謹テ奏ス

六十四

第八回議會 (明治二十八年三月二十日議決)

衆議院議長臣楠本正隆本院ノ決議ヲ具シ誠恐誠惶謹ミ奏ス
伏テ惟ルニ

陛下嚮キニ六師ヲ整ヘ大纛ヲ進メ給ヒシヨリ烈暑祁寒艱苦ヲ士卒ニ同クシ以テ軍國ノ機務ヲ親裁シ給フ前後一日ノ如シ
列聖ノ威靈

陛下ノ神武ニ頼リ民心内ニ奮ヒ兵氣外ニ震フ 皇師ノ向フ所雷擊電掣水陸風靡ス今ヤ陸海各軍愈々其歩ヲ進メ第二期作戰ヲ開始スヘキヲ勅シ給ヘリ中外孰レカ聖意ノ遠大ナルヲ欽仰セサルモノアラシヤ我武維レ揚リ我伐用テ張ル 皇威其レ八紘ニ發揚セ

ム臣等感激ノ至リニ堪ヘス謹テ奏ス

(一〇) 製艦費ニ關スル上奏並勅語

第十回議會 (明治三十年三月二十四日議決)

衆議院議長臣鳩山和夫本院ノ議決ヲ具シ謹テ奏ス恭ク惟ルニ

天皇陛下威武慈仁曩ニ國家軍防ノ一日モ忽ニスヘカラザルヲ垂示シ特ニ内廷ノ費ヲ省キ六年ノ間毎歲參拾萬圓ヲ下シ賜ヒ又文武ノ官僚ヲシテ其ノ俸給十分ノ一ヲ納レ以テ製艦費ノ補足ニ充テシムルノ

詔勅ヲ下シタマフ臣等恐惶措ク所ヲ知ラス謹テ

綸旨ヲ奉戴シ誓テ此ノ優渥ナル

聖恩ノ萬一ニ報セムコトヲ期セリ

今ヤ神聖英武ナル

陛下ノ稜威ニ因リ東津ノ平和克復セラレテヨリ國威中外ニ揚リ

皇澤億兆ニ及ヒ國運日ニ隆昌ニシテ民力月ニ殷富ナリ而シテ國防ノ軍備亦政府ノ設計セル所

附錄

二 上奏及之ニ關スル勅語、勅問、奉答、御沙汰 (一〇)

六十五

稍、其ノ緒ニ就キ富士、八島ニ艦ノ廻航又近キニ在ラムトス是偏ニ至仁ナル
聖詔ノ賜ニシテ我臣民ハ肝ニ銘シ長ク傳ヘテ逾々報效ノ途ヲ圖ラムトス此ノ時ニ當リ仍ホ
恩賜ヲ辱ウスルハ臣等ノ洵ニ恐懼ニ堪ヘサル所ナリ仰キ願クハ
陛下ノ聖明慈仁ナル臣等涓々ノ微衷ヲ納レ製艦費ノ

恩賜ヲ止メ又文武官僚ノ納付ヲ免除シ之ヲ一般國民ノ負擔ニ歸セシメ玉ハムコトヲ臣等誠
惶誠恐頓首謹テ

奏ス

右上奏ニ對スル勅語 (明治三十年三月二十五日)

朕衆議院ノ忠實ナル奏議ヲ嘉ス

(一) 償金ノ一部ヲ帝室御料ニ編入ノ建議ニ對スル勅語

第十三回議會 (明治三十一年十二月十四日)

朕ハ償金ノ一部ヲ帝室御料ニ編入スルノ件ニ關シ衆議院ノ深厚ナル誠意ヲ嘉ス

(二) 上奏(日露戰役ニ關スル件)

第二十一回議會 (明治三十八年一月六日議決)

衆議院議長 臣松田正久誠恐誠惶謹テ奏ス伏テ惟ルニ宣戰ノ 大詔渙發セラレテヨリ未タ一載
ナラス 皇師ノ向フ所戰ヘハ必ス勝手攻ムレハ必ス取ル既ニ遼陽ヲ破リテ兵氣遠ク滿洲ノ野
ニ振ヒ今ヤ旅順ヲ陷レテ敵艦全ク遼東ノ海ニ滅ヒ更ニ戰局ノ一大發展ヲ見ル
陛下ノ稜威ニ賴ルニ非サレハ曷ソ能ク此ノ振古未曾有ノ偉功ヲ奏スルヲ得ムヤ
陛下宵衣旰食軍國ノ事ニ軫念アラセ給フ臣等感激ノ至ニ堪ヘス願フニ洗兵振旅ノ期前途尙遠
ナリ臣等豈鞠躬努力以テ 聖明ニ奉答スルヲ期セナラムヤ茲ニ賀表ヲ上リテ亦誠ヲ披ク衆議
院議長 臣松田正久誠恐誠惶謹ミ奏ス

(三) 上奏(日露戰爭平和克復祝賀ニ關スル件)

第二十二回議會 (明治三十八年十二月二十八日議決)

衆議院議長 臣松田正久誠恐誠惶謹テ言ス伏シテ

惟ニ

陛下天縱聰明宸極ニ臨御シ 徽猷ヲ恢弘シ内ハ文ヲ修メ武ヲ尙ヒ乾綱維レ張り庶政維レ舉リ外
ハ列國ト輯睦ヲ敦ウシ盟約ヲ英國ニ重ネ保護ヲ韓國ニ加フ中興ノ業裁成ノ功之ヲ古今ニ徵シ
與ニ推校スル所ナシ不幸客歲露國ト釁ヲ開クヤ 大號煥發乃チ六師ヲ興シ貔貅鱗威遠近ニ
震ヒ神籌授クル所海ニ陸ニ大捷ノ功ヲ奏セサルハ莫シ而シテ友邦ノ忠言ヲ呈スルヤ 聖衷恻
廓進テ之ヲ容レ以テ平和ノ約ヲ結ハシメ旅ヲ振ヘ師ヲ班ヘス是レ寔ニ曠古ノ大業ニシテ 盛
德中外ニ光被ス 臣等 聖世ニ遭遇シ斯盛事ヲ瞻仰シ 宏謨ヲ翼贊ス何ノ慶幸カ之ニ若カム爰
ニ恭ク上表シ肅ミテ微忱ヲ敷ク 臣松田正久誠恐誠惶謹テ言ヌ

(一四) 憲法發布三十年記念祝賀上奏

第四十一回議會 (大正八年二月十日)

衆議院議長 臣大岡育造誠恐誠懼謹テ言ヌ
伏シテ惟ニ

皇朝萬世一系刑聖承續德化洋溢百姓其澤ニ浹洽シテ親附欣戴セサルナシ而シテ維新ノ始首トシ
テ宏謨ヲ萬機公論ニ決スルニ定メ漸次立憲爲治ノ基ヲ立テ竟ニ帝國憲法ヲ發布シタマヘリ是
ニ於テ臣民大政ニ獻替スルコトヲ得テ 皇國ノ丕基更ニ隆固ヲ加フ洵ニ是レ萬代ノ徽範タリ

爾來茲ニ三十年 皇威四表ニ廣被シ國運八紘ニ遐暢ス而シテ今ヤ歐洲戰亂ノ慘禍方ニ殄熄シ
テ世界平和ノ休祥將ニ光熙セムトシ帝國ノ光榮益宣揚ス 臣等幸ニ此昭代ニ遭逢シ忻歡已ムナ
シ茲ニ嘉辰ヲトシ憲法發布三十年記念祝賀ノ典ヲ舉ケ上ハ以テ
聖德ノ日ニ躋ルヲ頌シ下ハ以テ奉祝ノ微忱ヲ摠フ誠ニ歡抃欣躍ノ至ニ任ルナシ乃チ虔ミテ表ヲ
捧ケ恭ク 寶祚ノ無疆ヲ祝シ 皇威ノ益寰表ニ耀カムコトヲ禱リ奉ル 臣育造誠恐誠懼謹テ言
ヌ

(一五) 上奏(世界戰爭平和克復祝賀ニ關スル件)

第四十二回議會 (大正九年一月二十二日)

衆議院議長 臣大岡育造誠惶誠懼頓首再拜謹ミテ言ヌ
恭ク惟ニ今次ノ大戰ハ交兵多年凶殘至ラサルナシ幸ニ我カ帝國及聯合友邦ノ奮武ニ頼リ氛埃
ヲ掃蕩シテ平和ヲ克復ス實ニ是レ萬國ノ洪祥ニシテ生民ノ景福ナリ今ヤ 大詔煥發和平ノ協
定新ニ成リ國際聯盟ノ規模斯ニ立ツコトヲ宣布シタマヒ
聖諭優渥具ニ儆飭ヲ垂レタマフ 臣等感激恐懼ノ至ニ勝フルコトナシ伏シテ冀クハ 大詔ニ率由
シテ惕厲自ラ疆メ

聖諭ヲ遵奉シテ振作益々昂メ時勢ニ順應シ人心ヲ開導シ軌度ヲ逸セス秩序ヲ愆ラス紀綱ヲ振肅シテ

皇運ヲ扶翼シ微衷ヲ披瀝シテ

宸猷ヲ翊贊シ以テ報效ヲ圖ラムコトヲ臣等造誠惶誠懼頓首再拜謹ミテ奏ス

(一六) 奉悼上奏(大正天皇崩御ニ付)

第五十二回議會 (昭和元年十二月二十七日議決)

衆議院議長 臣粕谷義三誠恐誠惶謹テ奏ス恭ク惟ニ

先帝至仁至慈允文允武

皇祖皇宗ノ宏謨ヲ恢弘シ

明治大帝ノ遠猷ヲ紹述シ時運ノ大勢ニ應シテ文ヲ修メ武ヲ整ヘ内ハ民生ノ撫育ニ電メ外ハ世界ノ平和ニ軫念シタマフ盛徳大業億兆齊シク仰キ萬邦具ニ瞻ル今ヤ奄ニ登遐アラセラル 臣等痛働措ク所ヲ知ラス茲ニ虔テ微忱ヲ布キ哀悼ノ意ヲ表シ奉ル 臣等三恐懼ノ至ニ勝ヘス謹テ奏ス

三 皇室ニ對スル賀表、賀牋及言上

(一) 皇太子殿下御結婚御成約ニ付賀表及賀牋

嘉仁親王殿下御結婚御成約ノ際

第十四回議會 (明治三十三年二月十二日)

(兩陛下ニ捧呈シタルモノ)

衆議院議長 臣片岡健吉本院ノ決議ヲ具シ誠恐誠惶頓首上表ス今般

皇太子殿下御結婚御成約被爲在 臣等恭賀ノ至ニ堪ヘス謹テ奉祝ス

(皇太子殿下ニ捧呈シタルモノ)

臣衆議院議員等誠恐誠惶頓首上表ス爰ニ

殿下御結婚御成約被爲在 臣等恭賀ノ至ニ堪ヘス謹テ奉祝ス

裕仁親王殿下御結婚御成約ノ際

(大正十一年九月二十八日)

(兩陛下ニ捧呈シタルモノ)

附錄 三 皇室ニ對スル賀表賀牋及言上

(一)

衆議院議長 臣奥繁三郎誠恐誠惶頓首上表ス今般

皇太子殿下御結婚御成約在ラセラレ 臣等恭賀ノ至ニ勝ヘス謹テ奉祝ス

(皇太子殿下ニ捧呈シタルモノ)

衆議院議長 臣奥繁三郎誠恐誠惶頓首謹言今般

殿下御結婚御成約在ラセラレ 臣等恭賀ノ至ニ勝ヘス謹テ奉祝ス

(二) 皇太子殿下御結婚ニ付賀表及賀牋

嘉仁親王殿下御結婚ノ際

(明治三十三年五月十日)

(兩陛下ニ捧呈シタルモノ)

衆議院議長 臣片岡健吉誠恐誠惶謹テ

皇太子殿下御結婚ノ大典ヲ奉賀ス

(兩殿下ニ捧呈シタルモノ)

衆議院議長 臣片岡健吉誠恐誠惶頓首

御結婚ノ大典ヲ肅賀シ

殿下無量ノ高壽ヲ奉頌ス

裕仁親王殿下御結婚ノ際

第四十八回議會 (大正十三年一月二十六日)

(兩陛下ニ捧呈シタルモノ)

衆議院議長 臣粕谷義三誠恐誠惶謹テ

皇太子殿下御結婚ノ大典ヲ奉賀ス

(兩殿下ニ捧呈シタルモノ)

衆議院議長 臣粕谷義三誠恐誠惶頓首

御結婚ノ大典ヲ肅賀シ

殿下無量ノ高壽ヲ奉頌ス

(三) 天皇皇后兩陛下御結婚滿二十五年ニ付賀表

(大正十四年五月十日)

衆議院議長 臣粕谷義三衆議院ヲ代表シ恭ク

天皇

附錄 三 皇室ニ對スル賀表賀牋及言上

(1111)

皇后 兩陛下御結婚滿二十五年ヲ奉賀シ併テ萬壽無疆ヲ奉祝ス 臣義三誠歡誠喜謹ミテ奉ス

(四) 即位ノ大禮ニ付賀表捧呈ノ決議

第三十一回議會 (大正三年三月十三日)

議長ハ即位ノ大禮舉行ノ際本院ヲ代表シテ賀表ヲ捧呈スヘシ

右決議ニ依リ大正四年十一月九日京都御所ニ於テ議長ヨリ捧呈ノ賀表左ノ如シ

(即位ノ大禮ハ諒闇ノ故ヲ以テ一箇年延期セラレ)

衆議院議長 臣島田三郎誠歡誠喜頓首頓首

伏シテ惟ミルニ

明治天皇夙ニ健國ノ宏謨ニ本ツキ

祖宗ノ遺訓ヲ明ニシ憲政ヲ布キ外交ヲ敦ウシタマヒ邦基既ニ鞏ク民福益々進ム 聖德洪業振古

比ナシ

天皇陛下英明ノ資ヲ稟ケ久ク正ヲ

東宮ニ養ヒ既ニ祚ヲ九重ニ踐ミ今ヤ

登極ノ大典ヲ舉ケタマフ萬民咸無窮ノ頌ヲ唱ヘ四方皆

天位ノ崇ヲ仰ク洵ニ是レ邦家ノ慶事ナリ 臣等鴻恩ニ沐浴シ員ニ贊襄ノ任ニ備ハリ此盛儀ニ陪ス

ルノ榮ヲ荷フ悃款ノ至ニ任フル莫シ謹ミテ表ヲ上リ以テ奉賀ス大正四年十一月十日衆議院

議長 臣島田三郎誠歡誠喜頓首頓首

(五) 皇太子殿下(裕仁親王)立太子式ニ付賀表

(大正五年十一月三日)

(陛下ニ捧呈シタルモノ)

衆議院議長 臣島田三郎誠惶誠恐謹ミテ奏ス

天皇陛下文經武緯茲ニ千載ノ休曆ニ膺リ不磨ノ彝典ニ則リ立太子ノ式ヲ舉ケサセ給フ伏シテ惟
ルニ

皇太子殿下天資英邁至仁至孝今ヤ斯ノ盛儀ニ由リテ 儲位正ニ定リ國礎愈々鞏ク 寶祚益々隆ナ

リ 臣等親ク盛典ニ遭遇シ欣躍悅懌ノ至ニ任ヘス肅ミテ表ヲ獻シ以テ 天闈ノ隆運ヲ頌ス 臣三

郎誠歡誠喜頓首頓首

(殿下ニ捧呈シタルモノ)

衆議院議長 臣島田三郎頓首頓首謹ミテ

附錄 三 皇室ニ對スル賀表賀牋及言上 (四、五)

皇太子殿下英明仁孝盛德夙ニ高シ今ヤ立儲ノ禮ヲ行ハセラレ中外瞻仰シ四海謳歌ス臣等斯ノ盛事ニ遭ヒ感喜措ク所ヲ知ラス恭ク賤ヲ奉シ賀ヲ稱ス臣三郎誠歡誠喜頓首頓首

(六) 皇太子殿下(裕仁親王)御成年式ニ付賀表

第四十一回議會 (大正八年三月二十五日)

(陛下ニ捧呈シタルモノ)

衆議院議長 臣大岡育造誠懽誠忭謹テ奏ス

欽ミ惟ニ

陛下乾健維レ昌ニシテ盛徳天ノ如ク尙武崇文 皇圖四表ニ光被シ重熙累洽 聖澤八紘ニ布護ス 茲ニ良辰ニ方リ

皇太子殿下成年ノ式ヲ舉ケサセタマフ和氣藹如朝野咸ナ歡ヒ祥光油然中外畢ク賀ス臣等仰テ盛典ヲ拜シ忻懽已ムナシ恭テ賀表ヲ上リ

寶祚ノ無疆ヲ祝シ奉ル 臣育造誠懽誠忭謹テ奏ス

(殿下ニ捧呈シタルモノ)

衆議院議長 臣大岡育造誠懽誠忭謹テ言ス

欽ミ惟ニ

殿下聰明睿達孝慈並至リ懿度淵深文武兼ネ脩メタマヒ往キニ宸極ニ貳ヒテ繼體ノ統ヲ正シ今冠儀ニ膺リ成年ノ式ヲ享ケサセタマフ雅頌洋溢海宇咸ナ慶ヒ謳歌紛郁萬姓畢ク賀ス臣等休明ノ昌期ニ際シ欣躍ノ至ニ任フルナシ恭テ賀表ヲ上リ 鶴算ノ無疆ヲ祈リ奉ル 臣育造誠懽誠忭謹テ言ス

(七) 皇太子殿下(裕仁親王)攝政御就任ニ付言上ノ辭

(大正十年十一月二十六日)

(天皇陛下へ言上)

昨日詔書ヲ宣布アラセラレタル儀ハ誠ニ恐懼ニ勝ヘマセヌ本職ハ茲ニ衆議院ヲ代表シ謹ミテ天機ヲ奉伺致シマス 右宜敷御執奏ヲ乞フ

(皇后陛下へ言上)

昨日詔書ヲ宣布アラセラレタル儀ハ誠ニ恐懼ニ堪ヘマセヌ本職ハ茲ニ衆議院ヲ代表シテ御機嫌ヲ奉伺致シマス

右宜敷御執奏ヲ乞フ

(皇太子殿下へ言上)

殿下攝政ニ御就任アラセラレタル儀ニ付衆議院ヲ代表シ謹ミテ御機嫌ヲ奉伺致シマス
右宜敷御執奏ヲ乞フ

(八) 皇孫殿下(照宮成子内親王)御誕生ニ付賀表及賀牋

(大正十四年十二月十二日)

(兩陛下ニ捧呈シタルモノ)

衆議院議長 臣粕谷義三 誠恐誠惶頓首上表ス今般

皇孫殿下御誕生在ラセラル 臣等恭賀ノ至ニ勝ヘス謹テ奉祝ス

(兩殿下ニ捧呈シタルモノ)

衆議院議長 臣粕谷義三 誠恐誠惶頓首上表ス今般

内親王殿下御誕生在ラセラル 臣等恭賀ノ至ニ勝ヘス謹テ奉祝ス

四 外國ニ對スル祝電、表謝及意思表明其ノ他ノ往復

(一) 土耳其帝國議會ノ開設ニ對スル祝電

第二十五回議會 (明治四十一年十二月二十六日)

大日本帝國衆議院議長長谷場純孝ハ第二十五回議會開會ノ劈頭ニ於テ全會一致ノ決議ニ依リ
貴帝國議會ノ開設ヲ祝シ併セテ光輝アル發展ヲ希望スルノ光榮ヲ有ス

(二) 天皇崩御ノ際列國議會ノ表明セル弔意ニ對シ謝意ヲ表スルノ決議

第三十回議會 (大正二年二月五日)

本日本院ハ明治天皇崩御ノ際列國議會ノ表明セシ同情アル弔意ニ對シ謝意ヲ表スルノ動議ヲ
全會一致ヲ以テ可決致候間此段及通牒候也

右議長ヨリ内閣總理大臣ニ宛通牒セリ

第五十二回議會 (昭和二年三月一日)

附錄

四 外國ニ對スル祝電、表謝及意思表明其ノ他ノ往復

(一一)

本日本院ハ大正天皇崩御ニ付白耳義國及英國ノ上下兩院カ表明セラレタル深厚ナル弔意ニ對シ院議ヲ以テ感謝ノ意ヲ表スルノ決議ヲ全會一致ヲ以テ可決致候間此段及通牒候也
右中村衆議院書記官長ヨリ外務大臣宛通牒セリ

(三) 聯合軍ノ戰捷ニ對シ各國議院ヨリ祝電ヲ受領ス

聯合軍ノ戰捷ニ對シブラジル國下院議長、南米ボリビヤ代議院、中華民國衆議院議長同國衆議院議長及廣東支部議會ヨリ戰捷ニ對スル祝電ヲ受領シ之ニ對シ本院議長ハ夫々謝電ヲ發送セリ

(四) 大震災ニ付各國議院ヨリ見舞電報ヲ受領ス

大正十二年九月一日ノ大震災ニ付亞爾然丁共和國下院議長、中華民國衆議院議長同副議長、中華民國參議院同衆議院、玖馬共和國下院議長、洪牙利國議會議長、墨西哥衆議院議長同書記官、せるびー、くろあといー、すらをにー王國議會議長及土耳其國議會議長ヨリ震災見舞ノ電報ヲ受領シ之ニ對シ本院議長ヨリ夫々謝電ヲ發送セリ

(五) 震災ニ際シ列國ノ同情ニ對シ感謝ノ決議

第四十七回議會 (大正十二年十二月十二日)

衆議院ハ振古未曾有ノ震災ニ際シ列國ヨリ寄セラレタル深甚ナル同情ニ對シ茲ニ院議ヲ以テ感謝ノ意ヲ表ス

(六) 講和條約成立ニ關スル通牒及答詞 (大正八年七月九日) (外務省經由)

日本帝國外務大臣子爵内田康哉閣下

余ハ我政府ノ命ニ由リ左ノ事項ヲ閣下ニ轉報ス西班牙國元老院及ヒ代議院ハゑるさいゆニ於ケル講和條約ノ調印ト共ニ戰爭終熄ノ爲メ西班牙國カ感得セル欣悅及ヒ此感念カ敦厚誠實ナル祝意ヲ伴フテ聯合諸國ニ通表セラレンコトノ冀望ヲ提ケテ之ヲ日程書中ニ登載スヘキコトヲ以テ大多數ヲ以テ可決シタリ

西班牙國元老院及代議院ハ日本天皇陛下ノ政府ヲ經テ在東京上下兩院各議長ニ上掲事項ヲ通告センコトヲ望ム余ハ此任務ノ完行ヲ以テ自ラ幸福ノ事ト認メ此機ヲ捉ヘテ閣下ニ最高ノ敬意ヲ表ス

橫濱 千九百十九年七月六日

在東京西班牙國公使 ちよせ、かろ(手署)

右ニ對シ貴衆兩院議長ヨリ外務大臣ヲ經テ西班牙國兩院議長へ答詞(七月十日)
講和條約締結ニ至リタルハ世界平和ノ爲誠ニ歡喜ニ不堪所ナリ右ニ付早速上下兩院議長閣下
ヨリ熱誠ナル祝意ヲ表セラレタルヲ深謝ス

(七) 米國新移民法ニ關スル決議

第四十九回議會 (大正十三年七月一日)

衆議院ハ米國新移民法中ニ於テ日本國民ニ對シ差別的條項ヲ設定セルハ當ニ國際間ニ於ケル
正義公平ノ原則ニ背反スルノミナラス日米兩國七十年間ノ親交ヲ阻碍スルモノトシテ強硬ナ
ル反對ノ意思ヲ表明ス
帝國政府ハ之ニ對シテ速ニ適當ナル措置ヲ執ラムコトヲ望ム

(八) 日露國交ノ恢復ヲ祝スル決議

第五十回議會 (大正十四年三月四日)

衆議院ハ日露兩國カ其ノ親善友好ノ關係ヲ恢復セシコトヲ祝ス

五 帝國軍隊ニ對スル決議、慰問、答辭及挨拶

(一) 戰功表彰ニ關スル決議、謝辭、謝電

第七回(臨時)議會 (明治二十七年十月二十一日)

我帝國ノ忠勇ナル陸海軍隊ノ備サニ遠征ノ艱苦ヲ嘗メ平壤ニ黄海ニ大捷ヲ奏シ帝國ノ威武ヲ
宣揚セルハ國民ノ深ク感激スル所ナリ衆議院ハ爰ニ誠實ニ國民ノ意思ヲ表彰ス

第八回議會 (明治二十八年三月二十日)

本院ハ嚮キニ臨時帝國議會ニ於テ國民ヲ代表シ遠征軍隊ノ功勞ヲ感謝セリ爾來我軍隊ハ雪嶺
ヲ踰へ凍海ヲ凌キ奮戰勇闘幾十回盛京ヲ風靡シ山東ヲ席卷シ北洋艦隊ヲ殄滅シ日章ノ光輝ヲ
シテ山海ニ照耀セシム抑、忠誠義烈國ニ報シ愾ニ敵スルニアラスムハ焉ソ絶大ノ偉功ヲ奏ス
ル此ノ如キヲ得ムヤ今ヤ戰局愈、張リ已ニ第二ノ作戰ヲ開始スルノ機會ニ際ス進ムテ全局ノ
大捷ヲ收ムルニ於テ其勞苦愈、大ナルモノアラム是レ國民ノ深ク感謝スル所ナリ特ニ茲ニ議
決シテ誠實ニ國民ノ意志ヲ表彰ス

第十五回議會 (明治三十四年一月二十九日)

附錄 五 帝國軍隊ニ對スル決議、慰問、答辭及挨拶

(一)

曩ニ北清ノ擾亂ニ方リ我カ出征軍隊カ嚴肅ナル軍紀ノ下ニ在リテ克ク列國軍ト戮力シ備サニ
辛苦ヲ嘗メ其ノ職任ヲ全ウシ以テ大ニ國光ヲ中外ニ發揚シタルハ國民ノ深ク感謝スル所ナリ
衆議院ハ特ニ院議ヲ以テ其ノ忠勇勤勞ヲ表彰ス

第二十回(臨時)議會 (明治三十七年三月二十五日)

我忠勇猛銳ナル帝國艦隊ハ連戰連捷敵國ヲシテ震懾セシメ以テ
皇武ヲ輝揚シ方ニ海上ヲ掃攘シ偉大ノ勳功ヲ樹ツ是レ國民ノ深ク感謝スル所ナリ衆議院ハ茲
ニ之ヲ言明シテ誠意ヲ表ス

右ニ對シ山本海軍大臣ヨリ回答(三月二十六日)

帝國艦隊ノ行動ニ關スル貴院ノ決議相添艦隊へ通報方御申越之趣了承感銘ニ堪ヘス則チ直ニ
聯合艦隊へ通報取計畫候此段御挨拶及御回答候也

同上通牒 (三月二十八日)

本月二十五日貴院ニ於ケル決議ノ趣ハ御申越ニ依リ其節聯合艦隊へ通達方取計畫候處同艦隊
ヨリ別紙之通答辭差出候ニ付茲ニ及御轉送候間可然御取計相成度此段申進候也

(別紙)

東郷聯合艦隊司令長官ノ答辭電信 (三月二十八日東京著)

聯合艦隊ハ本月二十五日ノ決議ニ係ル衆議院ノ鄭重ナル頌詞ヲ辱ウシ一同感佩ノ至ニ堪ヘ
ス尙ホ益々奮勵事ニ從ヒ其ノ目的ヲ達セムコトヲ期ス
右謹テ答謝ス

(明治三十七年九月四日)

我カ忠勇ナル滿洲軍ハ備サニ艱苦ヲ嘗メ露軍ノ據守セル防備堅固ノ諸要地ヲ攻略シ遂ニ遼陽
ヲ占領シテ戰局面ニ一進轉ヲ見至ルニ是レ國民ノ欣躍止マサル所ナリ衆議院ハ茲ニ至誠以
テ祝意ヲ表シ將校士卒ノ功勞ヲ感謝ス

右ニ對シ寺內陸軍大臣ヨリ通牒 (九月七日)

貴院ノ感謝狀ニ對シ大山滿洲軍總司令官ヨリ別紙寫ノ通り傳送方電報有之候間此段申進候也

(別紙)

大山滿洲軍總司令官ノ答辭電報

鄭重ナル祝辭ヲ辱ウシ感謝ニ堪ヘス

第二十一回議會 (明治三十七年十二月三日)

附錄 五 帝國軍隊ニ對スル決議、慰問、答辭及挨拶 (一)

滿洲軍ニ對スル慰問狀

我カ滿洲軍ハ遠征萬里懸軍十月銳ヲ摧キ堅ヲ拔キ激戰奮闘茲ニ數十回兵氣益々旺ニシテ我カ武維レ揚レリ是レ國民ノ感謝シテ措カサル所ナリ時祁寒ニ際シテ勞劬更ニ大ナラム衆議院ハ特ニ院議ヲ以テ熱誠ノ忱ヲ彰ハシ將校士卒ノ勇健ヲ祈ル

帝國聯合艦隊ニ對スル慰問狀

我カ帝國聯合艦隊ハ遠征以來茲ニ十閱月常ニ風濤ノ間ニ立チ萬死ヲ冒シ百難ヲ排シテ旅順ノ封鎖ヲ全ウシ今ヤ敵艦ヲシテ殄滅ニ瀕セシム其ノ功洵ニ偉ナリ是レ國民ノ感激シテ措カサル所ナリ時祁寒ニ際シテ勞劬更ニ大ナラム衆議院ハ特ニ院議ヲ以テ熱誠ノ忱ヲ彰ハシ將校士卒ノ勇健ヲ祈ル

右ニ對シ寺內陸軍大臣ノ通牒 (十二月四日)

拜啓滿洲軍ニ對スル貴院ノ決議ヲ直ニ大山總司令官ニ通牒致シ候處左ノ答辭有之候ニ付及御送付候也

大山滿洲軍總司令官ノ答辭電報 (十二月四日午前十一時著信)

熱誠ナル謝辭ヲ辱ウシ感激ニ堪ヘス本職ハ全軍ヲ代表シ衆議院ノ誠意ヲ感謝ス

右ニ對シ山本海軍大臣ヨリノ回答 (十二月三日)

帝國聯合艦隊ノ行動ニ對スル貴院ノ決議同艦隊へ傳送方御申越相成承了感謝ニ堪ヘス則早速同艦隊司令官へ通達取計候間此段御回答旁不取敢換御挨拶申進候也

同上通牒 (十二月五日)

本月三日ノ貴院決議ニ對シ別紙之通聯合艦隊司令長官ヨリ挨拶申出候ニ付及御轉送候間可然御取計相成度此段申進候也

(別紙)

東郷聯合艦隊司令長官答辭電報 (明治三十七年十二月四日東京著)

聯合艦隊ハ本月三日ノ決議ニ係ル衆議院ノ頌詞ヲ辱フシ一同感佩ノ至ニ堪ヘス尙ホ愈々勵精最終ノ目的ヲ達センコトヲ期ス
右謹テ答謝ス

第二十一回議會 (明治三十八年一月六日)

旅順ノ要塞タル天險ヲ利シ人工ヲ極メ防備ノ堅世界無比ト稱ス而シテ勁敵ノ全力ヲ竭シテ死守スル所タリ我カ旅順攻圍軍ハ帝國聯合艦隊ト相待テ奮戰力闘茲ニ數閱月陸ニ堅壘ヲ拔キ海ニ巨艦ヲ滅シ今ヤ敵ヲシテ策盡キ力窮マリ城ヲ開キテ降ヲ乞ハシムルニ至レリ是レ我カ將校

士卒ノ忠勇堅忍克ク其ノ任務ヲ完クセシニ由ラスムハアラス衆議院ハ茲ニ院議ヲ以テ攻圍軍ノ功勞ヲ感謝ス

(明治三十八年三月十四日)

我カ滿洲軍カ奉天附近ノ會戰ニ於テ敵軍ヲ破摧シ大捷ヲ奏シタルハ國民ノ感激措カサル所ナリ茲ニ衆議院ハ將校士卒ノ偉勳ニ對シ深ク感謝ノ意ヲ表ス

右ニ對シ寺內陸軍大臣ヨリノ感謝通牒 (三月十六日)

貴院ヨリ滿洲軍ニ對スル感謝狀傳達致候處別紙ノ通大山總司令官ヨリ貴院ニ對シ答電有之候間此段及通牒候也

(別紙)

大山滿洲軍總司令官ノ答辭電報 (三月十六日午前十一時三十分著)

奉天附近ノ戰勝ニ對シ祝詞ヲ辱フシ感謝ノ至リニ堪ヘス

(明治三十八年六月一日)

我帝國聯合艦隊ハ籌畫遺算ナク克ク敵艦隊ヲ殄滅シテ其ノ將帥ヲ生擒ス其ノ效果ノ繁ル所豈

現下ノ戰局ノミナラムヤ衆議院ハ茲ニ振古未曾有ノ大捷ヲ祝シ深ク將校士卒ノ功勞ヲ感謝ス右ニ對シ山本海軍大臣ヨリ回答 (六月一日)

聯合艦隊ニ對スル貴院ノ感謝文同司令長官ヘ傳達方本日御申越之趣了承深ク感銘ニ堪ヘス候早速同司令長官ヘ傳達取計候間此段御回答旁不取敢御挨拶申進候也

同上通牒 (六月三日)

今回ノ戰捷ニ關スル貴院ノ感謝文ニ對シ別紙ノ通東鄉聯合艦隊司令長官ヨリ挨拶申越候ニ付茲ニ及御轉送候可然御取計相成度此段申進候也

(別紙)

東鄉聯合艦隊司令長官ノ答辭

日本海ノ戰捷ニ關シ貴院ヨリ鄭重ナル頌詞ヲ蒙リ一同感佩ノ至リニ堪ヘス尙ホ益々勵精厚志ヲ空フセサラムコトヲ期ス艦隊ヲ代表シ茲ニ敬ミテ謝辭ヲ呈ス

(大正三年十一月七日)

青島陥落ニ付奧議長ヨリ獨立第十八師團長陸軍中將神尾光臣宛祝電

青島ノ諸砲壘占領ノ報ヲ忝フシ欣喜ニ堪ヘス是閣下ノ籌畫違算ナキト將校士卒ノ堅忍能ク其

附錄 五 帝國軍隊ニ對スル決議、慰問、答辭及挨拶 (一)

ノ任務ヲ完フシタニ依ル本職ハ茲ニ本院ヲ代表シテ忝シク祝詞ヲ呈ス
同第二艦隊司令長官加藤定吉宛祝電

貴艦隊ハ陸軍ト協同シ青島ヲ占領セラレタルノ報ニ接シ欣喜ニ堪ヘス出征以來數旬ノ勞劬洵
ニ感佩ニ勝ヘス本職ハ茲ニ本院ヲ代表シ謹テ祝詞ヲ呈ス

右ニ對スル神尾司令官ノ答電

深厚ナル御慰問ヲ感謝シ併セテ 陛下ノ御稜威ニ依リ青島堡壘砲壘ノ占領ヲ報知スルノ光榮
ヲ有ス

同加藤司令長官ノ答電

青島陥落ニ對シ早速祝電ヲ辱フシ感謝ニ堪ヘス謹ミテ謝意ヲ表ス

第三十五回議會 (大正三年十二月八日)

我カ陸海軍ハ備ニ艱苦ヲ嘗メ東洋ニ於ケル敵ノ根據ヲ掃蕩ス衆議院ハ茲ニ院議ヲ以テ其ノ功
勞ヲ感謝ス

右ニ對スル岡陸軍大臣ノ謝辭

唯今ハ陸海軍ノ作戰行動ニ關シ感謝ノ意ヲ表セラレマシタ私ハ陸軍ノコトニ關係シテ御挨拶

ヲ申上ゲマス 鄭重ナル御感謝ノ意ヲ表セラレマシタノハ青島攻圍ニ從軍致シテ參リマヌル將
卒ノ光榮トスルノミナラズ延イテ陸軍全般ノ名譽トスルコロゴザイマス 陸軍ヲ代表致シ
マシテ厚ク御禮申上ゲマス

同上岡陸軍大臣ヨリノ通牒 (十二月十一日)

去ル八日ノ貴院決議ニ對シ別紙ノ通神尾前獨立第十八師團長ヨリ挨拶申出候ニ付及御傳達候
條可然御取計相成度此段申進候也

(別紙)

神尾前獨立第十八師團長ノ謝辭

陛下ノ御稜威ト海軍ノ協同竝國民ノ後援トニ依リ青島ヲ攻略セル獨立第十八師團ノ微功ニ
對シ特ニ衆議院ノ決議ヲ以テ鄭重ナル感謝ノ辭ヲ寄セラレタル師團將卒ノ深ク光榮トスル
所ニシテ感謝ノ至リニ堪ヘス茲ニ團下一同ヲ代表シ滿腔ノ謝意ヲ表ス

右ニ對スル八代海軍大臣ノ謝辭

衆議院ハ院議ヲ以テ海軍ノ策戰行動ニ對シ御鄭重ナル謝意ヲ表セラレマシタ洵ニ感謝ノ至リ
デゴザイマス 吾人海軍々人ハ將來ニ於テモ益々拮据精勵大命ニ奉答スルコト勿論デアリマス
此院議ヲ承ハリマシテハ忠勇ナル戰死者竝ニ其遺族ハ定メテ喜ビ大満足デアラウト思ヒマス

附錄

五 帝國軍隊ニ對スル決議、慰問、答辭及挨拶

(一一)

謹ンデ海軍ヲ代表シテ厚ク御禮ヲ申上ゲマス

第四十回議會 (大正六年十二月二十八日)

戦局ノ擴大スルニ伴ヒ我カ艦隊ハ既ニ太平洋印度兩洋ニ敵艦ヲ擊攘シ更ニ歐洲ノ海上ニ遠征シ備サニ艱苦ヲ嘗メ屢々壯烈ナル行動ヲ以テ共同ノ作戰ヲ完ウス衆議院ハ特ニ院議ヲ以テ忠勇ナル海軍將卒ノ勳勞ニ對シ滿腔ノ敬意ヲ表ス

右ニ對スル柄内海軍次官ノ謝辭 (議場ニ於テ)

海軍大臣ガ宮中ニ召サレマシテ御不在ノ故ヲ以テマシテ、唯今ノ御決議ニ對シマシテ、私ヨリ海軍ヲ代表シマシテ感謝ノ意ヲ申上ゲマス

同上加藤海軍大臣ヨリ大岡議長宛通牒 (大正六年十二月二十八日)

十二月二十八日衆議院ニ於テ我カ出征艦隊ニ對シ鄭重ナル決議相成候次第ハ當日直ニ各出征艦隊指揮官ヘ電報通達致置候右申進ム

同上柄内海軍次官ヨリ通牒 (十二月三十日)

印度洋方面作動中ノ小栗海軍中將ヨリ別紙寫ノ通り電報有之候條右及御送付候也
(別紙)

小栗海軍中將ノ謝電 (十二月三十日海軍省著)

登録セル以外ノ宛名ニ英文以外ノ發電出來難キニ付左記電文貴省ヨリ衆議院議長ヘ御傳ヘヲ乞フ、尙ホ同院決議ノ件ハ今二十日新嘉坡入港後受領セリ

衆議院ノ叮重ナル決議ニ對シ麾下一同ヲ代表シ深厚ナル謝意ヲ表ス尙ホ益々奮勵輿望ニ副ハン事ヲ期ス

右可然御披露ヲ乞フ

右ノ外森本常盤艦長ノ謝電(十二月二十九日著)並佐藤司令官ノ謝電(十二月三十日著)ハ略同意味ニ付略ス

第四十一回議會 (大正七年十二月二十八日)

本院ハ曩ニ決議ヲ以テ我カ出征軍ノ功勞ヲ感謝セリ爾來我カ軍ハ聯合各國ト協同シ艦隊ハ遠ク世界ノ各方面ニ策動シ以テ與國ノ作戰ニ資シ陸軍ハ兵ヲ西伯利ニ進メ以テ西隣ノ秩序ヲ保チ大ニ帝國ノ威武ヲ中外ニ宣揚ス衆議院ハ其ノ壯烈ナル行動ト偉大ナル功績トニ對シ特ニ院議ヲ以テ滿腔ノ敬意ヲ表ス

右ニ對スル田中陸軍大臣ノ謝辭

唯今國外ニ出動致シマシタ陸軍ニ對スル御決議ニ對シマシテハ、本大臣ハ全陸軍ヲ代表シテ、

深甚ナル感謝ノ意ヲ表シマス、尙此ノ御決議ノ次第ハ、直チニ之ヲ國外ニ出動シテ居リマスル部隊ニ傳達シ、尙全軍ニ之ヲ傳ヘルト云フコトノ手續ヲ致シマス
同上加藤海軍大臣ノ謝辭

唯今滿場一致ヲ以テ御決議ニナリマシタ決議文ニ付キマシテハ、海軍ヲ代表致シマシテ、滿腔ノ謝意ヲ表シマス、尙御決議ノ次第ハ、最モ迅速ナル方法ヲ執リマシテ、各方面ニ於ケル艦隊指揮官ニ傳達方ヲ取計ラフ考デゴザイマス、茲ニ御禮ヲ述ベテ一言御挨拶ヲ申上ゲマス
同上田中陸軍大臣ヨリ大岡議長宛通牒（大正八年一月十日）

曩ニ貴院ニ於テ決議相成候感謝ノ趣ハ早速出征部隊ニ傳達致置候處今般別紙ノ通謝辭傳達方來電有之候間此段及通牒候也

(別紙)

浦潮派遣軍司令官

我軍將士ニ對シ懇篤ナル謝電ヲ辱フシ感佩ノ至ニ堪ヘス茲ニ麾下一同ヲ代表シ深甚ナル謝意ヲ表ス

右ノ外第三、第七、第十二師團長及關東都督ヨリノ謝電ハ略同意味ニ付略ス

右ニ對シ小林海軍省副官ヨリ通牒（大正八年一月二日）

別紙在新嘉坡千坂第一特務艦隊司令官電報茲ニ轉送致候

(別紙)

千坂第一特務艦隊司令官ノ謝電（十二月二十日海軍省著）

大岡衆議院議長ハ

衆議院ノ町重ナル決議ニ接シ感銘ノ至ニ堪ヘス茲ニ麾下一同ヲ代表シ深厚ナル謝意ヲ表ス
右可然御披露ヲ請フ

右ノ外第二特務艦隊司令官ノ謝電（大正八年一月二日著）黑井第三艦隊司令長官ノ謝電（十二月二十九日著）古川淺間艦長ノ謝電（十二月二十九日著）ハ略同意味ニ付略ス

第四十二回議會（大正九年一月二十二日）

歐洲ノ戰亂勃發スルヤ我カ陸海軍ハ聯合與國ト協力シテ海陸ニ策動シ交戰五箇年備サニ艱苦ヲ嘗メ報效ノ誠ヲ致シ皇國ノ威武中外ニ發揚セリ衆議院ハ茲ニ院議ヲ以テ陸海軍將卒ノ功勞ヲ感謝ス

右ニ對スル加藤海軍大臣ノ謝辭

唯今今回ノ戰役ニ出征致シマシタコトニ付キマシテ、此平和克復ノ機會ニ於テ、感謝ノ意ヲ表セラレル決議文ヲ、滿場一致ヲ以テ御可決ニナリマシタ、誠ニ感謝ニ堪ヘナイ次第デゴザイマ

附錄、五 帝國軍隊ニ對スル決議、慰問、答辭及挨拶（一）

ス、茲ニ海軍ヲ代表致シマシテ、深厚ナル謝意ヲ表シマス、尙御趣意ノ在リマス所ハ、速ニ各指揮官ニ傳達ヲ致シマス心得デゴザイマス、御禮ヲ申上ゲマス
右ニ對スル田中陸軍大臣ノ謝辭

唯今ノ深厚ナル御決議ニ對シマシテ、私ハ茲ニ陸軍ヲ代表シテ、深く感謝ノ意ヲ表シマス、此同情アル決議ハ、直チニ之ヲ在外ノ各部隊ニ傳ヘマス考デゴザイマス、之ヲ聞キマシタ各部隊ハ之ガタメニ一層ノ士氣ヲ旺盛ナラシメルコトト存ジマス、茲ニ御禮ヲ申上ゲマス
右ニ對シ各駐在地司令官及師團長ヨリ議長宛ニ謝電二十七通ヲ受領セリ
第五十回議會 (大正十四年三月十八日)

薩哈噠州派遣軍、臨時海軍防備隊及北樺太方面派遣艦船ハ派遣以來五閱年備サニ辛酸ヲ嘗メ其ノ任務ヲ完ウシタリ衆議院ハ忠勇ナル將卒ノ勞劬ヲ多トシ茲ニ撤兵ニ際シ特ニ院議ヲ以テ感謝ノ意ヲ表ス

右ニ對スル宇垣陸軍大臣ノ謝辭

諸君、只今滿場一致ヲ以テ御決定ニナリマシタル所ノ院議ニ對シ、茲ニ私ハ薩哈噠派遣軍ニ關係致シテ居リマシタ所ノ將卒一同ヲ代表シテ、深甚ナル感謝ノ意ヲ表シマス、願レバ大正九年七月、同軍ガ派遣セラレテ以來五閱年、之ニ參加致シマシタ所ノ將卒ハ通計致シマシテ、無慮

二萬有餘デアリマス、而シテ骨ヲ朔北ノ野ニ埋メタル者モ亦尠ラザル次第デアリマス、今ヤ將卒ガ國家ノ爲メニ盡シマシタ所ノ努力ニ一段ノ光彩ヲ副ヘル次第デアリマス雷ニ現在任務ニ就テ居ル者ノミナラズ、其長ヘニ氷雪ノ下ニ眠レル所ノ僚友モ、又既ニ戎衣ヲ解イテ歸ツテ郷閭ニアル者トヲ問ハズ等シク其ノ御厚情ニ對シテ深ク感謝ヲ致ス事ト信ジテ疑ヒマセヌ、私ハ本院ノ此深厚ナル御意思ノ存スル所ヲ普ク傳達徹底致スヤウニ直ニ取計ヒマスガ、茲ニ取敢ヘズ滿腔ノ誠意ヲ表明シテ置キマス

同上財部海軍大臣ノ謝辭

誰今滿場一致ヲ以テ可決ニナリマシタル懇ロナル此決議ニ對シマシテ、私ハ帝國海軍ヲ代表シテ、深厚ナル謝意ヲ表スルモノデゴザイマス尙ホ此決議ノ趣ハ直ニ關係ノ各指揮官へ傳達ノ手續ヲ致ス積リデゴザイマス、茲ニ謹ンデ御禮申上ゲマス
尙右決議ニ對シ三矢臨時海軍防備隊、大湊要港部、橫須賀、佐世保、竹下鎮守府及亞港軍各司令官ヨリ謝電ヲ受領セリ

(二) 軍隊慰問ニ對スル謝電及答電竝御下賜品

(大正七年十一月一日)

浦潮派遣軍隊慰問ニ關シ山梨陸軍次官ヨリ大岡議長宛通牒

曩ニ出征軍隊慰問ノ爲西伯利及北滿地方へ出張セラレタル衆議院議員望月圭介君一行ノ鄭重ナル慰問ニ關シ浦潮派遣軍司令官ヨリ左記ノ通り傳達方取計ハレ度旨電報有之候條及通牒候也

左記

海外遠路ノ處特ニ代表者ヲ差遣シ且慰問品ヲ贈與セラレ一同感謝ノ至リニ堪ヘス茲ニ部下一同ヲ代表シ謝辭ヲ述フ

大谷軍司令官

(大正八年六月十六日)

第二回浦潮派遣軍隊慰問ニ關シ司令官及師團長ヨリノ謝電竝答電

在浦潮川原第五戰隊司令官ヨリ大岡議長宛電報(小林海軍省副官ヨリ吉田翰長宛移牒)(六月十四日)

衆議院ハ特ニ慰問使ヲ當隊ニ派遣セラレ鄭重ナル慰問品ヲ添ウシ誠ニ感謝ノ至ニ堪エス益報公ノ誠ヲ效シ與望ニ副ハムコトヲ期ス茲ニ麾下一同ヲ代表シ深厚ナル謝意ヲ表ス

在西伯利第二師團長ヨリ大岡議長宛謝電(七月五日)

暑中遠路代表議員ヲ派遣セラレ親シク各部隊ノ慰問ヲ辱フシ感謝ニ堪ヘス一行ハ本三日無事當師團守備管區ヲ辭去セラレタルニ際シ茲ニ謹テ謝意ヲ表ス

右ニ對スル大岡議長ヨリ陸軍次官ヲ經テ第三師團長ヘノ答電(同日)

慰問議員團貴管區滯留中種々御優遇ヲ受ケ今其ノ離去ニ際シ却テ鄭重ナル謝辭ヲ辱フシ感佩ニ堪ヘス茲ニ一行ニ代リテ深厚ナル謝意ヲ表シ併セテ閣下及將校士卒ノ健康ヲ祈ル

在西伯利第十四師團長ヨリ大岡議長宛謝電(同九日)

貴院ヨリ特ニ其ノ代表者ヲ遠ク此地ニ派遣シ我師團ノ各隊ヲ親シク慰問シ其ノ實況ヲ視察セシメラレタルニ對シ隸下一同ヲ代表シ滿腔ノ謝意ヲ表スルト同時ニ益奮勵努力以テ國民ノ期待ニ添ハンコトヲ期ス

右ニ對スル陸軍次官ヲ經テ第十四師團長ヘノ答電(同月十日)

我議員團貴師團訪問ノ際ハ種々御優遇ヲ受ケ今又鄭重ナル謝辭ヲ辱フシ感佩ノ至ニ勝ヘス茲ニ貴師團ニ對シ深甚ナル敬意ヲ表シ併セテ閣下及將校士卒ノ健康ヲ祈ル

在浦潮大谷軍司令官ヨリ大岡議長宛謝電(同十六日)

貴院西伯利派遣議員團ハ艱難ナル長途ノ旅行ヲ意トセス甚大ナル精勵ヲ以テ北滿竝西伯利派遣軍全部ニ對シ一々懇篤ナル慰問ヲ與ヘラレ感謝ニ堪ヘス茲ニ麾下一同ヲ代表シ衷心ヨリ深

附錄 五 帝國軍隊ニ對スル決議、慰問、答辭及挨拶 (二)

厚ナル謝意ヲ表ス

右ニ對スル大岡議長ヨリ陸軍次官ヲ經テ在浦際大谷軍司令官ヘノ答電 (同日)

我議員團西伯利及北滿派遣軍訪問ノ際ハ種々御優待ヲ受ケ今又鄭重ナル謝辭ヲ辱フシ感佩ノ至ニ堪ヘス茲ニ閣下及御麾下一同ニ對シ深甚ナル敬意ヲ表シ併セテ閣下及將校士卒ノ健康ヲ祈ル大井第十二師團長ヨリ大岡議長宛謝電 (七月四日)
無事歸還ニ際シ出征中ハ深厚ナル御同情ト御援助ヲ深謝ス

陸海軍慰問ニ對スル御下賜品

日露戰後ノ際陸海軍傷病兵慰問ノ爲物品ヲ寄贈シ又其ノ釀金ノ過剩ヲ陸軍恤兵部ヘ寄贈シタルニ對シ左ノ通り金杯及木杯ヲ下賜セラレタリ

衆議院議員總代

正三位 松田正久

明治三十七八年戰役ノ際報國ノ旨意ヲ以テ恤兵用品寄附候段奇特ニ候條其賞トシテ金杯壹箇下賜候事

明治三十八年六月二十七日

賞勳局總裁 從二位勳一等 子爵 大 給 恆

衆議院議員總代

松田正久

明治三十七八年戰役ノ際報國ノ旨意ヲ以テ恤兵費ノ内へ金貳百六拾圓寄附候段奇特ニ候條其賞トシテ木杯壹組下賜候事

明治三十八年十月一日

東京府知事 正三位勳三等 男爵 千家尊福

(金杯及木杯ハ庶務課會計係ニ於テ保管ス)

(三) 凱旋ニ關スル決議

第二十一回議會 (明治三十七年十二月二十八日)

帝國聯合艦隊ハ今ヤ旅順敵艦隊ヲ殄滅シ其封鎖ノ一部ヲ撤スルニ至ル是レ將校士卒ノ終始克ク其任務ヲ遂行セシニ由ルト雖モ東鄉聯合艦隊司令長官ノ籌略機ニ中リ指揮宜キヲ得タルニ非スンハ焉ソ克ク今日ノ大勳ヲ樹ツルヲ得ンヤ衆議院ハ東鄉聯合艦隊司令長官ノ凱旋ニ際シ

附錄 五 帝國軍隊ニ對スル決議、慰問、答辭及挨拶 (三、四)

茲ニ院議ヲ以テ特ニ歡迎ノ意ヲ表ス

(四) 軍隊後援ニ關スル決議

第八回議會 (明治二十八年二月一日)

本院ハ征清ノ

大詔ヲ遵奉シ交戦ノ目的ヲ達シ帝國ノ光榮ヲ全フスルハ前途尙遠キヲ信ス故ニ之ニ伴フ軍資ノ支出ハ更ニ幾許ヲ要スルモ進テ之ヲ協賛スヘシ特ニ茲ニ決議シテ本院ノ意志ヲ明ニス

第二十回(臨時)議會 (明治二十七年三月二十九日)

征露ノ 聖詔ハ公明正大專ラ東洋ノ平和ヲ軫念シ給フニ出ツ我帝國ノ臣民タルモノ孰カ鞠躬盡瘁以テ

盛旨ニ獎順セサラムヤ本院ハ乃チ國民報國ノ誠意ヲ體シ政府求ムル所ヲ軍資ヲ辨給シ以テ戰費ニ缺クル所ナカラムコトヲ圖レリ惟フニ今ヤ戰端僅ニ開ケ我艦隊ノ奏功偉大ナルモノアリト雖全局ノ大捷ヲ收メ東洋ノ平和ヲ克復スルハ前途猶遠遠ニ屬ス其ノ必要ノ戰費ノ如キハ本院ノ固ヨリ吝マサル所ナリ本院ハ切ニ望ム内閣大臣ハ宏謨ヲ翼贊シ運籌畫策能ク機宜ニ適シ速ニ裁定ノ功ヲ致サムコトヲ茲ニ特ニ決議シテ國民意志ノ在ル所ヲ表明ス

六 慰問、挨拶及歡迎(帝國軍隊ニ對スル分ヲ除ク)

(一) 伏見宮博恭王殿下御負傷ノ際御見舞書並挨拶

(明治二十七年八月十日)

衆議院ハ海軍少佐勳一等博恭王殿下本月十日旅順口沖ニ於テ御勇戰中御負傷アラセラレタル報ニ接シ恐懼ノ至ニ堪ヘス茲ニ謹テ御容體ヲ奉伺シ併テ御平癒ノ速ナランヲ奉祈ス
右ニ對スル御挨拶(同月二十九日)

衆議院ノ鄭重ナル御見舞ヲ受ケ満足ニ思召サル

(二) 北白川宮成久王殿下同妃殿下並朝香宮鳩彦王殿下ノ御奇禍ニ懼ラセラレタル際御見舞電報及御謝電

(大正十二年四月四日)

衆議院ヲ代表シ謹テ成久王殿下ノ薨去ヲ哀悼シ奉リ妃殿下並鳩彦王殿下ノ御快癒ヲ祈リ奉ル右夫々言上ヲ乞フ

右ニ對スル御謝電(大正十二年五月五日)

奇禍ニ際シ貴院ヨリ鄭重ナル御見舞ヲ受ケタルモ當時症狀許サザリシ處昨今逐次快方ニ向フニ及ヒ遅延ナカラ御厚意ヲ深謝ス

(三) 李王殿下御重患ニ付御見舞電報

(大正十五年四月七日)

李王殿下御不例ノ趣拜承心痛ノ至ニ堪ヘス速ニ御快癒ヲ祈リ奉ル

右ニ對スル謝電(大正十五年四月八日)

御懇篤ナル御見舞ヲ深謝セラル

(大正十五年四月二十六日)

李王殿下御重患ノ趣拜承心痛ノ至ニ堪ヘス謹テ御見舞申上ク

(四) 伊藤内閣總理大臣負傷セラレタル際ノ慰問(十一月二十九日院議ニ依リ

議長往訪)ニ對スル挨拶

第四回議會(明治二十五年十一月二十九日)

此開院早々ノ時ニ方リ此不幸ニ逢ヒ諸君ニ見ユルヲ得サルハ誠ニ遺憾ノ至ニ候

右ニ付早速諸君ノ御見舞ヲ忝フシ不知所謝次第ニ候何レ快癒早々自身出院ノ折ヲ以テ親シク御禮可致候幸ニ此意ヲ諒セラレンコトヲ冀フ

(五) 伊國大震災ノ際慰問並挨拶

第二十五回議會(明治四十二年一月七日)

日本帝國衆議院ハ貴帝國「シシリ」及「カラブリア」ニ於ケル悲惨ナル震災ノ報ニ接シ痛歎ノ至ニ堪ヘス茲ニ本院ヲ代表シテ同情ノ誠ヲ致ス

衆議院議長 長谷場純孝

右ニ對スル在伊太利林大使ヨリ外務省ヘノ電報(同月十五日)

我衆議院ノ弔辭ハ直ニ外務大臣ヲ經テ伊國代議院議長ニ轉達方ヲ依頼シタルニ外務大臣ヨリ相違ナク送達セル旨回答アリ尙念ノ爲代議院ニ問合ハセタルニ右ノ弔辭ニ接セルト共ニ議長ヨリ謝電ヲ我衆議院議長ニ發送セル由ナリ

石井外務次官ヨリ林田書記官長宛通牒(同年三月三日)

貴院議長ヨリ伊國代議院議長宛同國震災ニ關スル弔詞ハ本年一月七日林大使ヨリ伊國外務大臣

ヲ經テ同議長へ轉達相成候處今般別紙寫之通回答有之候旨同大使ヨリ通知有之候間可然御取計相成度此段申進候也

(別紙)

一九〇九年二月九日羅馬府ニ於テ

大使閣下

本月七日付ヲ以テ閣下ヨリ御送達相成候通知書第五號領掌候段回答申上候

予ハ閣下ニ貴國衆議院議長殿ヨリ過般當國「カラブル」及「シシール」ニ起リタル震災ニ對シ御慰

弔ニ預リ候電報ノ儀ハ早速其寫ヲ當國下院議長殿ニ回送致候儀右御報知申上候

閣下ノ御懇篤ナル御通告ヲ感謝スルト共ニ閣下ハ予カ閣下ニ對スル最高ノ敬意ヲ嘉納セラレン

事ヲ希望致候

チトニー(自署)

羅馬府ニテ

日本國大使林男爵閣下

(六) 聯合軍ニ對スル慰問ノ決議

第三十八回議會 (大正六年一月二十二日議決)

歐洲ノ戰亂勃發以來年ヲ閱スルコト既ニ三歲我カ聯合諸國ハ正義ト人道トノ爲ニ不屈不撓以テ終局ノ目的ヲ達セスムハ已マサラムトス帝國衆議院ハ茲ニ聯合國民ノ剛健ナル意氣ト壯烈ナル犠牲ニ對シ滿腔ノ敬意ト同情ヲ表ス

(七) 佛國首相遭難ノ際慰問並謝電

第四十一回議會 (大正八年二月二十五日議決)

佛國首相クレマンソー閣下遭難慰問(外務省ヲ經テ電報)

日本帝國衆議院ハ講和會議議長佛國首相クレマンソー閣下カ兇漢ノ爲負傷セラレタル報ニ接シ憂慮ニ堪ヘス特ニ院議ヲ以テ深甚ナル同情ヲ表シ併テ平癒ノ速ナラムコトヲ祈ル

右ニ對スル謝電譯文(大正八年二月六日)

余ハ深く閣下カ日本衆議院ヲ代表シテ表明セラレタル感念ヲ感荷シ余ノ誠實ナル謝辭ヲ議會ニ傳ヘラレンコトヲ悃請ス

巴黎千九百十九年三月四日午後八時十分

佛蘭西共和國內閣議長

附錄

六 慰問、挨拶及歡迎(帝國軍隊ニ對スル分ヲ除ク)

(六一九)

百七

(八) 「ジョッフル」元帥歓迎ノ決議

第四十五回議會 (大正十一年二月一日)

歐洲大戰ニ於ケル佛國々民ノ義勇ト「ジョッフル」元帥ノ偉勳トハ世界ノ平和ヲ促進シ人類ノ福祉ニ貢獻スルモノ大ナリ今ヤ元帥至高ノ使命ヲ齎シテ我カ國ヲ訪ハル兩國ノ交際益親善ヲ加フルハ我カ國民ノ洵ニ慶幸トスル所ナリ衆議院ハ茲ニ元帥ニ對シ特ニ院議ヲ以テ歡迎ノ意ヲ表ス

(九) 震災遭難者ニ對スル決議

第四十七回議會 (大正十二年十二月二十二日)

衆議院ハ振古未曾有ノ震災ニ因リ不測ノ慘禍ヲ被リタル内外國民ニ對シ茲ニ院議ヲ以テ滿腔ノ同情ヲ寄セ特ニ幾萬ノ歿死ニ者深甚ナル哀悼ノ意ヲ表ス

七 弔詞及通牒

(一) 皇族及王族ノ薨去

第八回議會 (明治二十八年一月二十四日)

衆議院ハ陸軍大將大勳位熾仁親王殿下ノ薨去ヲ追悼シ奉リ恭シク弔詞ヲ奉呈ス

(明治二十八年十一月五日)

衆議院ハ陸軍大將大勳位能久親王殿下ノ薨去ヲ追悼シ奉リ恭シク弔詞ヲ奉呈ス

(明治四十二年十二月十一日)

神宮祭主大勳位賀陽宮殿下御薨去アラセラレ哀悼ノ至ニ堪ヘス茲ニ謹テ弔詞ヲ奉ル

(大正二年七月十二日)

衆議院ハ議定官元帥海軍大將大勳位功三級威仁親王殿下ノ薨去ヲ哀悼シ奉リ恭シク弔詞ヲ奉呈ス

第四十一回議會 (大正八年一月二十五日)

衆議院ハ大勳位李太王殿下薨去ノ報ニ接シ哀悼ノ至ニ勝ヘス茲ニ本院ノ決議ヲ以テ恭シク弔意ヲ表ス

右ニ對シ原内閣總理大臣ヨリノ通牒

李王職長官ヨリ原内閣總理大臣宛電報(寫)(大正八年一月三十日著)

大勳位李太王殿下薨去ニ付衆議院ハ深厚ナル弔意ヲ寄セラレタル旨決議御傳達ノ趣拜承直ニ李

王殿下ニ言上シタルニ衆議院ノ好意ニ對シ深く感謝セラル

右然ルヘク御挨拶ヲ希フ

(大正十一年七月三日)

衆議院ハ議定官元帥海軍大將大勳位功三級依仁親王殿下ノ薨去ヲ哀悼シ奉リ恭ク弔詞ヲ奉呈ス

第四十六回議會 (大正十二年二月六日)

衆議院ハ元帥陸軍大將大勳位功二級貞愛親王殿下ノ薨去ヲ哀悼シ奉リ恭ク弔詞ヲ奉呈ス

(大正十五年四月二十七日)

謹テ李王殿下ノ薨去ヲ哀悼シ奉ル

(大正十五年六月十日)

衆議院ハ大勳位李王殿下ノ薨去ヲ哀悼シ奉リ恭ク弔詞ヲ奉呈ス(國葬儀當日本院ヨリ贈呈)

(二) 外國皇帝ノ崩御及大統領ノ逝去

第十五回議會 (明治三十四年二月二日)

衆議院ハ深ク大不列顛國皇帝ヅキクトリヤ陛下ノ崩御ヲ哀悼シ特ニ本日休會ス

右ニ對スル加藤外務大臣ヨリノ通牒

(二月十四日附ノ分)

故英國皇帝陛下御大葬ノ日貴院ニ於テ哀悼ノ意ヲ表シ休會セラレタルコトハ當時駐劄林特命全權公使ニ電報シテ同國政府ニ通知ニ及ハシメ候處右ノ件ニ關シ英國新皇帝陛下ノ最モ深厚ナル謝意傳致方別紙譯文ノ通二月九日附ヲ以テ同國外務大臣ヨリ申越候趣林公使ヨリ電報有之候ニ付此段及御通知候也

(電信譯文)

日本國貴族院及衆議院ハ故皇帝ノ紀念ノ爲メ陛下ノ大葬日ニ於テ休會セラレ以テ同情及尊敬ヲ表セラレタルハ皇帝ニ於テ最モ深く感謝セラレタル所ナリ本大臣ハ此懇篤ナル感情及尊敬ノ自然的發動ニ對シ陛下ノ最モ深厚ナル謝意ヲ閣下ヨリ其筋ヘ傳致セラレンコトヲ冀望ス

(五月二十七日附分)

在本邦英國公使ハ曩ニ故英國皇帝陛下御大葬ノ當日帝國議會カ兩院同時ニ痛悼ノ意ヲ表彰スルノ決議案ヲ通過シ尙同日特ニ休會シテ築地トリにていー教會堂ニ於テ執行セラレタル弔祭式ニ代表者ヲ列席セシメタル次第ヲ本國政府ニ報告ニ及ヒタル處同國外務大臣ハ右報告ヲ新皇帝陛下ヘ奏上ニ及ヒタル趣ニテ陛下ハ之ニ就キ帝國議會カ故陛下ニ對シ表彰シタル深厚ナル敬意ヲ嘉納セラレ且ツ今帝竝ニ陛下ノ臣民ノ愁傷ニ對シ日本全國民カ一般痛惜ノ意ヲ表シタルコトヲ御承知相成リ深ク感動セララルニ付其旨本邦英國公使ヲ經テ其向ヘ相通シ候様外務大臣ヘ勅命アリタル趣ニテ同公使ヨリ右ノ聖意ヲ閣下竝ニ貴院議員諸君ニ相通シ候様本大臣マテ依頼申出候間右御承知ノ上夫々通達方可然御取計相成度此段申進候敬具

(大正三年八月十三日) 亞爾然丁國大統領逝去ニ付加藤外務大臣ヨリ奧議長宛通牒

亞爾然丁國大統領さえんす、べにあ氏本月九日逝去致候旨同國政府ヨリ通知有之候趣在智利國飯島臨時代理公使ヨリ電報有之候條此段及御通牒候也

(大正五年六月七日) 支那共和國大統領袁世凱逝去ニ付石井外務大臣ヨリ島田議長宛通牒

支那共和國大統領袁世凱昨六日午前十時逝去セシ旨竝ニ約法ニ依リ副大統領黎元洪代リテ大統領ノ職權ヲ行ヒ同副大統領本日午前十時就職可致旨在京同國臨時代理公使ヨリ通知有之候條此

段及御通牒候也

(三) 元勳其ノ他ノ薨去

第一回議會 (明治二十四年二月十九日)

衆議院ハ明治ノ元勳國家ノ柱石タル内大臣正一位大勳位公爵三條實美公ノ訃音ニ接シ痛惜哀悼ノ至ニ耐ヘス恭ク茲ニ弔詞ヲ呈ス

第八回議會 (明治二十八年二月二十二日)

衆議院ハ忠勇ナル陸軍少將從四位勳三等大寺安純君戰死ノ訃音ニ接シ哀悼ノ至ニ堪ヘス茲ニ恭ク弔詞ヲ呈ス

第十三回議會 (明治三十一年一月二十五日)

本院ハ國家ニ功勳アル樞密顧問官正二位勳一等伯爵勝安房君ノ訃音ニ接シ哀悼ノ至ニ耐ヘス茲ニ弔詞ヲ呈ス

第十五回議會 (明治三十四年二月七日)

衆議院ハ夙ニ開國ノ說ヲ唱ヘカヲ教育ニ致シタル福澤諭吉君ノ訃音ニ接シ茲ニ哀悼ノ意ヲ表ス

第二十一回議會 (明治三十八年二月四日)

衆議院ハ國家ニ勳功アル樞密顧問官正二位勳一等伯爵副島種臣君ノ薨去ヲ聞キ哀悼ノ至ニ堪ヘ
ス茲ニ恭ク弔詞ヲ呈ス

同 (明治三十八年二月十四日)

衆議院ハ戰功顯著ナル陸軍中將從三位勳一等功三級松村務本君ノ薨去ヲ追悼シ茲ニ弔意ヲ表ス
右ニ對シ寺内陸軍大臣ヨリ通牒

貴院書記官長ヨリ御送付相成候貴院カ松村陸軍中將ノ薨去ニ對スル深厚ナル哀悼ノ決議ハ早速
同遺族ヘ傳達致候處遺族一同感泣拜謝罷在候右御通知旁御挨拶申上候敬具

右ニ對スル嗣子松村操君ヨリノ謝辭

貴院ハ父陸軍中將從三位勳一等功三級松村務本薨去ニ付特ニ院議ヲ以テ生前ノ戰功ヲ贊揚シテ
弔意ヲ表セラレ寔ニ感激ニ堪ヘス茲ニ謹テ謝辭ヲ呈ス

(明治四十二年十一月四日)

樞密院議長從一位大勳位公爵伊藤博文君薨去セラル

公夙ニ皇政維新ノ大業ヲ贊襄シ開國進取ノ國是ヲ翼立シ入りテハ大鼎ヲ鹽梅シ出テテハ樽俎ニ
折衝シ常ニ國運ノ興隆ヲ扶ケ文明ノ進歩ト平和ノ確保ニ心カヲ注キ蹇々匪躬五十年殊ニ公カ千
歲不磨ノ憲法ヲ起草シ其ノ濟美ニ盡瘁セラレタルハ國民ノ齊シク仰視スル所ナリ今ヤ老軀遙カ

ニ滿洲ニ入り更ニ大ニ貢獻スル所アラムトシ不幸韓人ノ凶手ニ殪ル衆議院ハ國家ノ柱石ヲ喪ヒ
哀悼已ムナシ茲ニ恭シク弔詞ヲ呈ス

第三十一回議會 (大正三年三月七日)

衆議院ハ多年憲政ノ爲ニ盡瘁シ且本院議長ノ職務ニ鞅掌セラレタル司法大臣正二位勳一等男爵
松田正久君ノ薨去ヲ哀悼シ特ニ院議ヲ以テ恭ク弔詞ヲ呈ス

(大正四年九月四日)

衆議院ハ國家ニ勳勞アル維新史料編纂會總裁臨時編修局顧問貴族院議員從一位大勳位侯爵井上
馨君ノ薨去ヲ聞キ哀悼ノ至ニ堪ヘス茲ニ恭ク弔詞ヲ呈ス

(大正五年十二月十日)

衆議院ハ國家ノ元勳タル議定官内大臣元帥陸軍大將從一位大勳位功一級公爵大山巖君ノ訃音ニ
接シ哀悼ノ至ニ堪ヘス茲ニ恭ク弔詞ヲ呈ス

(大正八年七月十九日)

衆議院ハ維新ノ鴻業ニ贊襄シ憲政ノ興隆ニ盡瘁セラレタル從一位勳一等伯爵板垣退助君ノ薨去
ヲ哀悼シ恭ク弔詞ヲ呈ス

(大正十年十一月六日)

衆議院ハ多年憲政ノ爲ニ盡瘁シ屢々輔弼ノ重任ニ膺リ現ニ内閣ノ首班タル議員正二位大勳位原敬君ノ不幸兇手ニ罹リ薨去セラレタルヲ哀悼シ恭ク弔詞ヲ呈ス

第四十五回議會 (大正十一年一月十七日)

衆議院ハ夙ニ維新ノ鴻業ニ參シ屢々輔弼ノ重任ニ膺リ憲政ノ發達文化ノ進展ニ貢獻セラレタル國家ノ元勳從一位大勳位侯爵大隈重信君ノ薨去ヲ哀悼シ茲ニ恭ク弔詞ヲ呈ス

同 (大正十一年二月七日)

議定官樞密院議長元帥陸軍大將從一位大勳位功一級公爵山縣有朋君薨去セラレ

君至誠純忠夙夜寢々心ヲ國事ニ勞シ文ニ武ニ勳績炳耀タリ衆議院ハ其ノ訃報ニ接シ哀悼ノ至ニ勝ヘス茲ニ恭ク弔詞ヲ呈ス

(大正十二年八月二十七日)

衆議院ハ多年輔弼ノ重任ニ膺リ現ニ内閣ノ首班タル元帥海軍大將正二位功二級子爵加藤友三郎君ノ薨去ヲ哀悼シ恭ク弔詞ヲ呈ス

第四十九回議會 (大正十三年七月八日)

衆議院ハ屢々輔弼ノ重任ニ膺リ殊ニ財政ニ貢獻セラレタル國家ノ元勳從一位大勳位公爵松方正義君ノ薨去ヲ哀悼シ茲ニ恭ク弔詞ヲ呈ス

(大正十三年九月十二日)

衆議院ハ多年憲政ノ爲ニ盡瘁シ再度本院議長ノ職務ニ鞅掌セラレタル從四位勳一等奧繁三郎君ノ長逝ヲ哀悼シ恭ク弔詞ヲ呈ス

第五十一回議會 (大正十五年二月一日)

衆議院ハ多年憲政ノ爲ニ盡瘁シ屢々輔弼ノ重任ニ膺リタル内閣總理大臣正二位大勳位伯爵加藤高明君ノ薨去ヲ哀悼シ恭ク弔詞ヲ呈ス

(年長者竹原樸一君哀悼ノ辭)

諸君私ハ甚ダ僭越デハアリマスルガ年長者ノ故ヲ以チマシテ滿場ノ御同意ヲ仰ギ議院ヲ代表シ謹デ加藤總理大臣ノ薨去ニ對シ哀悼ノ誠意ヲ表シタイト存ジマス加藤伯爵ハ多年公使大使ノ重任ヲ佩ビラレマシテ又屢々外務大臣ノ要職ニ當ラレ國家ノ上ニ多大ノ貢獻ヲ致サレマシタルコトハ國民ノ齊シク共ニ認ムル所デアリマス一昨年内閣總理大臣ノ大命ヲ拜シ夙夜孜々トシテ報效ノ誠ヲ勵ミ其ノ抱懷セラレタル政策ノ遂行ニ努力セラレタノデアリマス然ルニ本議會ノ初ニ當リ測ラズモ病魔ノ冒ス所トナリ去ル二十八日俄ニ薨去セラレマシタノハ誠ニ國家ノ爲メ哀悼ニ堪ヘザル次第デアリマス茲ニ謹デ此尊敬スベキ故人ニ對シ滿腔ノ敬意ヲ以テ哀悼ノ意ヲ表シマス尙ホ只今議長ヨリ御發議ニナリマシタ弔詞贈呈ニ對シテ謹デ贊成ヲ致シマス

(四) 議員ノ逝去

第一回議會 (明治二十三年十二月二十二日)

衆議院議員ハ議員法貴發君ノ長逝ヲ追悼シ恭シク弔詞ヲ呈ス

【備考】

第二回議會ヨリハ衆議院議員ヲ衆議院ト改メ位勳アレハ之ヲ記入セリ又第十八回議會以後ハ「追悼」ヲ「哀悼」ニ「恭シク」ヲ「恭ク」ニ改メ爾來之ヲ以テ例トス依テ以下之ヲ略ス
普通ノ文例ニ依ラス弔詞ヲ贈リタル場合左ノ如シ

(明治三十四年六月二十一日)

衆議院ハ議員星亨君ノ不慮ノ慘禍ニ罹リ長逝セラレタルヲ追悼シ恭シク弔詞ヲ呈ス

(明治三十六年十月二十一日)

衆議院ハ多年帝國議會ノ爲ニ盡瘁シ且本院議長ノ職務ニ鞅掌セラレタル衆議院議長正四位勳二等片岡健吉君ノ長逝ヲ哀悼シ恭ク弔詞ヲ呈ス

右ニ對シ第十九回議會明治三十六年十二月五日(召集當日)年長者對馬嘉三郎君ハ左ノ哀悼ノ辭ヲ述ヘタリ

私ハ年長者ノ廉ヲ以チマシテ、滿場諸氏ニ代リ、故片岡議長ニ對スル哀悼ノ意思ヲ申述ベマス

故片岡議長ハ、第六回議會ニ於テ副議長ノ任ニ當ラレ、其後第十二議會ニ於テ議長ニ當選セラレ、第十八議會マデ七回ノ會期ニ議長ノ職務ヲ執ラレ議長トシテ不偏不黨嚴正ノ態度ヲ執ラレマシテ、國家ノタメニ盡瘁セラレタノデゴザイマス、然ルニ不幸ニシテ、本年十月二十日溘然長逝セラレマシタハ、實ニ愛惜痛嘆ノ至リニ堪ヘマセヌノデゴザイマス、私ハ本院諸氏一同ニ代リマシテ、茲ニ謹ンデ哀悼ノ意ヲ申述ベマス

(明治四十四年十月四日)

衆議院ハ多年帝國議會ノ爲ニ盡瘁シ且本院議長ノ職務ニ鞅掌セラレタル議員正四位勳三等法學博士鳩山和夫君ノ長逝ヲ哀悼シ恭ク弔詞ヲ呈ス

第三十一回議會 (大正三年三月十七日)

衆議院ハ帝國議會開設以來常ニ議席ニ列シ再度議長ノ職ニ勤勞セラレタル衆議院議長從三位勳二等長谷場純孝君ノ薨去ヲ哀悼シ本院ノ決議ヲ以テ恭シク弔詞ヲ呈ス

(大正十二年十一月十六日)

衆議院ハ帝國議會開設以來常ニ議席ニ列シ嘗テ本院議長ノ職務ニ鞅掌セラレタル議員從四位勳二等島田三郎君ノ長逝ヲ哀悼シ恭ク弔詞ヲ呈ス

第四十八回議會 (大正十三年一月四日)

衆議院ハ帝國議會開設以來常ニ議席ニ列シ嘗テ本院議長タリシ議員從三位勳一等河野廣中君ノ
薨去ヲ哀悼シ恭ク弔詞ヲ呈ス

第五十回議會 (大正十四年二月七日)

衆議院ハ多年憲政ノ爲ニ盡瘁セラレタル議員司法大臣從三位勳一等横田千之助君ノ薨去ヲ哀悼
シ恭ク弔詞ヲ呈ス

(長年者竹原樸一君哀悼ノ辭)

此ノ際私ハ年長者ノ廉ヲ以テマシテ、諸君ノ御許ヲ得テ議員一同ヲ代表シ哀悼ノ言葉ヲ述ヘ
タイト存シマス……故横田君ハ明治四十五年議員ニ當選セラレ、爾來引續キ其任ニ居ラレマ
シテ、曩ニ原内閣ノ下ニ法制局長官ニ任セラレ、昨年六月現内閣成立ニ際シ、司法大臣ノ要職
ニ就カレ輔弼ノ重任ニ當ラレマシタ同君ハ尙ホ春秋ニ富ミ、前途極メテ有望ノ政治家デアリ
マシタ、然ルニ數日前圖ラズモ病氣ニ罹ラレ、去ル五日俄ニ薨去セラレマシタコトハ實ニ
國家ノ爲メ哀悼ノ至ニ堪ヘサル次第デゴザイマス茲ニ謹テ……此尊敬スヘキ故人ニ對シテ哀
悼ノ意ヲ表ハシマス

(大正十五年九月十五日)

衆議院ハ多年憲政ノ爲ニ盡瘁セラレタル議員大藏大臣從三位勳一等早速整爾君ノ薨去ヲ哀悼シ

恭ク弔詞ヲ呈ス

第五十二回議會 (昭和二年二月二十四日)

衆議院ハ多年憲政ノ爲ニ盡瘁シ屢々輔弼ノ重任ニ膺ラレタル議員正三位勳一等野田卯太郎君ノ
薨去ヲ哀悼シ恭ク弔詞ヲ呈ス

(議員總代理小太郎君哀悼ノ辭)

此際私ハ議員一同ヲ代表致シマシテ故野田君ノ爲ニ哀悼ノ辭ヲ述ベタイト存ジマス野田君ハ
明治三十一年本院議員ニ當選セラレ爾來引續キ議席ヲ保チ曩ニ大正七年原内閣成立ノ際入ッ
テ遞信大臣ノ任ニ就キマシテ大正十年高橋内閣ニ留任致シ大正十四年加藤内閣ニ入ッテ商工
大臣ノ任ニ就キマシテ前後輔弼ノ重責ニ膺ラレマシタノデアリマス願ミテ故人ガ憲政ノ運用
ニ盡瘁セラレタコトハ諸君御承知ノ通りデゴザイマス殊ニ故人ノ人格ト識見トハ吾々同人ノ
親シク推重セシ所デゴザイマス然ルニ昨二十三日俄ニ薨去セラレマシタコトハ洵ニ哀悼ノ至
リニ堪ヘザル次第デアリマス

八 議長、副議長、假議長ノ挨拶及議員ノ祝辭、謝辭

(一) 議長、副議長、假議長就職ノ辭及年長議員ノ祝辭

第一回議會 (明治二十三年十一月二十七日)

議長中島信行君 諸君ノ推薦ヲ深ク感謝致シマス是ヨリ憲法及議院法ヲ確守シテ我職ヲ盡サウト思ヒマス

副議長津田眞道君 私ハ年ヲ取リマシテ甚ダ此ノ任ニ堪ヘナイカト考ヘマスケレドモ諸君ノ御推薦ヲ蒙リ且ツ 天皇陛下ノ重キ任命ヲ蒙リマシタカラ副議長ノ任ニ就キマスデ御座イマス極メテ賤劣ノ者デ御座イマスカラ何分諸君ノ御協賛ヲ得ナクテハナリマセヌ故ニどうか諸君ノ御協賛ヲ願ヒタイト思ヒマス

年長者増田繁幸君 最年長者遠藤君ハ事故アルニ依リ私ハ次ノ年長者デアリマスルカラ茲ニ議長副議長ノ御任命アリシニ際シ代リテ聊カ其ノ健康ヲ祝シ一言祝詞ヲ呈シマス——議長君副議長君——議長副議長ハ議院ヲ代表スル榮譽アル職デアリマスガ兩貴下ハ多數ノ推薦ニヨリ候補ノ投票ニ多數ヲ得ラレ而シテ 天皇陛下ハ我々ノ希望ヲ容レテ速ニ兩貴下ヲ勅選シ給ヒ

シハ我々ノ太ダ満足スル所デアリマス茲ニ一同ニ代ッテ祝詞ヲ述ベマス

第三回議會 (明治二十五年五月四日)

議長星亨君 諸君私ハ諸君ノ推薦ニ依リ而シテ 陛下ノ勅裁ヲ得テ即チ茲ニ議長ノ重職ニ就キマシテ私ノ極メテ榮譽ト致ス所デゴザイマス而シテ私ハ自由黨員デゴザイマス然レドモ議長ノ職ハ——議長ハ即チ全院ノ推ス所デアリ全院ノ輿論ヲ代表スル所デアリマス左スレバ公平ヲ主トシナケレバナラヌコトデアリマス依テ私ハ議長ノ職ヲ執ルニ方ッテハ黨派ノ如何ニ關係セズ彼是ニ偏倚スルコトナク公平ニ事ヲ處スル積リデゴザリマス或ハサウ云フ心デゴザリマスケレドモ人ト云フモノハ随分過チナシト言ハレナイモノデゴザリマスカラ萬一偏倚スル様ナコトガゴザリマシタラバ即チ諸君ニ於テハ御遠慮ナク其處ハイカナイ斯ウシタラ宜カラウト云フコトヲ御遠慮ナク仰シヤッテ貫ヒタイト考ヘマスサウシテ此議長ノ職ヲ行フニ當ッテハ即チ諸君ノ協賛ヲ經ナケレバナラヌコトデゴザイマスカラシテ若シサウ云フコトガアッタナラバ私ハ即チ過ヲ改ムルニハ一向吝カナイ即チドシ〜ヤル積リデアリマス因テ聊カ謝辭ヲ述ベマシタ譯デゴザリマス

副議長曾彌荒助君 諸君私ハ圖ラズモ副議長ノ任ヲ受クルニ至リマシタ何卒宜ク御願申シマス年長者安東九華君 本員ハ最高年者ノ故ヲ以チマシテ諸君一同ニ代リマシテ議長副議長ノ任命

ニ付キマシテ聊カ祝詞ヲ述ベマス議長副議長ノ榮職タルコトハ今更喋々ヲ要シマセヌ 天皇陛下ニ於キマシテ本院ノ多數ノ推薦ニ因リマシテ兩貴下ヲ議長及副議長ニ勅任シ給ヒマシタ誠ニ我々感謝ノ至リニ堪ヘザル所デアリマス仍テ兩貴下ノ榮任ヲ賀シマシテ聊カ祝詞ヲ呈シマス

第五回議會 (明治二十六年十一月二十七日)

副議長楠本正隆君 茲ニ謹デ皆サマニ御挨拶ヲ申上ゲマス今般衆議院副議長ノ勅任ノ宣下ヲ蒙リマシテゴザイマス是レ全ク諸君ガ御推薦ノ結果デゴザイマシテ一層光榮ニ存ジマスデゴザイマス茲ニ於テハ不肖ヲ顧ミズ正ヲ履ミ情ニ泥マス公平ヲ以テ諸君ノ御高意ニ應ヘ此ノ職ヲ保ツノ覺悟デゴザイマス諸君モ宜シク懇ニ御教授ヲ爲シ下サラントラ偏ニ冀上ゲ置キマス年長者安東九華君 私ハ一日諸君ニ長タルヲ以テ諸君一同ニ代ハリマシテ祝詞ヲ述ベヤウト存ジマス從三位勳二等楠本正隆君ハ本院多數ノ投票ヲ以チマシテ此ノ衆議院副議長ニ當選セラレマシタ素ヨリ副議長ノ榮職タルコトハ敢テ喋々ヲ俟チマセヌ 天皇陛下ニ於キマシテモ議院多數ノ推薦ニ依リマシテ早速ニ任命アラレマシテゴザリマス誠ニ満足ノ至リデゴザリマス依ッテ國家ノタメ楠本正隆君ノタメニ聊カ祝詞ヲ呈シマス

第五回議會 (明治二十六年十二月十五日)

附錄 八 議長、副議長ノ挨拶及議員ノ祝辭、謝辭 (一)

議長楠本正隆君 本日ハ不肖正隆衆議院議長ノ勅任宣下ノ榮ヲ蒙リマシテゴザリマス就キマシテ將來益々勉勵以テ諸君推薦ノ御厚意ニ對フルノ外ハゴザリマセヌ宜シク御頼ミ申上ゲマス

(明治二十六年十二月二十九日)

副議長安部井磐根君 不肖磐根去ル二十日ヲ以チマシテ衆議院副議長勅任ノ宣下ヲ蒙リマシタ此段御吹聴ニ及ビマス茲ニ端ヲ更メテ御挨拶ニ及ビマス當職ハ時トシ議長ノ職務ヲ代理スベキタメ院ニ備フルモノデゴザイマシテ不肖磐根ノ如キノ當ルベカラザルコトハ自ラモ信ジテ疑ヒマセヌ然レドモ衆望ヲ集ムル公選ノ重キ衆望ヲ容レサセラレシ宣下ノ畏キ否ミ奉ルベキ様モゴザイマセヌ故ニ御受ヲ申上ゲマシテ扱テ退テ自ラ願ミマスルニ從來短才無識ノ上ニ老衰日ニ加ハリ氣力モ亦日ニ乏シウゴザイマスカラ此上一層奮發一層勉勵而カモ勉メテ嚴格ニ事ニ從フ覺悟デハゴザイマスケレドモ其間豈ニ過ナキヲ得ンヤ多々過モアラント心苦シキ次第デゴザイマス從テ特ニ切ニ諸君ニ望ム諸君ハ磐根ガ職務ヲ行フニ當リ指揮ニ論ナク號令ニ異議ナク苟モ其ノ當宜シキヲ失スルアラバ溫顔假サズ之ヲ責メ之ヲ矯メテ成ルベク正ニ復シ以テ甚シキ失體ナカラヌ様ニ御注意アランコトヲ是レ磐根一己ノタメニ望ムデハゴザイマセヌ實ニ我衆議院ノ體面ノタメニ望ムノデゴザイマス各位諸君願クバ此ノ愚言ヲ容レラレンコトヲ敢テ豫メ懇請シマス

(明治二十六年十二月十五日)

年長者佐藤昌藏君 祝詞ヲ述ベマス本員ハ年長ノ故ヲ以テ三百議員ニ代リマシテ祝詞ヲ述ベマス楠本正隆君ハ衆ノ推ス所ニ依ッテ高點ヲ得ラレ 皇帝陛下ニ於テハ速ニ衆望ヲ御容レニナリマシテ今日ノ勅命デゴザリマシタハ誠ニ我々ノ満足ニ堪ヘマセヌ所デ楠本君ノ爲メニ祝詞ヲ述ベマス

第六回議會 (明治二十七年五月十四日)

議長楠本正隆君 諸君不肖正隆ハ一昨十二日衆議院議長勅任ノ宣下ヲ蒙リマシテゴザイマス是ハ全ク諸君ガ推薦ノ御厚意ニ依リマシタル結果ナルコトハ申上ゲルマデモゴザイマセヌ抑モ第六期ノ議會ハ解散後ノ議會デゴザイマシテ最モ大切ナル議會デゴザイマス此議會ヨリシテ不肖正隆ガ議場整理ノ大任ヲ荷ヒマスルノハ諸君ニ謝スルト共ニ無上ノ光榮デゴザイマス就テハ益々注意精勵致シテ本職ノ事實ヲ舉ゲマシテ諸君ノ御厚意ニ應ヘマスル覺悟デゴザイマス謹デ此ニ謝辭ヲ申シマス

副議長片岡健吉君 諸君不肖健吉ハ諸君ノ御推薦ニ依リマシテ一昨十二日衆議院副議長ノ勅任ノ宣下ヲ蒙リマシタルハ誠ニ光榮ニ存ジマス併シ不學短才ノ身此ノ榮譽アル重職ニ堪ヘザラシコトヲ恐レマス何卒諸君ハ健吉ノ至ラザル所ハ御注意下サレマシテ切ニ諸君ノ御幫助ヲ冀

附錄 八 議長、副議長ノ挨拶及議員ノ祝辭、謝辭 (一)

望致シマスノデアリマス聊カ謝辭ヲ呈シマス
年長者安東九華君 私ハ年長タル故ニ祝詞ヲ述ベヤウト思ヒマス楠本正隆君片岡健吉君ハ本院
多數ノ推薦ニ依リマシテ正副議長ノ任命ヲ蒙リマシテ誠ニ本院一同満足ノ至リデゴザイマス
因テ楠本正隆君片岡健吉君兩君ノタメニ祝詞ヲ呈シマス

第七回(臨時)議會 (明治二十七年十月十六日)

議長楠本正隆君 諸君昨十五日ニ於テ衆議院議長勅任ノ恩命ヲ蒙リマシタ今ヤ懸軍征清ノ秋ニ
當リ又總選舉後初メテノ議會ニ際シ極メテ大切ナル時ニ於キマシテ議場整理ノ任ヲ擔ヒマス
ルノハ一層光榮ニ存ジマスル就キマシテハ不行届ナガラ誠心誠意ヲ注ギ職務ヲ勵ミ法律規則
ニ依ツテ公平ヲ期シ以テ諸君ガ御推薦ノ厚意ニ對ヘマスル覺悟ヲ致シマシテゴザイマス茲ニ
議長ノ職ニ就キマスルノ披露ニ併セテ謹デ諸君ニ御禮ヲ申上ゲマス
副議長島田三郎君 諸君ノ御推薦ニ依リマシテ副議長ノ任命ヲ辱ウ致シマシタ甚ダ不行届デ
ゴザイマスカラ萬事御助成ヲ願ヒマス御挨拶ヲ……
年長者寺田彦太郎君 私ハ年長ニ依リマシテ祝詞ヲ述ベヤウト思ヒマス楠本正隆君島田三郎君
ハ本院多數ノ推薦ニ依リマシテ正副議長ノ任命ヲ蒙ラレマシタ誠ニ本院一同満足ノ至リデゴ
ザイマス依ツテ楠本正隆君島田三郎君兩君ノタメ祝詞ヲ呈シマスル

第十回議會 (明治二十九年十二月二十二日)

議長鳩山和夫君 諸君ノ御推薦ニ依リマシテ昨日此ノ辭令書ヲ受ケマシテゴザイマス即チ
從五位法學博士 鳩山和夫

議院法第三條ニ依リ衆議院議長ニ任ス

明治二十九年十二月二十二日

內閣總理大臣從二位勳一等

伯爵 松方正義奉

茲ニ御報告ヲ申上ゲマス尙ホ申スマデモナイコトデゴザリマスガ就職中ハ法律規則ノ命ズル
所ニ依リマシテ誠實ニ其職務ヲ盡ス積リデアリマス
年長者寺田彦太郎君 私ハ年長デゴザイマスルデ祝詞ヲ述ベヤウト思ヒマス鳩山和夫君ハ本院
多數ノ推薦ニ依リマシテ衆議院議長ノ任命ヲ得ラレマシテ誠ニ本院ノ満足スル所デゴザイマ
スル因テ鳩山和夫君ニ祝詞ヲ呈シマス

第十二回議會 (明治三十一年五月十七日)

議長片岡健吉君 諸君不肖健吉ハ諸君ノ御推薦ニ依リマシテ昨十六日衆議院議長ノ宣下ヲ蒙リ
マシテゴザイマス誠ニ私ノ光榮ニ存ジマス然ルニ不肖ノ身ヲ以テ此重職ヲ瀆シマスノハ其職

府錄 八 議長副議長ノ挨拶及議員ノ祝辭謝辭 (一一)

務ニ堪エザルコトヲ深く恐ルルノデアリマス私ハ誠實ニ其職務ヲ努メマスルノ心得デアリマスルガ私ノ至ラザル所ハ何卒諸君ノ御補助アランコトヲ希望致シマス

副議長元田肇君 私ハ諸君ノ御推薦ヲ辱ウ致シマシテ昨日衆議院副議長ニ勅任ノ命ヲ賜ハリマシタ御好意ニ對シマシテ感謝致シマス御承知ノ通りノ私デゴザリマスルカラシテ議長片岡君ニ副トナリマシテ自分ノ出來ル限リハ公平ニ致シマスル考デアリマス宜シク

年長者寺田彦太郎君 私ハ年長デゴザイマスルデ祝詞ヲ述ベヤウト思ヒマス帝國議會モ歲月ヲ重ネマシテ既ニ十二議會トナリマシタ稍々經驗ノ度ヲ重ネマシタ今ヤ國家内外多事ニゴザイマス施政ノ整理スベキモノ國家ノ經綸ノ立ツベキモノ多々益有望ナル本議會ニ當リマシテ本院多數ノ推薦ヲ以テ議長片岡健吉君副議長元田肇君兩君ノ任命アラレマシタルハ誠ニ本院ノ満足スル所デアリマス因テ祝詞ヲ呈シマス

第十三回議會 (明治三十一年十一月十日)

議長片岡健吉君 諸君不肖健吉ハ諸君ノ御推薦ニ依リ衆議院議長宣下ノ榮ヲ辱ウスルニ至リマシタルノハ深く感激スル所デゴザイマス就キマシテハ不學短才ヲモ願ミマセズ偏ニ諸君ノ御補助ニ依リマシテ其職務ヲ盡サウト思ヒマス諸君幸ニ此意ヲ諒セラレンコトヲ願ヒマスル副議長元田肇君 諸君私モ圖ラズ諸君ノ御推薦ヲ辱ウ致シマシテ昨日衆議院副議長ニ勅任セラ

ルルノ光榮ヲ荷ヒマシテゴザイマス就キマシテハ御承知ノ通りノ不肖ナ者デゴザイマスルガ謹デ法律規則ヲ恪守致シマシテ職責ヲ完ウセンコトヲ期シマス爰ニ謝辭ヲ述ベマス
年長者寺田彦太郎君 私ハ年長デゴザイマスルデ祝詞ヲ述ベヤウト思ヒマス議長片岡健吉君副議長元田肇君兩君ニ本院多數ノ推薦ヲ以テ任命アラレマシタルハ誠ニ本院議員ノ満足スル所デアリマス之ヲ祝シマスル

第十七回議會 (明治三十五年十二月八日)

議長片岡健吉君 諸君不肖健吉ハ昨日衆議院議長ノ宣下ヲ蒙リマシタ再度議長ノ職ニ就キマスルノハ誠ニ私ノ光榮デアリマシテ深く諸君ニ謝シマスル然ルニ菲才ノ身ヲ以チマシテ此重任ニ當リマスルノハ其職責ヲ盡ス上ニ於テ竊ニ私ノ憂懼スル處デアリマス唯私ハ誠心誠意以テ此職務ヲ行フ考デアリマス幸ニシテ諸君ノ御補助ヲ得マシテ其職務ヲ全ウスルコトヲ得マスルナラハ私ノ幸甚デアリマス此一言ヲ以テ諸君ニ謝辭ヲ述ベマス
副議長元田肇君 私モ諸君ノ御推薦ニ依リマシテ昨日衆議院副議長ノ任命ヲ辱ウ致シマシタ御承知ノ通り甚ダ不肖ノ者デアリマスルガ諸君ノ御贊助ニ依リマシテ自分ノ職責ヲ盡シマスル考デアリマスル何分共ニ宜シク願ヒマス

年長者富永發叔君 議長片岡健吉君副議長元田肇君私ハ本院ノ年長者デアリマスル故ニ諸君

ニ代リマシテ議長副議長ノ御任命ニナリマシタル祝詞ヲ一言致サント欲シマスル議長副議長ハ本院ヲ代表セラレマスル最モ榮譽アル重大ノ職務デアルト申スコトハ私ノ喋々ヲ待タヌ所デゴザイマスル兩君ニハ從前議長副議長ノ椅子ヲ占メラレマシテ老練熟達ニシテ公平ニ議事ヲ整理ナサレマスルコトハ吾々ガ明カニ承知シテ居ル次第デゴザイマス而シテ此度ハ總選舉後初メテノ議會殊ニ國家經綸ノ上ニ於キマシテ重要ナル問題モ將ニ現ハレントスル時ニ方リマシテ兩君ニハ本院ノ最多數ノ推薦ニ依リマシテ昨日議長副議長ノ御任命ニナリマシタルノハ吾々ノ深ク満足致ス所デゴザイマスル茲ニ兩君ニ對シマシテ一言ノ祝詞ヲ呈シマスル

第十八回議會 (明治二十六年五月十一日) (議長片岡健吉君ハ病氣缺席ノ爲就職ノ辭ナシ)

副議長杉田定一君 私ハ今般諸君ノ御推薦ニ依リマシテ一昨日副議長ノ任命ヲ辱ウ致シマシタ誠ニ光榮ノ至リデゴザイマス誠ニ不肖ノ身ヲ以テ此重任ニ當リマスルコトハ恐懼ノ至リデゴザリマスル何卒諸君ノ御補助ニ依リマシテ職責ヲ盡シタイト考ヘマスル次第デゴザイマスルデ何分宜ク御願ヲ致シマス茲ニ一言御挨拶ヲ致シマス

年長者岩本晴之君 議長片岡健吉君副議長杉田定一君私ハ本院出席議員中年長者デアリマスルカラ先例ニ依リマシテ一同ニ代リマシテ兩君ガ本院最多數ノ推薦ニ依リ議長副議長ノ御任命

ニナリマシタル祝詞ヲ呈シマス惟フニ本期議會ニ於キマシテハ前議會ニ現ハレタルト同様ノ國家重要ノ問題ヲ討議スルコトト信ジマス兩君ノ老練ナル手腕ハ此間ニ於ケル職責ヲ全ウセラルベキハ吾々ノ深ク信任スル所デアリマス兩君ガ議長副議長ノ御任命ニナリマシタルニ付キマシテハ吾々一同ノ欣喜ニ堪ヘザル所デアリマス茲ニ兩君ニ對シテ一言ノ祝詞ヲ呈シマス

第十九回議會 (明治二十六年十二月七日)

議長河野廣中君 諸君謹ンデ諸君ニ御挨拶ヲ致シマス不肖廣中一昨日衆議院議長任命ノ宣下ヲ蒙リマシタ次第デゴザイマス是ハ洽ク御一同ノ御推薦下サイマシタ結果デゴザイマシテ感謝ニ堪ヘザル次第デゴザイマス固ヨリ不肖ノ身デゴザイマシテ誠ニ缺漏ノ多キコトデゴザイマスガ十分注意ヲ致シマシテ公正至誠議長ノ職ヲ勤メマス心得デゴザイマス尙ホ其至ラザル所ニ至リマシテハ諸君宜シク御扶助アランコトヲ希望スル次第デゴザイマス茲ニ御挨拶ヲ致シマス

年長者對馬嘉三郎君 私ハ例ニ依ッテ年長者ノ廉ヲ以テ新任議長ニ一言呈シマス河野君ハ衆望ノ歸スル所大多數ヲ以テ當院議長ノ榮職ニ當選セラレ續イテ御裁可ヲ蒙リマシタ次第御光榮ノ至リト存ジマス就イテハ我が國家ノタメ當院ノタメ偏セズ黨セズ嚴肅方正ノ態度ヲ執ラレ

マシテ常議場ノ整理ニ盡瘁セラレンコトヲ望ミマス一言ヲ呈シマシテ祝詞ニ代ヘマス
第二十回(臨時)議會 (明治二十七年三月十九日)

議長松田正久君 議員諸君 不肖正久ハ 昨日午後四時十分ヲ以テ參内致スヘキトノ通知ニ接シ
マシテ議院法第三條ニ依リ衆議院議長ニ任ストノ辭令ヲ拜受致シマシタ畢竟議員諸君ノ御推
薦ノ結果ニ出デタルコトデゴザイマシテ我が短才微力此重任ヲ全ウシ能フヤ否ヤニ至ッテハ
衷心甚ダ懼ルル所デゴザイマス唯諸君ノ御助ケニ依ッテ過チ少カラシコトヲ期スルノミデゴ
ザイマス又私ハ一個人トシテハ政黨所屬ノ一議員デゴザイマスルガ議長ノ職務ヲ取扱フニ於
テハ尙更最モ公平無私ヲ要スルコトハ承知致シテ居リマスル故ニ一毫モ偏頗心ノ無キコトニ
至ッテハ私ハ神明ニ誓ッテ茲ニ言明ヲ致スノデゴザイマス私ハ元來議院ノ慣例ナドニ就イテハ
甚ダ無頓著デゴザイマシテ一向通曉致シテ居ナイノデゴザイマスルニ必ズ時アッテ慣例ニ違
フコトガアルカモ知レマセヌ或ハ又自ラ信ズル處ガゴザイマシテ議院ノ神聖ヲ保チ又議院ノ
威嚴ヲ持スルタメニ斯ク致シタナラバ宜カラウト云フコトガアルカモ知レマセヌ而シテソレ
等ノ所ヨリシテ又從來ノ慣例ニ聊カ違フコトガナイトハ計ラレマセヌガ併シ是ハ決シテ惡意
ヲ以テスルノデハナイノデアリマス故ニ諸君ノ理由アル御批難ニ至ッテハ甘ジテ之ヲ受ケマ
スルカラ御遠慮ナク十分ノ御忠告ヲ請ケタイノデゴザイマス御挨拶旁々茲ニ一言ヲ呈シタ次

第デゴザイマス

副議長箕浦勝人君 諸君諸君ノ御推薦ニ基キマシテ昨日衆議院副議長ノ任命ノ榮ヲ得マシタ就
キマシテハ諸君ノ御幫助ニ依ッテ職務ヲ全ウセンコトヲ希望致シテ居リマス謹デ謝辭ヲ呈シ
マス

年長者岩本晴之君 議長松田正久君副議長箕浦勝人君私ハ本院議員中ノ年長者タルヲ以テ茲ニ
望外ノ光榮ヲ得テ今回ノ御任命ニ對シ祝詞ヲ呈シマス議場ニ於ケル正副議長ノ任務ハ固ヨリ
輕カラザルコトハ申スマデモナイコトナガラ今日ノ時局ハ更ニ一層其重大ナルヲ示スモノニ
シテ我帝國ガ未曾有ナル國際上非常ノ行動ヲ取ルノ時ニ當リ國民ノ輿論ヲ代表シ參政ノ責任
ヲ完カラシメ議會ノ經過ト其結果ヲシテ遺憾ナキコトヲ期スルハ兩君ノ聲望ト其手腕ニ俟ッ
ベキハ勿論ノ事デアリマス本院ハ既ニ多大ノ推薦ニヨリ兩君ニ信賴ノ實ヲ舉ゲ兩君ハ勅命ニ
依リテ茲ニ此重任ヲ荷ハルルニ至リマシタルハ誠ニ本院ノ光榮トスル所デアリマス私ハ一同
ニ代リ祝詞ヲ呈シマス

第二十二回議會 (明治二十九年一月二十五日)

議長杉田定一君 不肖今般衆議院議長ノ御任命ヲ一昨日辱ウ致シマシタ、是レ全ク諸君御推薦
ノ然ラシムルトコロト感謝ヲ致シマス次第デゴザリマス、退イテ願ミマスルニ、不肖ノ身ヲ以

テ此重任ニ堪ユルヤ否ヤト云フコトニ付イテハ、甚ダ恐懼ノ至リニ堪ヘナイ次第デゴザリマ
ス、併ナガラ誠實ニ公平ニ職務ヲ執ルノ考デゴザイマス、何卒諸君ノ御補助ニ依リマシテ、此
職務ヲ全ウ致サンコトヲ希望致シマスル次第デゴザイマス、茲ニ一言以テ就任ノ御挨拶ヲ致
シマス

年長者岩本晴之君 私ハ先例ニ從ヒマシテ年長者タルノ故ヲ以テ議員一同ヲ代表シテ議長杉田
定一君ニ御挨拶ヲ申上ゲマス君ハ本院ノ衆望ニ依リ今般前議長松田正久君ノ後任トシテ補缺
ニ本院議長ニ御當選ニナリマシテ去ル二十三日本院議長ニ御任命ニナリマシタル段ハ吾々一
同祝スルトコロデアリマス本期議會ハ戰後ノ經營ト豫算ニ法律案ニ重要ナル問題ガ極メテ多
ク且ツ世界ノ大勢ト我國ノ發展トニ伴ヒ益立法部ノ任務ニ至ッテモ亦重キヲ加ヘマスルガ此
時ニ當ラレマスル君ノ御勤勞ハ實ニ察スルニ餘リアルコトト存ジマス希クハ慎重御自愛御勉
勵御盡力下サルコトヲ希望シマス

第二十五回議會 (明治四十一年十二月二十四日)

議長長谷場純孝君 諸君一昨日當院ニ於テ議長選舉ノ結果殆ト満場一致トモ申スベキ最大多數
ヲ以テ不肖私ニ同情ヲ寄與セラレ昨日午前十時議院法ノ第三條ニ據リ衆議院議長ニ任ズトノ
大命ヲ蒙リマシタ實ニ私身上ニ取リマシテハ無上ノ光榮トスルトコロデアリマス全ク諸君

最大多數御同情ノ結果ノ然ラシムルトコロト信ジマスカラ茲ニ慎ンデ諸君ノ御厚誼ヲ感謝致
シマス元來私ハ短才淺識ニシテ此重大ナル責任ヲ竭シ了フスルヤ否ヤニ想到スレバ甚タ恐懼
ニ堪ヘナイ次第デゴザイマスサリナガラ既ニ大命ヲ拜シマシタ以上ハ最モ忠實最モ公平ニ心
身ヲ職務ノタメニ捧ゲテサウシテ努力センコトヲ諸君ノ前ニ誓ヒマス勿論私ノ及バザルトコ
ロハ懇切ナル御注意ト御遠慮ナキ御忠告ヲ垂レラレンコトヲ希望致シマス終リニ臨ミ諸君ノ
此御同情ノ深カラシコトト且ツ長カラシコトヲ祈ルト同時ニ重ネテ茲ニ諸君ノ御厚誼ヲ感謝
致シマス

副議長肥塚龍君 諸君、諸君多數ノ御贊同ニ依リマシテ昨日ハ衆議院副議長ニ任ズルノ大命ヲ
受ケマシテゴザイマス微力ニシテ慣例ニ不慣レナル拙者ガ此大任ニ當リマシテ何分ニモ諸君
ノ御補翼ヲ願ヒマス一言御挨拶ヲ致シマス

年長者岩本晴之君 此度ハ議長長谷場純孝君副議長肥塚龍君此兩君ハ本院ノ輿望ニ依リ大多數
ヲ以テ長谷場君ハ衆議院議長ニ肥塚龍君ハ衆議院副議長ニ御當選ニナリマシタ尙昨日ハ宮中
ニ於テ御任命ニツレトナラレマシタニ付キマシテ一應御挨拶ヲ申シ上ゲマス思フニ兩君ハ
博學宏才ニシテ清廉潔白實ニ申分ナイ適任者ヲ得マシタコトデアリマス吾々一同ニ於キマシ
テ非常ニ大慶ニ存ジマス且ツ蓋シ上下一般ニ於キマシテモ定メシ満足ヲ致スコトト信ジテ疑

ヒマセヌソレデ茲ニ議員一同ヲ代表致シマシテ——年長者ノ故ヲ以テ議員一同ヲ代表致シマシテ謹ンデ兩君ノ御當選ヲ祝シ茲ニ御健康ヲ祈リマス

第二十八回議會 (明治四十四年十二月二十五日)

議長大岡育造君 不肖育造ハ昨日議院法第三條ニ依リ、衆議院議長ニ任ズルノ榮ヲ拜シマシテゴザイマス、是ハ偏ニ一昨日諸君大多數ノ投票ノ結果ニ依ルコトデゴザイマシテ、深ク諸君ニ對シテ陳謝致シマス、唯今ヨリ職ニ就キマスルニ當リマシテハ、議院ノ法律規則ニ從ヒ典例ニ依リマシテ、公平無私諸君ノ議權ヲ尊重致シマシテ、我立法機關ノ穩健ナル發達ニ向ッテ裨補アランコトヲ期スルノガ衷心ノ願デゴザイマス、併ナガラ御承知ノ如ク微力短才且不徳ノ身デゴザイマス、諸君ノ寛大ナル雅量ニ依ッテ、且議場ニ老練ナル御方ミデゴザイマスカラ、十二分ノ御援助ヲ深ク仰ギマスル次第デアリマス、終リニ臨ミマシテ一昨日ノ議場ニ於テ、大多數ヲ以テ當選ノ榮ヲ得ルニ至リマシタ段ヲ深ク感謝致シマス

年長者大井ト新君 私ハ年長者トシテ新任ノ議長大岡育造君ニ祝詞ヲ呈シマス今回本院最大多數ノ推薦ニ依リ長谷場前議長ノ後任トシテ議長ニ任命ニナリマシタノハ吾々一同ノ欣喜ニ堪ヘザルトコロデゴザイマス惟フニ本期議會ハ内外多事ニ際シ幾多ノ國家重要問題ヲ審議スルコトト存ジマス、立法院ノ任務益々其重キヲ加フル今日大岡君ノ達識老練ナル能ク議長ノ重職

ヲ完ウシ興望ニ副ヘラルベキハ吾々ノ深ク信ジテ疑ハザルトコロデゴザイマス茲ニ一言御挨拶ヲ申シ上ゲ議長ノ御榮任ヲ祝シマス

第二十九回(臨時)議會 (大正元年八月二十二日)

議長大岡育造君 不肖育造ハ微力短才且不徳ニシテ、再ビ諸君大多數ノ御推薦ニ依リマシテ、昨日議院法第三條ニ依ッテ、衆議院議長ニ任ズルノ恩命ヲ拜シマシテゴザイマス、偏ニ諸君寛大ノ雅量、深厚ナル御同情ノ結果ニ外ナラヌ次第デアリマシテ、深ク感謝ヲ表シマス、職ニ當リマシテハ法律規則ヲ守リ、典故ニ從ヒマシテ、公平無私、諸君ノ議權ヲ尊重シマシテ、我が憲政ノ穩健ナル發達ニ向ッテ、微力ヲ致シタイト考ヘマス、前任中ニ於キマシテ、往々不手際ナルコトモアリタルニ拘ラズ、茲ニ再ビ重職ヲ忝ウ致シマシタノハ、誠ニ恐懼ノ至リニ堪ヘマセヌ、我が衆議院ニ於キマシテハ、再選ノ榮ヲ荷ハレタル先賢ニハ、片岡楠本兩君アルノミデアリマス、私ガ此度再任ヲ得マシタルコトハ、謝スルニ言葉ヲ知ラザルトコロデゴザイマス、尙昨日ノ投票ハ稀ニ見ル程ノ大多數ヲ與ヘラレマシテ、重ネ、諸君ノ御厚意ニ對シマシテ、感謝スル次第テゴザイマス

副議長關直彦君 諸君、私ハ短才不徳ナルニモ拘ハリマセズ昨日ハ諸君ノ御推薦ニ預リマシテ、午後直ニ副議長ノ恩命ヲ戴キマシタ、誠ニ不慣デゴザイマシテ、此重職ヲ完クスルヤ否ヤト云

フコトハ、自ラモ信ズルコトハ出来マセヌ位デゴザイマスガ、ドウカ將來ハ諸君ノ御誘掖ニ依リマシテ、議長ヲ補佐スルノ責ヲ完ウスルコトヲ得マシタナラバ、幸甚ト存ジマスル次第デアリマス、一應御禮ヲ申上ゲマス

年長者藏内次郎作君 諸君、私ハ本日御出席ノ議員諸君ノ年長者ト致シマシテ例ニ依リマシテ、一言申上ゲマス、今回本院ノ議長副議長候補者選舉ニ於キマシテ、大岡育造君關直彦君ハ衆望ニ依リ、最大多數ヲ以テソレト當選ノ榮ヲ得ラレ、大岡君ハ議長ニ重任、關君ハ副議長ニ御任命ニナリマシタルハ、吾々一同ノ満足スルトコロデアリマス、國家重大ノ任務ヲ荷ヘル立法府ニ於テ、老練博識ナル御兩君ガ、此重職ニ任ゼラレタルニ付テハ、必ズヤ其任務ヲ完ウセラレ益々憲政ノ發展ニ資セラルベキコトヲ深ク信ク信ズルノデアリマス……

第三十一回議會 (大正三年三月七日)

議長長谷場純孝君 諸君私ハ唯今議院法ノ第三條ニ依リ衆議院議長ヲ拜命致シマシタ私ハ曩ニ第二十五回ヨリ第二十七回議會ノ間此重職ヲ瀆シタノデゴザリマスガ再ビ諸君ノ御推薦ニ依リ本職ニ就キマスノハ洵ニ光榮トスル所デゴザリマス私ハ公平ニ誠實ニ其職務ニ從事致シマシテ諸君ノ御厚意ニ對スル考デゴザリマス諸君ニ於テモ一層ノ御同情ト御援助トヲ與ヘラレシコトヲ希ヒマス茲ニ一言ヲ述ベテ御挨拶ヲ申上ゲマス

年長者長谷川敬一郎君 諸君私ハ年長者ノ故ヲ以テ再ビ其演壇ニ登リマスルノハ如何ニモ恐縮ニ堪ヘマセヌケレドモ暫時拜借ヲ致シマス議長長谷場純孝閣下ノ御挨拶ニ對シテ一言申上ゲマスル此度閣下ハ絶對多數ノ推薦ニ依ッテ大岡君ノ後任トシテ議長ニ御任命ニナリマシタ吾々一同ノ欣幸トスル所デゴザイマス閣下ニハ既ニ前年來御經驗モアラセラレマスルコトデゴザイマスルカラ議長ノ職責ヲ全ウシ憲政ノ發展ニ付テ一層ノ光彩ヲ添ヘラルルコトハ一點ノ疑ヲ容レザル所デゴザイマス茲ニ私ハ當選ヲ祝シ御挨拶トシテ一言述ベマス
同 (大正三年三月十七日)

議長奥繁三郎君 諸君、私ハ唯今議院法第二條ニ依リマシテ衆議院議長ノ大命ヲ拜シマシテゴザリマス御承知ノ如ク徳無ク才無ク殊ニ議院ノ典例ニ暗イ私ガ此大任ヲ拜シマシタノデ洵ニ恐懼ニ堪ヘマセヌ次第デゴザリマス私ハ議院法竝ニ規則等ニ遵ヒマシテ最モ公平ニ其職責ヲ竭シタイ考デゴザリマス願クハ諸君ノ御同情ト御援助ニ依リマシテ其職責ヲ竭スコトヲ希ヒマニデゴザリマス茲ニ諸君ノ御厚意ヲ感謝致シマシテ御挨拶ヲ申上ゲマス
年長者長谷川敬一郎君 是ヨリ私ハ諸君ニ代ッテ議長ニ御挨拶ヲ申上ゲマス奥繁三郎君ハ此度多數ノ推薦ニ依リマシテ議長ニ御任命ヲセラレマシタ洵ニ吾々一同ノ満足スル所デゴザイマス閣下ハ多年本院ノ議員トシテ盡瘁セラレ今又議長トナラレマシタニ付キマシテハ勿論此職

責ヲ竭サルル上ニ於テ最モ公平無私ニシテ議場ニ臨マレルニハ一視同仁ナルコトハ吾々信ジテ疑ヲ容レヌ所デゴザイマス茲ニ一言御挨拶ヲ申上ゲテ置キマス

第三十六回議會 (大正四年五月十八日)

議長島田三郎君 不肖ナル私、諸君ノ御推薦ニ依リマシテ、昨日午後ニ議長ノ職任ヲ命ゼラレマシタ、甚ダ議院ノ慣例ニ疎イ不才ノ私デゴザイマス、唯心ヲ盡シテ公平ヲ維持スルノ精神ヲ御認メ下スツテ、諸君ノ御援助ヲ俟ッテ幸ニ過少キヲ得マスレバ、私ニ取ッテ甚ダ希望ニ副ウタ譯デゴザイマス、要スルニ法律規則ニ遵ヒマシテ、又慣例ヲ重ンズル心得デアリマス、慣例ノ事ニ就テ諸君ガ斯ノ如キ事ハ改メタイト云フコトハ大抵ハ御協議ヲ俟ッテ左様ニ致ス心得デアリマス、總テノ事ニ就テ諸君ノ御援助ヲ俟タナケレバナラヌコトハ申スマデモナイコトデアリマス、何分ノ御心添ヲ切ニ願フノデアリマス

副議長法學博士花井卓藏君 諸君、私ハ昨十七日ヲ以テマシテ衆議院副議長タルノ勅命ヲ拜シマシタ、洵ニ光榮ニ存ジマス、而シテ是レ全ク諸君ノ御推薦ニ基クモノト存ジテ居リマス、任重クシテ力足ラズ、法令ニ通ゼズ、典故ニ熟セズ、就中禮節ニ嫻ハズ、職責ヲ完クスル上ニ於テ甚ダ憂慮致シテ居リマス、諸君ノ御指導ニ依リ庶幾クバ過ヲ少ナウ致シタイト存ジテ居リマス、謹ンデ諸君ニ敬意ヲ表シマス

年長者大村和吉郎君 諸君、私ハ年長ト致シマシテ議員一同ヲ代表シテ、正副議長ノ御任命ニ付キマシテ茲ニ祝辭ヲ述ベマスル光榮ヲ有シマス、尊敬致シマスル、正六位勳三等島田三郎君ハ衆望ノ榮ヲ荷ハレ議長ノ重職ニ、同ジク勳三等法學博士花井卓藏君ハ副議長ノ重職ニ、各勅任ノ大命宣下ニ對シマシテ、謹ンデ祝辭ヲ呈シマス、而シテ現下有史以來未曾有ノ時局内外國事多端ニ際シ、立法部ノ責任モ亦其重キヲ増シ來リマスルノ今日、老練博識ナル兩君ノ御任命ニ接シマシタノハ、本院ノ深ク光榮ト致シマスル所デゴザイマス、國家ノ爲メ正副議長ノ御健康ヲ祝シマス

第三十七回議會 (大正四年十二月二十六日)

副議長早速整爾君 諸君、私ハ諸君ノ御推薦ニ依リマシテ、先刻衆議院副議長ニ任ゼラルルノ光榮ヲ荷ヒマシタ、固ヨリ淺學短才ノ者デゴザイマシテ其任ヲ竭シ能ハザランコトヲ恐ルルノデゴザイマスルガ、幸ニ諸君ノ御援助ニ依リマシテ、其職責ヲ竭サンコトヲ期シテ居リマス、茲ニ謹ンデ御挨拶ヲ申上ゲマス

年長者市原又次郎君 私ハ年長者ノ故ヲ以テマシテ一言祝詞ヲ呈シマス、早速整爾君ハ本院多數ノ推薦ニ依リ、花井君ノ後任トシテ副議長ニ御任命ニナリマシタノハ、吾々一同ノ欣喜ニ堪ヘザルトコロデゴザイマス、茲ニ一言祝詞ヲ呈シマス

第三十九回議會 (大正六年六月二十二日)

議長大岡育造君 諸君、私ハ昨日二十一日參内致シマシタ、議院法第三條ニ依リ衆議院議長ニ任命スルノ辭令ヲ拜シマシタ、願ミマスレバ私ノ如キ不肖ヲ以テ、曩ニ既ニ二回此重職ヲ拜シマシタ、何等貢獻スル所モナク慚愧ノ至リニ堪ヘマセヌ、然ルニ今ヤ宇内ノ變局ニ際シテ、昨日諸君ノ御推薦ヲ蒙リマシテ二度此榮職ヲ汚シマス、洵ニ恐懼ノ至リニ堪ヘマセヌ、唯職ニ當リマシテハ、法規典例ニ從ヒマシテ、公平無私努メテ諸君ノ議權ヲ尊重致シマシテ、國利民福ノ増進ヲ期シ憲政ノ穩健ナル發達ヲ希望シテ已マヌノミデアリマス、唯今職ニ就キマスルニ當リマシテ、諸君ノ御推薦ヲ謝シマシテ、併セテ將來ノ御援助ヲ願ヒマス

副議長濱田國松君 諸君、私ハ諸君ノ御推薦ニ基キマシテ、今回本院副議長タルノ任命ヲ得タルコトヲ光榮ト致シマス、御承知ノ如ク不徳短才、素ヨリ其器デアリマセヌガ、唯此任務ニ服スルニ就キマシテハ、特ニ誠意ヲ以テマシテ憲法議院法並ニ本院規則ノ趣旨ニ對シマシテ、特ニ忠實ナルコトヲ諸君ノ前ニ宣誓ヲ致シマス、今後諸君ノ御庇護ニ依リマシテ、議長輔佐ノ職責ヲ完ウスルコトヲ得マシタナラバ幸甚ノミ、一言御挨拶ヲ申上ゲマス

年長者藏内次郎作君 諸君、私ハ年長者タル故ヲ以テマシテ先例ニ依リマシテ議員全體ヲ代表致シマシテ、議長副議長ニ對シ祝詞ヲ申上ゲマス、大岡君濱田君ハ今回ハ本院多數ノ推薦ニ依

リ、議長副議長ニ御任命ニナリマシタルハ、洵ニ吾々一同ノ満足スル所デアリマス殊ニ大岡君ハ二度本院議長ニ重任セラレテ、十分ノ御經驗アラセラレ、又濱田君ハ多年本院議員トシテ盡瘁セラレ、孰レモ老練達識ノ御方ミアスカラ、其職ヲ行フニ當ッテ、間然スル所ナク憲政ノ穩健ナル發達ニ貢獻スル所多カルベキハ、信ジテ疑ハザル所デアリマス茲ニ謹ンデ祝詞ヲ呈シマス

第四十三回(特別)議會 (大正九年六月三十日)

議長奥繁三郎君 諸君、私ハ昨日議院法第三條ノ規定ニ依リマシテ、衆議院議長ニ任セラレマシタ、就キマシテハ嚴正ト公平ヲ旨ト致シマシテ、此重任ヲ全ウセンコトヲ期シテ居リマス、何卒諸君ノ御援助ヲ希望致シマス、一言御挨拶ヲ致シマス

副議長粕谷義三君 私ハ昨日諸君ノ御推薦ニ依リマシテ、圖ラズモ本院副議長ニ任命セララルノ光榮ヲ忝ウ致シマシタ、御承知ノ通り微力短才ノ者デゴザイマスルガ、幸ニ諸君ノ御同情ト御援助トニ依リマシテ、此重職ヲ盡シタイト考ヘマスル、何分宜シク御願致シマス

年長者藏内次郎作君 諸君、私ハ年長者タルノ故ヲ以テマシテ議員一同ヲ代表シテ、正副議長御任命ニ就キマシテ、一言祝詞ヲ述べマス、昨日本院ノ多數ヲ以テ選舉セラレタル議長候補者奥繁三郎君ハ議長ニ、同ジク副議長候補者粕谷義三君ハ副議長ニ各々勅任セラレマシタノハ、吾

々一同ノ満足スル所デアリマス、兩君ガ老練達識ノ御方デアリマスコトハ更メテ申スマデモゴザイマセヌ、吾々ハ兩君ノ手腕力量ニ信賴シテ相俱ニ憲政ヲ運用シ目下ノ時局ニ處シテ、帝國ノ國策ニ貢獻セラレンコトヲ期スル者デアリマス、茲ニ一言ヲ述ベテ兩君ノ勅任ヲ祝賀致シマス

第四十六回議會 (大正十二年二月十七日)

議長粕谷義三君 諸君、私ハ此場合一言御挨拶ヲ申述ヘタイト思フノデアリマスルガ、只今當席ヲ保チマス其人ガゴザイマセヌカラ甚タ失禮デハゴザイマスルガ、此席ヨリ申述ベルコトノ御許ヲ得タイト思ヒマス、諸君、私ハ曩ニ諸君ノ御推薦ヲ辱ウ致シマシテ、本院ノ副議長ニ就任致シマシテヨリ以來茲ニ二年有半、此間幸ニモ諸君ノ御同情ト御援助トニ依リマシテ、甚シキ過失モ無ク今日ニ至リマスルコトヲ得マシタノハ、洵ニ私ノ感謝措ク能ハザル所デゴザイマス、今ヤ奥前議長ハ御病氣ノ爲ニ其職ヲ辭セラレマシテ、其結果トシテ本日ハ私ノ不肖ヲ以テマシテ、更ニ諸君ヨリ議長ノ候補者トシテ御推薦ヲ辱ウ致シマシテ、只今議院法第三條ニ依リマシテ「衆議院議長ニ任ス」トノ恩命ヲ拜受致シマシタノデアリマス、洵ニ私ノ身ニ取リマシテハ光榮之ニ過グルモノハゴザイマセヌ、私ハ既ニ諸君ノ御承知下サレマスル如ク、微力短才デゴザイマシテ、且ツ議院ノ法規、典例等ニモ慣熟致サヌノデゴザイマス、今此大任ヲ拜ス

ルニ方リマシテ、實ニ恐懼措ク所ヲ知ラスノデゴザイマス、サリナガラ既ニ大命ヲ拜シマシタ以上ハ、唯々誠實ト公平トヲ信條ト致シマシテ、私ノ此眇タル心身ハ此重要ナル職務ノ爲ニ捧ゲマシテ、敢テ粉骨碎身、其職ニ膺リタイト考ヘル次第デアリマス、願クハ今後ハ諸君ノ一層ノ御同情ト、厚キ御援助ヲ與ヘラレンコトヲ、私ハ偏ニ希望ニ堪ヘナイノデアリマス、茲ニ一言就任ノ御挨拶ヲ申上ゲマスルト同時ニ、謹デ諸君ノ御厚誼ヲ感謝致シマス

(大正十二年二月十七日)

年長者齋藤壽雄君 諸君私ハ年長者ノ故ヲ以テ、議員一同ヲ代表シテ祝辭ヲ述ベヤウト存ジマス、閣下ハ從前副議長ノ職ニ在リテ公平無私ニ議事ヲ整理セラレマシタコトハ、吾々ノ深ク感謝スル所デゴザイマス、然ルニ今日新ニ全會一致ヲ以テ議長ノ候補者ニ當選セラレ、續テ任命セラレタルコトハ、吾々一同欣幸トスル所デゴザイマス、閣下ノ人格高潔ニシテ熟練達識ナル、皆人ノ知ル所デアリマス、憲政ノ發展ニ一層ノ光彩ヲ添ユルコトハ、深ク信ジテ疑ハザル所デゴザイマス、茲ニ謹デ祝辭ヲ呈シマス

議長粕谷義三君 唯今ハ年長者ヨリ本院ヲ代表サレマシテ、御懇篤ナル御挨拶ヲ辱ウ致シマシテ洵ニ感激ノ至リニ堪ヘマセヌ、茲ニ謹デ重ネテ謝意ヲ表シ上ゲマス

(大正十二年二月十九日)

副議長松田源治君 諸君、私ハ一日諸君ノ御推薦ニ基キマシテ衆議院副議長タルノ勅命ヲ拜シマシタ、誠ニ光榮ニ存ジマス、諸君モ御承知ノ通り不徳短才、任重クシテ力足ラズ、其職責ヲ完ウスルコトニ付テ憂慮致シテ居リマス、唯諸君ノ御援助ニ依リマシテ、過ノ少キ事ヲ期シテ居ルノデアリマス、茲ニ謹デ御挨拶ヲ申上ゲマス

年長者齋藤壽雄君 諸君、私ハ年長者ノ故ヲ以テ茲ニ議員一同ヲ代表シテ、副議長松田源治君ニ祝辭ヲ述ベマス、松田君ハ今回大多數ヲ以テ副議長ノ候補者ニ當選セラレ、引續キ御任命セラレ、誠ニ吾々ノ深ク満足スル所デゴザイマス、君ハ多年衆議院議員トシテ國政ニ參與セラレ、此最適任者ヲ得タルコトハ吾々ノ大慶ニ存ズル次第デアリマス、茲ニ一言祝辭ヲ申上ゲマス

松田源治君 只今ノ祝辭ニ對シマシテハ謹デ感謝ヲ致シマス

第四十九回(特別)議會(大正十三年六月二十七日)

議長粕谷義三君 諸君、一昨日本院議長候補者選舉ニ於キマシテ、不肖私ハ圖ラズモ諸君ノ御推薦ヲ忝ウ致シマシタ結果、昨日議院法第三條ニ依リ衆議院議長ニ任ズトノ恩命ヲ拜シマシタ、寔ニ感激ノ至リニ堪ヘナイノデゴザイマス、顧ミマスレバ私ハ前任期中或ハ副議長トシ、或ハ議長ト致シマシテ其職ニ在リマシタ、私ノ微力ナル何等憲政ノ上ニ貢獻スル所モゴザイマセ

ヌ、屢過ヲ重ネタノデアリマスガ、ソレニモ拘ラズ今回諸君ノ御推薦ヲ忝ウ致シマシテ、此重職ニ就クコトヲ得マシテ、誠ニ感謝ノ至リニ堪ヘナイノデアリマス、今ヤ時局ハ極メテ重大デアリマシテ國民ノ議政府ニ期待スル所モ亦頗ル多大ナルモノガアルト存ジマス、此時ニ當リマシテ私ノ如キ微力短才ナル、果シテ能ク此重責ヲ盡スコトガ出來ルヤ否ヤト云フコトヲ危ブンデ居リマスル次第デアリマス、私ハ一意専心、公正ト誠實トヲ信條ト致シマシテ、敢テ微カラ盡シマスル考デゴザイマスルガ、ドウゾ今後トモ諸君ノ一層ノ御同情ト御援助トヲ賜ランコトヲ偏ニ御願ヲ致ス次第デゴザリマス、茲ニ一言就任ノ御挨拶ヲ申上ゲ、且ツ諸君ノ御厚意ヲ感謝致シマス

副議長小泉又次郎君 私ハ茲ニ謹デ御挨拶ヲ致シマス、不肖又次郎今回圖ラズモ諸君ノ御推薦ニ依リマシテ、衆議院副議長ノ任命ヲ忝ウスルノ光榮ヲ荷ヒマシタ、固ヨリ淺學菲才其器デナイノミナラズ、法規ニ暗ク典令ニ通ゼズ、加フルニ野人禮ニ嫻ハズ、此不肖ノ身ヲ以チマシテ、果シテ重任ヲ全ウシ得ラル、ヤ否ヤト云フコトニ想ヒ到リマスルト、心中寔ニ恐懼ニ堪ヘヌ次第デアリマス、唯諸君ノ御同情ト御指導トヲ唯一ノ力ト頼ミマシテ、誠心誠意其職ニ當リタイト考ヘテ居リマス、何卒十二分ノ御援助アランコトヲ切ニ御願スル次第デアリマス、年長者竹原樸一君 諸君、私ハ年長者ノ故ヲ以チマシテ、議員一同ヲ代表シ、正副議長御任命ニ

付キマシテ一言祝辭ヲ述ベマス、一昨日本院ノ大多數ヲ以テ選舉セラレタル、議長候補者粕谷義三君ハ議長ニ、副議長候補者小泉又次郎君ハ副議長ニ、各、勅任セラレマシタルハ、寔ニ吾々ノ満足スル所デアリマス、殊ニ粕谷君ハ曩ニ全院一致ノ推薦ニ依リ議長ノ任ニ就カレ今回亦全院ノ總得票ヲ以テ重任セラレタルハ、單リ御本人ノ名譽ノミナラズ、實ニ一ノ好慣例ヲ本院ニ開イタト云フモノデアリマス、吾々一同ノ欣快トスル所デアリマス、兩君ハ孰レモ多年憲政ノ爲ニ盡瘁セラレ、老練達識ノ御方々デアリマス、其職責ヲ全ウシ、憲政ノ發達ニ貢獻スル所多カルベキハ信ジテ疑ハザル所デアリマス、茲ニ謹ンデ議員一同ヲ代表シ祝辭ヲ呈シマス

第五十二回議會 (昭和二年三月二十五日)

假議長森田茂君 御選舉ニ依リマシテ暫ク此席ヲ汚スコトニ致シマス

第五十三回議會(臨時) (昭和二年五月三日)

議長森田茂君 私ハ第五十二議會ノ終リニ於キマシテ議長候補者ニ當選致シ其翌二十六日議長ニ勅任セラレマシタ隨テ御挨拶ヲ申上ゲルベキ機會無クシテ閉院式ニ臨ミマシタヤウナ次第デアリマス諸君私ハ此重任ヲ拜シマシタルコトヲ深ク光榮トシ且ツ諸君ニ感謝スル次第デアリマス諸君私ハ唯々誠心誠意法規慣例ニ從ヒ嚴正公平ヲ旨トシテ其職責ヲ全ウセンコトヲ期シテ居リマス何卒諸君ノ厚キ御同情ト御援助トヲ希望シテ已マザル次第デアリマス一言御挨拶

摺申上ゲマス

副議長松浦五兵衛君 諸君私ハ諸君ノ御推薦ニ依リ去ル三月二十六日衆議院副議長ニ勅任ノ光榮ヲ辱ウ致シマシタ私ハ洵ニ法規ニ通ゼズ又先例モ詳ニセズ其職責ヲ全ウスル上ニ於テ甚ダ憂慮致シテ居ル次第デアリマス唯々諸君ノ御同情ト指導ニ依リマシテ議長輔佐ノ職責ヲ盡サシコトヲ期シテ居リマス茲ニ謹ンデ御挨拶ヲ申上ゲマス
年長者竹原樸一君 諸君自分ハ年長者ノ故ヲ以チマシテ前例ヲ追ヒ議員一同ヲ代表シ正副議長御任命ニ付キマシテ一言祝辭ヲ申述ベマス第五十二議會ノ最終日ニ於テ多數ヲ以テ選舉セラレタル議長候補者森田茂君ハ議長ニ副議長候補者松浦五兵衛君ハ副議長ニ各、勅任セラレタルコトハ洵ニ吾々ノ満足スル所デアリマス兩君ハ何レモ多年憲政ノ爲ニ盡瘁セラレ老練達識ノ御方デアリマス其職責ヲ全ウシ憲政ノ發達ニ貢獻スル所多カルベキハ信ジテ疑ハザル所デアリマス茲ニ謹ンデ議員一同ヲ代表シ祝辭ヲ申述ベマス

(二) 議長副議長辭任ノ挨拶並年長議員ノ謝辭

第二十二回議會 (明治三十九年一月二十二日)

前議長松田正久君 諸君唯今議長ヨリ報告セラレタル通私ハ不肖ノ身ヲモチマシテ大命ヲ蒙リ内

閣ノ末班ヲ汚スコトトナリマシテ誠ニ菲才微力恐懼ノ至リニ堪ヘマセヌガ此場合唯一身ヲ國家ニ致シ忠誠以テ萬一ヲ報ゼント期スルノミデゴザリマスル從テ職務ノ都合上衆議院議長ノ職務ヲ辭退致シタキ旨願出デタルノニ去十九日ヲ以テ願ノ通御裁許ヲ得タノデゴザリマスル諸君ノ之ヲ諒セラレンコトヲ希ヒマス儲議長ノ在職中諸君ノ御助力ヲ受ケマシテ職務ノ上ニ大過失ナキコトヲ得マシタノハ誠ニ私ノ光榮トスルコロデゴザリマシテ諸君ニ感謝仕ルトコロデアリマス殊ニ兩度ノ軍國議會ヲ重ネマシテ當時政府ガ戰時ニ必要ナル經費及諸般ノ經畫ニ對シ諸君ト與ニ共ニ協贊ノ任務ヲ盡シマシテ其戰爭ノ國民ノ戰爭タル性質ヲ表スルノ點ニ於テ聊カモ遺憾ナカラシムルコトヲ得マシタノハ本院ノ特筆スベキ一大事項デゴザリマシテ此光榮ハ實ニ諸君ニ歸スルノデゴザリマスル而シテ又私モ聊カ之ヲ頌ツコトヲ得マスルノハ大幸ト存ズルノデゴザリマスル今ヨリ姑ラク身ヲ政府部内ニ置キマスルガ憲政ノ美ヲ濟シ代議政體ノ效ヲ舉グルニ努メント欲スルノ精神ニ至ッテハ終始一貫滄ラサルコトハ神明ニ誓フトコロデゴザリマスルガ是又諸君ノ諒セラレンコトヲ希フノデゴザリマスル今ヤ將ニ後任ノ議長ヲ選舉セラレントスルニ當リ私任職中諸君ノ御同情ヲ得テ厚誼ヲ忝ウシタルコロニ對シ聊カ感謝ノ意ヲ表スルタメニ一言ヲ呈シタノデゴザリマスル

年長者岩本晴之君 私ハ先例ニ從ヒマシテ年長者タルノ故ヲ以テ議員一同ヲ代表シテ謹デ前議長

松田正久君ニ御挨拶ヲ申述ベマス君ハ今般内閣ノ更迭ニ際シ入リテ司法大臣ノ顯職ニ御親任ヲ得サセラレマシタル段ハ御光榮ノコトトシテ吾々一同ノ深く祝スルコロデゴザリマス從ッテ右御入閣ノ結果トシテ本院議長ヲ辭セラレマシテ御裁可ヲ得サセラレマシタルニ付イテ唯今御鄭重ナル御挨拶ニ與リマシタルハ吾々ノ感激ニ堪ヘザルトコロデアリマス抑々君ガ御在職中ハ戰時ノ議會ニシテ上下一致國力傾倒之ニ當ラレテ最モ大切ナル時デアリマシタ此時ニ當リ幸君ハ本院ノ議長トナリ非常ナル熱誠ト老練ナル手腕トヲ以テ能ク敏活ニ公平ニ美事職責ヲ盡サレ毫モ遺憾ナカラシメラレタハ吾々一同ノ厚ク敬謝シ且國民ノ永ク記念ニ存シ忘ルベカラザルコトト存ジマス希クハ國家ノ爲益御奮勵アラシムコトヲ

前議長松田正久君 唯今岩本君ヨリ年長者トシテ御鄭重ナル御挨拶ヲ辱ウ致シ感激ノ至リニ堪ヘマセヌ謹デ御禮ヲ申上ゲマス

第二十八回議會 (明治四十四年十二月二十三日)

前議長長谷場純孝君 豫テ敬愛ヲ拂ヒツアルコロノ滿場ノ諸君、本員ハ去ル八月内閣ノ更迭ニ依リ文部大臣ノ大命ヲ拜シマシテ内閣ノ末班ニ列スルコトヲ得タノデゴザリマス固ヨリ不才魯鈍誠ニ恐懼ニ堪ヘマセヌ唯一身ヲ國家ニ捧ゲ忠誠以テ報公ヲ圖ランコトヲ期スルノミデゴザリマス隨ッテ職務ノ都合ニ據リ衆議院議長ノ辭表ヲ捧呈致シマシタトコロガ御裁可ヲ得マシタ

ノデゴザイマス願ミマスレバ去ル四十一年ノ冬諸君ノ御同情ニ依リ衆議院議長ニ推薦セラレ爾來三箇年ノ間大過無クシテ議長ノ職責ヲ盡シマシタノハ全ク諸君ノ深厚ナル御同情ト御援助ニ依リシコトト信ジマス是ニ對シテハ私ハ衷心ノ至誠ヲ捧ゲ謹デ感謝ノ意ヲ表シマスト同時ニ將來ニ於キマシテモ尙一層ノ同情ヲ垂レラレンコトヲ冀ヒマス此場合ニ於キマシテ一言諸君ニ對シテ感謝ノ意ヲ表シ併セテ御挨拶ヲ致シマス

年長者大井ト新君 私ハ前例ニ從ヒマシテ年長タル故ヲ以テ議員一同ヲ代表シテ謹デ前議長長谷場君ニ御挨拶ヲ申述ベヤウト思ヒマス今般内閣ノ更迭ニ際シマシテ文部大臣ノ顯職ニ御親任セラレタル段ハ御光榮ノコトトシテ吾々一同ノ深く祝スルトコロデゴザイマス從テ御入閣ノ結果トシテ本議長ヲ辭セラレ御裁可ヲ得セラレタルニ付テ唯今御鄭重ナル御挨拶ニ與リマシタノハ吾々ノ感激ニ堪ヘザルトコロデアリマス抑君ハ在職中熱誠ト老練トヲ以テ職責ヲ盡サレマシタノハ吾々一同ノ深く感謝スルトコロデゴザイマス冀クハ國家ノタメニ益御奮勵アランコトヲ希望致シマス

前議長長谷場純孝君 唯今本院ヲ代表サレテ年長者ヨリ誠ニ痛入リマシタ御鄭重ナル御答辭ヲ拜承致シマシタ更ニ謹デ感謝ノ意ヲ表シマス

第三十一回議會 (大正三年三月七日)

前議長大岡育造君 私ハ昨日揣ラズモ文部大臣ノ大命ヲ拜シマシテ閣班ニ列スルトトナリマシタ誠ニ微力重任ニ堪ヘズ恐懼ノ至リニ堪ヘマセヌ同時ニ昨日職務ノ都合ニ依リマシテ本院議長ノ職務ヲ辭退致シマシタ直チニ御許可ヲ蒙リマシテゴザイマス願ミマスレバ明治四十四年ノ十二月諸君ノ厚キ御同情ニ依リマシテ本院議長ニ御推薦ヲ蒙リマシタ尋デ大正元年八月改選後ノ議會ニ於キマシテ再ビ當選ノ榮ヲ荷ヒマシタ次第デゴザイマス洵ニ微力短才且ツ不徳ニシテ議長ノ職責ヲ盡スニ就キマシテハ一ニ諸君ノ深甚ナル御同情ニ依リ御援助ニ依ルコトデゴザイマス殊ニ本期議會ニ於キマシテハ屢議場ノ紛擾ヲ見マシテ甚ダ遺憾ニ存ジマス次第デアリマス併シ是モ亦諸君ノ御同情御援助ニ依リマシテ兎ニ角議事ノ進行ヲ爲スヲ得マシタ、總テ今日マデノ結果、其ノ多クハ諸君ノ賜トシテ滿腔ノ赤誠ヲ捧ゲテ感謝ヲ表シマスル次第デアリマス、尙今後モ十分ノ御同情ヲ以テ御援助アランコトヲ切ニ希望致シマス、茲ニ謹ンデ御挨拶ヲ申上ゲマス

年長者長谷川敬一郎君 私ハ年長者ト致シマシテ前議長大岡育造閣下ニ一言ノ御挨拶ヲ是ヨリ申上ゲマス此度文部大臣ニ就任セラレ御入閣ノ爲メ議長ノ職ヲ辭セラレマシタニ付テ唯今鄭重ナル御挨拶ニ接シマシテ恐縮ノ至リニ存ジマス閣下御在職中就中本期議會ハ種々重大ナル問題ガ出來致シマシテ屢々御心配ヲ懸ケマシタガ其都度處置宜シキヲ得テ各派共ニ満足致シテ居

リマスルノハ全ク閣下ガ公明能ク其ノ職責ヲ盡サレタニ依ルモノデアルト信ジマスル吾々感謝ノ至リニ堪ヘマセヌ尙今後幾多大問題ノ横ッテ居ルニモ拘ラズ此度議長ノ職ヲ辭セラレマシタノハ實ニ吾々遺憾ニ堪ヘマセヌ併シナガラ惟フニ文部大臣ノ榮職ニ就カレマシタ以上ハ一層其技倆ヲ發揮セラレマシテ國家ノ爲ニ本院ガ失ヒマシタトコロヲ補フテ餘リアルコトト信ジマスル依テ就職ヲ祝シマスルタメニ茲ニ一言ノ御挨拶ヲ申上ゲマス

第三十七回議會 (大正四年十二月二十六日)

前副議長法學博士花井卓藏君 諸君、唯今議長ヨリ報告セラレマシタ如ク、本日ヲ以チマシテ辭職ノ御聽許ヲ蒙リマシテゴザイマス、在任中ハ容易ナラザル御援助ニ依リマシテ、幸ニシテ大過ナキヲ得マシタノハ、誠ニ私ニ取リマシテハ諸君ニ厚ク御禮ヲ申上ゲナケレバナラヌ點デアリマス、尙將來トモ相變ラズ御情ヲ下サラムコトヲ切望致シマス、茲ニ謹ンデ御挨拶ヲ申上ゲマス

年長者市原又次郎君 私ハ年長者ノ故ヲ以チマシテ議員一同ヲ代表シテ謹ンデ前副議長花井卓藏君ニ御挨拶ヲ申述ベヤウト思ヒマス、目下幾多ノ大問題ハ横ハッテ居ルニ拘ラズ、閣下此度ノ御辭職ハ吾々ノ深く遺憾トスルトコロデアリマス、閣下副議長トシテ御就職ノ日淺キニ拘ラズ、種種御配慮ヲ煩ハシ、常ニ公明、克ク其職責ヲ盡サレタコトヲ感謝致シマス、茲ニ一同ニ代リ一言御挨拶ヲ申上ゲマス

第四十六回議會 (大正十二年二月十三日)

議長奥繁三郎君 議長ハ此際諸君ニ一言御挨拶ヲ申上ゲマス、不肖奥繁三郎諸君ノ推薦ニ依リマシテ衆議院議長ノ宣下ヲ蒙リ、以來茲ニ二年有半、以テ今日ニ至リタルハ熱誠ナル諸君御後援ノ致ス所デアリマス、實ニ感謝ノ至リニ堪ヘマセヌ、而シテ任期ハ尙ホ一年有半餘ニシマシテ、私ノ心ハ窃ニ蹇々匪躬ノ節ヲ效サンコトヲ期シテ居リマシタガ、不幸ニシテ昨年春頃ニ豎ノ胃ス所トナリマシテ、荏苒歳ヲ越エテ猶癒ヘマセヌ、屢々事ヲ缺キ休養ノ已ムナキニ至リタルモ、一念君國ノ事ニ及ベバ夢寢憂慮ニ堪ヘザルモノガアリマス、病軀ヲ提ゲテ登院致シ、斃レテ後己ムノ決心ナキニアラザリシモ、若シ今日ノ如クニシテ徒ダ曠日彌久セバ、尸位素餐ノ責避クルニ所ナク、延イテハ諸君ノ倚託ニ背カンコトヲ惧レマス、因テ本日ヲ以チマシテ議長ノ重職ヲ辭シマス、是レ敢テ我が一身ノ安ヲ偷ム所以デアリマセヌ、更ニ他日ノ報效ヲ庶幾スルノ微意ニ外ナラヌノデアリマス、謹デ諸君ノ高諒ヲ仰ギマス、一言御挨拶申上ゲマス

年長者齋藤壽雄君 私ハ年長者ノ故ヲ以テ議員諸君一同ニ代リマシテ、議長奥繁三郎君ノ御辭任ノ意ヲ表明セラレタルニ對シマシテ、謹デ御挨拶ヲ申上ゲマス、奥議長閣下ハ議員ニ當選セラルルコトガ八回、其間重ネテ議長ノ御重職ニ就カレマシタ、是レ偏ニ衆望ノ繫ル所ニシテ、常ニ熱誠ト老練ナル手腕トヲ以テ、克ク敏活ニ公平ニ其職責ヲ盡サレマシタ、然ルニ承レバ最近兎角御

健康勝レズ、御静養ノ意味ヲ以テ今回議長ノ職ヲ辭退サレト云フコトハ現時内外諸般ノ事項倍々多時ヲ加フルノ秋ニ際シ、寔ニ遺憾ノ次第デゴザイマス、併ナガラ御病氣ト云フニアレバ、是亦餘儀ナキ次第デアリマス、何卒國家ノ爲メ折角御攝養、一日モ早ク御恢復ノ程ヲ切ニ希望致ス次第デゴザイマス

第四十六回議會 (大正十二年二月十七日)

副議長粕谷義三君ノ挨拶ハ同君議長就職ノ挨拶中ニアリ

(三) 任期滿限ノ議長、副議長ノ挨拶並年長議員ノ謝辭

第二十五回議會 (明治四十一年十二月二十四日)

前議長杉田定一君 諸君私ハ曩ニ短才微力ヲ以テ議長ノ重任ヲ辱ウシ本年春任期滿ツルヤ尙議院法第十五條ノ命ズルコロニ依リ議長ノ職務ヲ繼續シ其間戰後經營財政整理等ノ時局ニ當リ幸ニ大過ナクシテ職ヲ奉ズルヲ得タルハ是偏ニ前後代議士諸君ノ御援助ノ然ラシムルコロニシテ深ク感謝スル次第デアリマス願ルニ國家最近ノ大事業ハ舉國一致ノ實ニ成リ舉國一致ハ憲政ノ賜ニシテ將來愈々國民ノ意思堅實ニシテ立法府ノ益、健全憲政ノ益、發達センコトヲ祈リマス茲ニ謹デ在職中ノ御挨拶ヲ致シマス

年長者岩本晴之君 私ハ本院全員中ノ年長者デアリマスカラ前例ニ依リマシテ前議長杉田定一君副議長箕浦勝人君兩君ニ御挨拶ヲ申上ゲマス兩君ハ戰後ノ經濟又戰後ノ國事多端ノ折柄ニ緩急其宜シキヲ取り議會ヲ圓滿ニ四箇年無事ニ終リ其間國家ノタメニ盡サレマシタコトハ一點ノ間然スルトコロナク上下大満足ニ一期間ヲ終リマシテ誠ニ吾々一同ニ於キマシテハ非常ニ大慶ニ存ジマス御前任中完ウ御勤メニナリマシタ御禮並ニ御名譽ノ段ヲ茲ニ併セテ謝シテ置キマス

第二十九回(臨時)議會 (大正元年八月二十二日)

前議長大岡育造君ノ挨拶ハ同君議長就職ノ挨拶中ニアリ前副議長肥塚龍君 私ハ不肖淺學ヲ以テ既往四年間無事ニ此重要ナル職務ヲ完クサセテ貰ヒマシタノハ、偏ニ諸君ノ御高庇ニ依ルト存ジマス、今日此職ヲ去ルニ臨ミマシテ、既往約四年間ノ諸君ノ御厚意ヲ深ク謝スルトコロデアリマス、尙此上相變リマセズ、御厚誼ノ程ヲ願ヒマス、一言御挨拶ヲ致シマス

年長者藏内次郎作君…又前副議長肥塚龍君ハ御在職中ハ能ク其職責ヲ完ウセラレ、國家ノタメ御盡力アリシニ對シ、茲ニ謝辭ヲ呈シマス、議員一同ニ代リマシテ、右御挨拶ヲ致シマス

九 辭職願、死亡届(例示ニ止ム)

(一) 議長及副議長ノ辭職願並奏上

(イ) 議長辭職奏上ノ件

衆議院議長(位勳功)某議長辭職ノ件
右謹テ奏上ス

年 月 日

衆議院副議長 某
衆議院書記官長 某

辭職願

今般職務ノ都合ニ依リ衆議院議長辭職仕度此段御執奏被下度候也

年 月 日

某 儀

衆議院副議長

殿

衆議院議長 某

(口) 副議長辭職奏上ノ件

衆議院副議長(位勳功)某副議長辭職ノ件

右謹テ奏上ス

年 月 日

衆議院議長 某

衆議院書記官長 某

辭職願

私儀

衆議院副議長辭職仕度此段奉願候也

年 月 日

衆議院副議長

某

衆議院議長

殿

(二) 議員ノ辭職願

辭職願

私儀

今般病氣ニ罹リ醫師ノ勸告ニ基キ靜養ノ必要有之到底職務ニ難堪候間辭職仕度此段奉願候也

何縣何區選出

衆議院議員 何

某

年 月 日

衆議院議長宛

(三) 死亡屆

死亡屆

何縣第何區選出何派所屬

衆議院議員位勳 何

某

右何地ニ於テ何々ノ爲 年 月 日午 時死亡致候間此段及御届候也

年 月 日

衆議院議長宛

縣 郡 町村 番地

嗣子 何 某

一〇 議員資格ニ關スル報告書並照會往復

(一) 議員資格審査ノ報告書

第一 審査ヲ爲シタル場合

(一) 西山志澄君資格審査ノ件(第四回議會)

被告議員西山志澄ハ高知市外三箇所ニ於ケル地所四筆ノ外地租金拾參圓五錢六厘ヲ納ムヘキ高知市所在ノ地所ヲ植木家離退ノ際身附所有トシテ持歸リタリト云フト雖其自己ノ名義ニ書換ヘ登記ヲ經タルハ明治二十六年二月九日ニ在ルヲ以テ右地所ノ地租ハ其當日迄ハ被告ノ納稅資格ニ算入スヘキモノニ非ス又被告ハ明治二十五年八月三十日地租金九圓五拾壹錢五厘ヲ納ムヘキ高知市所在ノ地所ヲ購買シタリト云フト雖被告ハ前ニ即チ同月二十七日長岡郡高須介良兩村所在ノ地所二筆ヲ他人ヘ賣却セルヲ以テ同日ヨリ同月二十九日ニ至ル間ハ納稅資格ニ必要ナル期限ヲ中斷シタルモノノ如シ然リト雖右地所二筆ノ賣買ハ高知地方裁判所ノ判決ニ依リ全然解除セラレ且ツ其登記ハ取消サレタルヲ以テ全ク原狀ニ復シ期限ヲ中斷スルニ至ラサリシ故ニ被告西山志澄ハ滿一年以上地租拾五圓以上ヲ納ムヘキ土地ヲ所有シ之ヲ納メ仍

引續キ所有シ及ヒ納ムル者ニシテ議員タル資格ニ缺クル所ナキモノトス

(二) 高野孟矩資格審査ノ件(第十八回議會)

第一 臺灣法院判官ハ衆議院議員選舉法第十五條ノ制限内ニ入ラス

第二 高野君ハ當初抗議ヲ爲シ本院並貴族院ニ於テ之ヲ相當ト爲シタルニ拘ラス同君ハ其ノ後ニ至リ自ラ辭表ヲ呈出シ辭任ノ意思ヲ表示シタルノミナラス事實ニ於テモ司法官ト兩立セサル辯護士ノ職ニ從事シタルヲ以テ今日最早臺灣法院判官ノ職ニ在ラサルモノト認ム

(三) 佐竹作太郎君、根津嘉一郎君資格審査ノ件(第二十一回議會)

本件ニ於テハ衆議院議員選舉法第十三條第二項ノ政府ノ爲請負ヲ爲ス法人トアルハ民法第六百三十二條ニ規定セル請負ト同意義ナルヤ將タ民法規定以外ノ意義ヲ有スルモノナリヤヲ審究スルヲ緊要ナリトス

一 凡ソ公法中特ニ公法ノ語トシテ特有ノ意義ヲ示サスシテ私語中ノ語ヲ引用シタルトキハ其ノ意義ハ私法中ニ用キタルモノト同一ナリト認ムルヲ當然ナリトス

一 請負ナル法語ハ法律上一定ノ意義ヲ有シ即チ民法第六百三十二條中ニ掲ケタル定義ノ通ニシテ他ニ公法中別段ノ定義ヲ有セシメタル例ナシ

一 衆議院議員選舉法ヲ通覽スルニ民法刑法商法及破産法ノ法語ヲ用ヒタル場合少カラズ殊

ニ第二章選舉人被選舉人ノ資格ニ關スル規定ニ於テ然リトス然ルニ此ノ數多ノ法語ハ孰レモ其ノ關係私法ノ定義ナルニ獨リ請負ナル法語ノミ民法商法ノ定義ト異ナル意義ヲ有スルモノト解釋スルハ失當ナリ

一 商法第二百六十四條ニ商行爲ヲ列舉シタル第三ニ電氣又ハ瓦斯ノ供給ニ關スル行爲トアリ其ノ第五ニ作業又ハ勞務ノ請負トアリテ電氣ノ供給ハ請負ナル法律行爲ト明カニ區別セラル

右ノ諸點ヲ綜合スルニ衆議院議員選舉法第十三條第二項ノ請負ナル法語ハ民法及商法ニ規定スル所ト同一意義ヲ有スルモノト斷定セサルヲ得ス

本件東京電燈株式會社ノ營業ハ電流ヲ供給スルモノニシテ民法ノ所謂或仕事ノ完成ヲ約シ其ノ仕事ノ結果ニ對シ報酬ヲ受クルモノニ非ス況ヤ該株式會社ハ其ノ電流ヲ公衆一般ニ供給スルヲ以テ目的トスルモノニシテ偶々政府ノ需要ニ應スルニ過キサレハ衆議院議員選舉法第十三條第二項ノ政府ノ爲請負ヲ爲ス者ニ非サルオヤ

依テ東京電燈株式會社ノ重役タル被告議員佐竹作太郎同根津嘉一郎ハ政府ノ爲請負ヲ爲ス會社ノ重役ニ非サルヲ以テ衆議院議員ノ資格ニ於テ缺クル所ナキモノト斷定スル所以ナリ

(四) 田坂初太郎君資格審査ノ件(第二十五回議會)

附錄 一〇 議員資格ニ關スル報告書並照會往復 (一)

議員田坂初太郎君ハ明治四十一年十二月十九日廣島地方裁判所尾道支部ニ於テ私書變造行使詐欺取財被告事件ニ付重禁錮一年ノ刑ノ宣告ヲ受ケ其ノ裁判確定セサルモノナレトモ衆議院議員選舉法第十一條第四號ニ該當シ被選舉權ヲ有セサルモノトス
右ノ事實及理由ニ依リ議院法第七十七條ニ則リ退職者トスルヲ相當トス

(五) 高野孟矩君資格審査ノ件(同上)

議員高野孟矩君ハ明治四十一年十二月二十六日東京地方裁判所第一刑事部ニ於テ詐欺取財被告事件ニ付重禁錮一年六月ノ刑ノ宣告ヲ受ケ其ノ裁判確定セサルモノナレトモ衆議院議員選舉法第十一條第四號ニ該當シ被選舉權ヲ有セサルモノトス
右ノ事實及理由ニ依リ議院法第七十七條ニ則リ退職者トスルヲ相當トス

(六) 上出長次郎君資格審査ノ件(同上)

上出長次郎君ハ明治四十一年七月三十日衆議院議員選舉法第八十七條第一號ニ該當スルモノトシテ金澤地方裁判所ニ於テ輕禁錮四月ノ刑ノ宣告ヲ受ケタルモ同氏ハ之ニ服セス名古屋控訴院ニ控訴シ其ノ裁判ハ未タ確定セサルモノナリ

衆議院議員選舉法第十一條第四號ニ所謂禁錮ノ刑ナルモノハ同法第一百一條其ノ他ノ條文ニ鑑ミ選舉法以外ノ法令ニ定メタル禁錮ノ刑ヲ指定スルモノト解スルヲ相當トス故ニ上出長次郎

君ハ退職者トスヘキモノニ非ス

(七) 中村舜次郎君資格審査ノ件(第二十六回議會)

中村舜次郎君ハ明治四十二年十一月二十二日衆議院議員選舉法第八十七條第一號ニ該當スルモノトシテ横濱地方裁判所ニ於テ輕禁錮一月ノ刑ノ宣告ヲ受ケタルモ同氏ハ之ニ服セス東京控訴院ニ控訴シ其ノ裁判ハ未タ確定セサルモノナリ

衆議院議員選舉法第十一條第四號ニ所謂禁錮ノ刑ナルモノハ衆議院議員選舉法以外ノ法令ニ定メタル禁錮ノ刑ヲ指定スルモノト解スルヲ相當トス故ニ中村舜次郎君ハ退職者トスヘキモノニ非ス

第二 審査ヲ爲ササリシ場合

(一) 二田是儀君資格審査ノ件(第一回議會)

第一 議員ノ資格ハ議員ノ「クオリフヒケーション」即チ議員ノ具フヘキ必要ノ條件ヲ稱スルモノニシテ議員選舉ノ手續ヲ包含スルモノニアラサルコトハ政府ニ於テ憲法成文ト同時ニ公ニセラレタル英譯憲法中本條ノ資格ナル文字ニ「クオリフヒケーション」ナル英語ヲ用ヒタルヲ以テ知ルヘシ

第二 選舉ノ手續ハ司法ニ屬シテ裁判セシメ議院ハ單ニ議員ノ資格即チ議員ノ具フヘキ必要